

大根中学校区小・中学校の
整備等に係る提言書
(資料編)



令和 7 年 9 月

大根中学校区学校整備懇話会

目次

【資料１】 秦野市立広畑小学校・大根小学校運営協議会への 検討組織設立依頼文・・・	1
【資料２】 大根中学校区学校整備懇話会規約・・・・・・・・・・	2
【資料３】 大根中学校区学校整備懇話会検討経過・・・・・・・・	4
【資料４】 教職員部会・こども部会ワークショップ報告資料・・・・	6
【資料５】 保護者部会アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・	35
【資料６】 地域部会アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・	81

【資料 1】 秦野市立広畑小学校・大根小学校運営協議会への検討組織設立依頼文

FNa.9・1・3（B）

令和6年8月29日

秦野市立広畑小学校・大根小中学校
運営協議会 会長 吉田 正弘 様

秦野市長 高 橋 昌 和
（公印・契印省略）

大根中学校区学校施設等の将来に向けた検討組織の設置について
（依頼）

晩夏の候 貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本市では、目まぐるしく変化する社会情勢に伴い、将来に向けた児童・生徒の学校教育や学習環境についてのあり方について、研究を進めてまいりました。

また、学校施設においても、人口が増加した昭和50年代を中心に建設された校舎が多く、建物の使用期間を見据えた、建替についての検討も進めていかなければならない状況にあります。

このような状況の中、未来の子どもたちの学習環境を守り、未来の学習に見合ったよりよい学校づくりを目指すため、令和6年9月に「みんなで考えるみらいの学校整備指針」（以下、「整備指針」という。）を策定する予定です。

この整備指針を基礎資料としながら、地域の皆様と将来の学校づくりを協議していきたいと考えており、大根中学校区が検討のトップランナーとして進めていく予定です。

つきましては、大根中学校区の皆様と共に協議を進めていくため、貴会及び学校関係者、保護者等を中心とした検討組織を設置していただきたいと思っておりますので、ご活動等多用の中、大変恐縮ではございますが、特段のご配慮をお願いいたします。

〔 事務担当は、教育部教育総務課施設管理担当です。〕
電話0463-84-2783

【資料 2】大根中学校区学校整備懇話会規約

大根中学校区学校整備懇話会規約

(令和 6 年 1 0 月 3 1 日施行)

(令和 7 年 5 月 2 1 日改正)

(趣旨)

第 1 条 この規約は、大根中学校区の学校施設等の将来に向けたあり方について検討するため、大根中学校区学校整備懇話会（以下「懇話会」という。）を設置し、その組織、運営について必要な事項を定める。

(所掌事項)

第 2 条 懇話会は、次の事項について調査及び検討を行い、その結果に基づき行政機関等と協力し、地域コミュニティの形成を推進することを目的とする。

- (1) 大根中学校区における学校施設に関する事項
- (2) 公共施設等周辺環境のあり方に関する事項
- (3) その他、懇話会が必要と認める事項

(組織)

第 3 条 懇話会は、次に掲げる団体等から選出された委員をもって組織する。

- (1) 大根地区自治会連合会
- (2) 大根中学校区各小中学校
- (3) 大根中学校区各小中学校保護者
- (4) ひろはたこども園
- (5) 大根公民館
- (6) 県立秦野高等学校
- (7) 秦野精華園
- (8) 東海大学
- (9) 地域学校協働コーディネーター
- (10) その他懇話会が適当と認める者

2 前項に定める委員のほか、会長は、次の役職者等にオブザーバーとして懇話会の会議に出席を求めることができる。

- (1) 学識経験者
- (2) その他会長が必要があると認める役職者等

3 前項及び第 1 項に定める委員のほか、分野別の部会を設置することができ

る。部会の委員及び運営については、懇話会の協議をもって決定するものとする。

4 委員の任期は、1年間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第4条 懇話会に会長1名及び副会長2名を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、懇話会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 懇話会の会議は、必要に応じて会長が招集し、その座長となる。

2 懇話会の会議において議決を要するときは、出席委員の過半数により決し、可否同数のときは、座長が決するところによる。

(解散)

第6条 第2条に規定する目的を達成したものと認められる場合、懇話会を解散する。

(事務局)

第7条 懇話会の事務局は、会長宅に置く。

(補則)

第8条 この規約に定めるもののほか、懇話会の運営等について必要な事項は、会長が懇話会の会議に諮って定める。

附 則

この規約は、令和6年10月31日から施行する。

附 則

この規約は、令和7年5月21日から施行する。

【資料 3】大根中学校区学校整備懇話会検討経過

開催	開催日	議題（省略記載）
第 1 回	令和 6 年 10 月 31 日（木）	1 懇話会設置について 2 懇話会規約（案）について 3 学校整備指針について 4 国の政策動向について
第 2 回	11 月 28 日（木）	1 これからの議論の進め方 2 新しい学びとは 【グループ意見交換】 3 学校の建物と敷地 【グループ意見交換】
第 3 回	12 月 18 日（水）	1 第 2 回懇話会意見交換振り返り 2 子どもたちの学びの方向性について 3 新たな学校について （千葉工業大学 倉斗 ^{くらかず} 教授より） 【グループ意見交換】
第 4 回	令和 7 年 1 月 28 日（火）	川崎市立はるひ野小学校・中学校視察
第 5 回	2 月 7 日（金）	1 第 3 回懇話会意見交換振り返り 2 学校と公共施設の複合化について (1) 公共施設再配置について (2) 大根公民館の現況について (3) 学校施設と公共施設の複合化について考える （筑波大学 丹間 ^{たんま} 教授より） 【グループ意見交換】
第 6 回	3 月 25 日（火）	1 川崎市立はるひ野小学校、中学校視察報告について 2 第 5 回懇話会意見交換の振り返り 3 令和 6 年度の懇話会総括と提言書の作成に向けて (1) これまでの意見交換の総括 (2) 令和 7 年度に向けて 【グループ意見交換】 4 令和 6 年度の懇話会の感想

第7回	5月21日(水)	1 大根中学校区学校整備懇話会規約改正について 2 これまでの意見交換における課題整理について 3 新たな学校における支援のあり方について (1) インクルーシブ教育の理想と現実 東海大学 内田教授より (2) 秦野市の支援級の状況 【グループ意見交換】
第8回	6月18日(水)	1 大根中学校区学校整備懇話会提言書イメージについて
第9回	8月26日(火)	1 部会の取組状況について 2 大根中学校区小・中学校の整備等に係る提言書(案)について
第10回	9月25日(木)	1 大根中学校区小・中学校の整備等に係る提言書の提出について
(以後、開催予定)		
第11回	12月初旬	大根中学校区学校整備構想に対する意見交換
第12回	2月下旬	大根中学校区学校整備構想策定について

【資料4】教職員部会・こども部会 ワークショップ報告資料

I) 教職員ワークショップ

1. 開催概要

大根中学校区の学校施設整備構想策定に向け、望ましい学習環境を踏まえた教室とオープンスペースや快適に働くことができる職員室のあり方を検討するため、教育や学習環境、就業環境のあり方について、教職員の意見を把握することを目的に、参加型・対話型の取組としてワークショップ（全2回）を開催しました。

	第1回	第2回
日時	令和7年6月19日(木)16時～17時	令和7年8月26日(火)15時～16時
場所	広畑小学校 視聴覚室	大根公民館 多目的ホール
テーマ	望ましい学習環境を実現する教室とオープンスペース等のあり方について	望ましい就業環境を実現する職員室のあり方について
対象	広畑小学校、大根小学校、大根中学校に勤務する教職員	
参加者数	60名程度	60名程度

I) 教職員ワークショップ

2. 第1回ワークショップについて

2-1 当日の流れ

●開会・挨拶

①市担当者より、趣旨を説明

- ・ 大根中学校区の学校施設整備構想策定に向けて検討を進めている。
- ・ 懇話会の教職員部会として、実際に学校で働き、児童生徒と関わっている教職員の意見を伺いたい。

●ワーク

②ワーク:テーマ「望ましい学習環境を実現する教室とオープンスペース等のあり方について」

【題目】

- ✓ 従来の教室ではできていないけど、本当はやりたい教育活動は？
- ✓ 子どもたちの主体的で協働的な学びを実現できるのはどこいったところ？
- ✓ 仮にオープンスペースがあれば、子どもたちの行動はどのように変わりそう？教職員はどのように使う？

- ・ 題目に対して、個々で付箋に意見・アイデアを書き出し、模造紙に貼りながらグループで共有。
- ・ 模造紙に貼られた意見を意見をグルーピング。

●発表

③発表

- ・ 2グループ1組で、互いにワークで出た意見・アイデアを共有。

●閉会



▲市担当者より、開会の挨拶・趣旨説明を行っている様子



▲グループで意見・アイデアを共有している様子



▲ワークで出た意見・アイデアを発表している様子

I) 教職員ワークショップ

2-2 結果まとめ

現状の主な課題

- ・全学年で共通して、「教室が狭く、複数の学び方ができる環境でない」「机が小さい」という意見が挙げられました。

本当はやりたい教育活動

	小学校1, 2年生	小学校3, 4年生	小学校5, 6年生	中学校
交流	・ 保護者や地域の方、他学年を対象とした発表会や交流。	・ 学年内で一斉に活動、手軽に集まる。	・ 他学年、他クラスとの交流。	・ 1～9年生で、縦割り掃除。
学習	・ 学年単位での学習活動。(学年集会、発表会、交流活動) ・ 簡単に教室を開閉したい。 ・ 気軽に使える大型モニターで発表。 ・ ひとりでも、グループでもそれぞれ集中して学習すること。 ・ グループ活動の際に、それぞれ区切られた空間での活動。	・ パーソナルスペースを大きくしたい。 ・ 教室をいくつかのスペースに分けて、広角的に使いたい。 ・ オープンスペースで異学年がテーマをもって学ぶ活動。	・ 囲まれた部屋での授業参加。 ・ クラスの壁を越えた選択制の授業。(算数、国語、道徳など) ・ 習熟度別の授業。オープンスペースに作品を張り出しイメージをふくらませる。	・ 授業ビデオでやりたい単元を学習できる。 ・ 生徒・発音練習が、場所を選ばずできる。(英) ・ 小人数やレベル別で選択できる。(英) ・ 習熟度別の授業。(数) ・ 様々な図書を利用した学び合い。(社) ・ 自ら学び、自分を伸ばす活動。→円卓で話し合う、調べる。
居場所	・ 子どもたちが自由に主体となって活動する。 ・ 教室内にクーリングスペースが作れると良い。			・ 教室に足が向かない生徒用のスペース。(職員室の前だと良い)
運動	・ 校庭、体育館が使用できない時の体づくり。 ・ 雨の日や熱中症などで校庭を使用できない時教室で実施できると良い。		・ 夏場に外に出られなくても、体育的な活動できるスペースがあると良い。	・ 希望する生徒(学年を問わない)全員で行うヨガ。

I) 教職員ワークショップ

2-2 結果まとめ

オープンスペースに期待すること

交流	・ クラス、学年を超えた交流が自然に生まれる。・関わり合う“量”が増える。			
学習	【学び方の選択】 ・ 子どもが自ら学びの場や学び方を選択できる。 ・ 自分で学びの空間・方法を選ぶので、主体的になれる。 ・ 自分が集中できる場所を選択できる。			
	小学校1, 2年生	小学校3, 4年生	小学校5, 6年生	中学校
	【グループ学習】 ・ グループ内発表など、周りのグループを気にせず広いスペースでできる。 ・ 鑑賞や発表会など、様々な所で同時にできる。 【個人学習】 ・ 静かな場所でやりたい人はオープンスペースで集中して取り組みそう。	【他学年での教え合い】 ・ 上の学年が下の学年に教えることで、自己肯定感が高まるとともに、復習にもなる。	【個人学習】 ・ 一人で集中して学べる。 ・ 自由進度学習ができる。 ・ 壁に向かって個別でやる。	【他学年での教え合い】 ・ 学年の枠にとらわれずに授業を展開、生徒達の学び合いができる。 【グループ学習】 ・ 学年で調べ学習がしやすくなる。 ・ 小集団でじっくり話し合える。 ・ 疑問をすぐに共有でき、協働学習がはかどる。 【学習の深度化】 ・ 創作のアイディアがたくさん出てきて豊かな発想で楽しめる。 ・ 本格的な雰囲気や古典文化に親しめる。
居場所	・ 子どもが自分に合った居場所を見つけることができる。 ・ 子どもや教師がリラックスできる。 ・ クールダウンできる。教室の端なら、目が届く。			・ 教員が見張るということをなくし、自分達で過ごしやすい空間となる。
運動	・ 雨天時などに制限されずに活動ができる。・簡単な運動ができる。			
その他	・ 教室内が見えることで、廊下を歩く児童も静かに移動しようとする。・壁がないので教師は全体を俯瞰できる。・3クラスを1人で見れる。			

I) 教職員ワークショップ

2-2 結果まとめ

オープンスペースに欲しいスペース・もの

		小学校1, 2年生	小学校3, 4年生	小学校5, 6年生	中学校
交流	スペース	廊下にベンチやテーブルなどを置いた”対話スペース”。	ちょっとした話ができるベンチを置けるスペースが欲しい。	世界中の学校とすぐにつながれるところ。(オンライン)	
	もの				
学習	スペース			- ホワイトボードに囲まれたスペース。 - 教科に関連した本があるスペース。 - 学習成果物を掲示するコーナー。	
	もの	- 身近に学びのツール。(電子機器、図書など教材・教具) - 調べたいことがすぐに手に取れるような本棚。	- 辞典、ペン、模造紙、調べられるもの。 - 子どもの考えが残り、考えが広がるような大きなホワイトボード。	- 自由に使えるインターネット。 - プラネタリウム。星、月の観察。	Wi-Fi環境。(主体的なら必要)
居場所	スペース	寝転がれるスペース。	- 植物、生き物などで安心できるスペース。 - 静かな(音のない)スペース。 - 学級文庫や本を置くスペース。 - 自由に読めるスペース。	子どもや教師がリラックスできるスペース。	
	もの	持ち物を全て入れられるロッカー。			リラックスできるようなもの。
その他	スペース			悩みを相談できる場。	
	もの		教卓はオープンスペース。		

I) 教職員ワークショップ

2-3 ワーク結果考察

○“現在の主な課題や本当はやりたい教育活動”については、

- 交流面では、学級・学年の枠を超えた交流や地域・保護者に向けた発表会などを行いたいという意見が挙げられました。
- 学習面では、全学年に共通して、教室が狭く、机が小さいため、教育に自由度がないということが課題として挙げられました。目的や活動によって可変できる空間が求められています。
- 居場所としては、教室内にクールダウンスペースや教室外にも行ける場所(居場所)があると良いという意見が挙げられました。
- その他、猛暑では校庭を使用できないため、屋外に体を動かすスペースが欲しいという意見が学年によらず挙げられました。

○“オープンスペースにほしいスペースやつかい方”については、

学年を超えたトラブルやグループ活動で収集がつかなくなるのではないかと懸念事項も挙げられたものの、オープンスペースに期待することや欲しいスペース・ものに対する意見が多く挙げられました。

- 全学年において共通して、交流面では異学年交流が活発になる、学習面では学び方を選択できるという点が期待されています。ベンチや学びのツール・図書を身近に置くことで、児童生徒の主体的な活動を支えられるという意見が挙げられました。
- 特に、低学年では発表などのグループ学習や静かに集中できる学習の場となることが求められています。また、高学年になるにつれて、学年の枠にとらわれず習熟度別に授業を展開できる場、教え合える場となることが求められています。
- 居場所としては、クールダウンできる場や自分にあった居場所を見つけられる場となることが求められています。寝転がれるような場所や植物等を置くことで、安心できる空間になるという意見が挙げられました。
- 天候に左右されずに、軽く運動できる場としても期待されています。

I) 教職員ワークショップ

3. 第2回ワークショップについて

3-1 当日の流れ

●開会・挨拶

①市担当者より、趣旨を説明

- ・ 大根中学校区の学校施設整備構想策定に向けて検討を進めている。
- ・ 懇話会の教職員部会として、実際に学校で働き、児童生徒と関わっている教職員の意見を伺いたい。

●ワーク

②ワーク1「望ましい就業環境を実現する職員室のあり方について」

【題目】

- ✓ 職員室にあると良い機能・スペース・設備は？
- ✓ どんな風に使いたい？過ごしたい？
- ✓ もっとどうなったらいい？

- ・ お題に対して、個々で付箋に意見・アイデアを書き出し、模造紙に貼りながらグループで共有。

③ワーク2「小中一体となった義務教育学校の職員室のあり方について」

【題目】

- ✓ 小中一体となった義務教育学校の職員室に対する期待と不安は？

- ・ 題目に対して、個々で付箋に意見・アイデアを書き出し、模造紙に貼りながらグループで共有。

●発表

③発表

- ・ 2グループ1組で、互いにワークで出た意見・アイデアを共有。

●閉会



▲グループワーク全体の様子



▲グループで意見・アイデアを共有している様子



▲ワークで出た意見・アイデアを発表している様子

I) 教職員ワークショップ

3-2 ワーク1「望ましい就業環境を実現する職員室のあり方について」結果まとめ

■自由な席を選べる執務スペース



- 結局学年ごとに集まりそう。
- 個人の机は必要。
- 自席がある前提で自由に座席が選べる机があるといい。
- 仕事に集中して早く帰りたい人、談話もしつつ過ごしたい人も様々いるので、目的別にスペースがあると働きやすい。
- 席は固定せず、その日の気分によって変えたい。

■授業演習・ミーティングスペース(大人数)



- 大きなミーティングルームは、現状だとそれほど使わない。
- 声が気になるので、職員室とは離れた所が良い。
- タブレットの画面を投影できるモニターがあると良い。

■閉じたミーティングスペース(4～6人)



- ミーティング(学年研)ができるのはとても良い。
- 閉じたミーティングスペースは、各学年で1つは欲しい。
- 用途に合わせて仕切りを動かす等、人数を増減できると更に良い。
- 保護者・業者対応用に欲しい

■web会議もできる集中ブース(1人)



- 授業準備に1人で集中できるスペースが欲しい。
- 机上研修(動画)が増えているので、使ってみたい。
- 集中ブースは職員室でない場所でも良いかも。

I) 教職員ワークショップ

3-2 ワーク1「望ましい就業環境を実現する職員室のあり方について」結果まとめ

■作業スペース



- 使うものが揃っていると良い。
- 大きな机が欲しい。
- オープンスペースのように自由に区切ったり壁を外したりできる仕組み。
- 複数人で教科・教具を作れる。
- 立って話したり、作業ができるスペースがあるのは時間を効率的に使えて良い。

■教職員専用の休憩スペース



- 席を離れて休憩したい。
- 学年を超えてスペースを使って話し合えることができそうなので使いたい。
- もっとカフェのようにして欲しい。
- たくさんの緑を置いて欲しい。
- 職員室とは違う雰囲気になるようにしたい。
- 休憩スペースに簡易ソファやベッドのある仮眠コーナー。

■児童生徒の相談スペース



- 児童生徒の相談スペースは、ガラスなど仕切ることができて声は漏れないが、様子が見渡せるのが良い。
- 個人情報保護の観点から職員室でなくても良い。
- 職員室外に面談室があると良い。
- 保護者対応する応接室。

■個人ロッカー



- 個人ロッカーがあれば、机上整理ができる。
- 更衣室と兼用で良いので、鍵のかかる個人ロッカーがあると良い。
- スーツや礼服を保管するワードローブが欲しい。
- 私物をしまうロッカーだけではなく、事務書類をしまうロッカーも多く欲しい。
- 教材などを入れる学年・教科などのロッカーも欲しい。

I) 教職員ワークショップ

3-2 ワーク1「望ましい就業環境を実現する職員室のあり方について」結果まとめ

■その他

スペース

- ・ 電話をするときの静かなスペースが欲しい。
- ・ 防音スペース。(職員室が防音性が高いと良い)

設備

- ・ 体育館や特別教室の利用予定を映すモニターとパソコン。
- ・ デジタルモニターに行事予定が表示できたり、そのモニターが会議や研修等の説明にも伝えたりできると良い。
- ・ 職員室の壁にたくさんのホワイトボード。
- ・ 個人机がもう少し広いもの、作業しやすいものが欲しい。

職員室以外の諸室

- ・ 職員室内でも良いが近くに印刷室が欲しい。
- ・ 職員室に行かなくても休める場所。
- ・ 職員室内でなくても良いのでシャワールーム。
- ・ きれいなトイレ。歯磨きができる、パウダールームのような部屋。
- ・ 職員室の近くに保健室。

■会議室

- ・ 職員室の近くに全員入れる、研修が受けられる広い会議室。
- ・ 職員室とつながった、大人数が入れる会議室。
- ・ 最低で2クラス分くらいが入れる会議室。

I) 教職員ワークショップ

3-3 ワーク2「小中一体となった義務教育学校の職員室のあり方について」結果まとめ

期待すること

情報共有	・ 小中の困りごとを常に共有し合うことができる。 ・ 教職員同士の情報共有がすぐにできる。(生徒の相談など) ・ 情報交換ができて、進級時に色々と聞けそう。 ・ 引継ぎが簡単、共有もすぐにできる。 ・ 小6→中1への接続の不安が減る。(子どもの情報が共有しやすい) ・ 合同で何かやる時はすぐに相談できる、小と中の担当がすぐ隣にいる
専門性	・ 中学校の先生に専門的な授業の相談ができそう。 ・ 専門分野の指導法を教えてもらえる。 ・ 高学年と中学校等、自由な話し合いができる。 ・ 色々な先生と話ができる。意見が聞ける。 ・ 相談ができる相手が増えそう。
交流	・ 行事が楽しくなりそう。 ・ にぎやかで様々なアイデア、考えを共有できそう。 ・ 大人同士の交流が広がる。 ・ 知り合いが増え、自分の幅が広がる。 ・ 校種が違う教職員との交流がしやすくなる。
配置	・ 通級担当は小中でまとまったブロックにしたい。 ・ 皆さんの声と顔が見える配置にしたい。 ・ どこにでもすぐに行けるとか見渡しやすければ良い。

I) 教職員ワークショップ

3-3 ワーク2「小中一体となった義務教育学校の職員室のあり方について」結果まとめ

不安なこと

空間構成 (ハード面)

- 学年・教科・支援など色々なグループができるので、動線がスムーズにならないことが予想される。
- 職員がたくさんいて話したい人を探すのが大変そう。
- 管理職との距離感が遠くなるのではないかな。
- 個人の十分なスペースを確保して、学年のまとまりで分けられるのか。

ソフト面

- 電話のかかってくる量が多く、うるさくなりそう。
- 広いスペースの中で、人数が多く、情報の管理などが不安。
- 人数が多すぎて、意思疎通がしにくくなる、集中しにくくなる。
- 児童生徒や保護者の来訪が多くなり、対応に時間がかかりそう。
- 会議の持ち方や提案をどのように伝えていくべきか。
- 教育課程・時間割が違う中での共存はどうするか。
- 職員会議で発言しにくい。
- 逆に、児童生徒に対するイメージに先入観をもってしまうのではないかな。
- 小1と中3では話している内容がバラバラ。

I) 教職員ワークショップ

3-4 ワーク結果考察

○空間設計に対する多様なニーズと期待

- ワーク1では、教職員が求める空間のあり方として「集中できるブース」「学年ごとの閉じたミーティングスペース」など、業務内容や個人の働き方に応じた柔軟な空間が求められていました。教職員の多様な働き方を尊重し、効率と快適さを両立させる環境づくりが重要となります。一方、ワーク2では「小中の教員がすぐに相談できる配置」「声と顔が見えるレイアウト」など、校種を超えた連携を促進する空間への期待が表れています。個人の集中と他の人との交流を両立させる空間が求められていることが分かります。

○情報と専門性の共有

- ワーク2では、「小中の困りごとを常に共有できる」「専門的な授業の相談ができる」など、情報と専門性の共有が強く期待されています。ワーク1で求められている「教材作成のための作業スペース」「ミーティングスペース」などとも連動しており、共同作業の場が重要となります。

○休憩・リフレッシュの重要性

- ワーク1では、「カフェのような雰囲気」「緑の設置」「仮眠コーナー」など、心身のリフレッシュを促す空間への要望が多く挙げられました。ワーク2でも、「大人同士の交流が広がる」「知り合いが増える」など、休憩や雑談を通じた人間関係の構築が期待されており、休憩スペースが単なる休息の場ではなく、交流の場としても機能することが求められています。

○不安要素と課題

- ワーク2では、「動線がスムーズでない」「話したい人を探すのが大変」「管理職との距離感」など、空間構成に関する不安が挙げられました。また、「教育課程・時間割の違い」「職員会議で発言しにくい」など、校種間の文化や運営の違いによる懸念も挙げられています。

Ⅱ) こども部会

1. 開催概要

学校施設の整備に当たっては、施設の老朽化や少子化に伴う児童生徒数の減少などの社会情勢を踏まえながら、将来における子ども達の学びに対応した学校づくりを検討していくことが必要です。特に優先度の高い大根中学校区において、学校施設整備構想の策定を予定しており、その検討を進める中で、児童生徒の意見を把握し、みらいの学び舎づくりに反映することを目的に、参加型・対話型の取組としてこども部会を開催しました。

本部会においては、「①異学年交流の体験」「②学校内での自分たち（子どもたち）の居場所を考える」を目的とし、全体を通して「みらいの後輩たちに贈る学び舎」を考えていただきました。

日時	令和7年8月21日(木)9時～15時
場所	みんなの食堂☆ラパニス(秦野精華園内)
テーマ	みらいの後輩たちに贈る学び舎
対象	広畑小学校、大根小学校、大根中学校の児童生徒、秦野高校の生徒、東海大学(児童教育学科、建築学科)の学生
参加者数	29名

Ⅱ) こども部会

2. 当日の流れ

●開会・挨拶・オリエンテーション

①市担当者より、趣旨を説明

- ・ 大根中学校区の学校施設整備構想策定に向けて検討を進めている。
- ・ 実際に学校で過ごす時間が長い児童生徒の意見を聞き取り、どのような学校を望むか自由なアイデアを伺いたい。

②オリエンテーション

- ・ 小学校から大学生までが混ざったチームを組み、チーム対抗ジェスチャーゲームを実施。

●午前のワーク

③アイスブレイク・インプット

- ・ 自己紹介シートに「学校の好きなところ/小中学校の思い出」を記入し、グループ内で自己紹介
- ・ ワークの進め方を説明
- ・ 新しい学校のイメージを思い浮かべるため、事例を紹介

④ワーク「新しい学校で、こんなことができたらいいな！ こんな場所になったらいいな！」

【題目】

新しい小中学校のイメージを見た上で、

- ✓ どんなことがしたい？できそう？どんな風だったらもっと良い？
- ✓ 特にお気に入りのシーンは？

- ・ 題目に対して、個々で付箋に意見・アイデアを書き出し、模造紙に貼りながらグループで共有。
- ・ 他の人のアイデアも聞いた上で、特にお気に入りのシーンのイラストを描く。

⑤発表

- ・ ワークで出た意見・アイデアを全体で共有。
- ・ 各グループの発表に対して、大学生からコメントをいただく。



▲市担当者より、開会の挨拶・趣旨説明を行っている様子



▲付箋にアイデアをたくさん書き込んでいる様子



▲ワークで出た意見・アイデアを発表している様子

Ⅱ) こども部会

2. 当日の流れ

●午後のワーク

⑥インプット

- ・ ワークの進め方を説明

⑦ワーク「新しい学校をつくろう！」

【題目】

- 新しい小中学校のイメージを持った上で、
- ✓ 異学年交流が活発に行われる学校って？
 - ✓ どんな場所があれば交流する？

- ・ 題目を基に、午前中のワークでイラストに書いた、特にお気に入りのシーンを実現できる学校を考える。
- ・ 校舎や体育館、グラウンド等の配置を話し合いながら、模型をつくり、模造紙上に学校のイメージを表現する。
- ・ グループでつくった学校のコンセプトを決める。

⑧発表

- ・ ワークで出た意見・アイデアを全体で共有。
- ・ 各グループの発表に対して、大学生からコメントをいただく。

●感想アンケート&写真撮影

⑨感想アンケート・写真撮影

- ・ ワークショップの感想をアンケートに記入。
- ・ 全員で記念に撮影。

●閉会



▲ランチの際に、高校生がチヂミを焼いている様子



▲グループで協力して学校づくりを行っている様子



▲みんなで集合写真を撮影

Ⅱ) こども部会

3. 結果まとめ

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



【小学生・中学生】

- 学年で交流できる共有スペースがほしい
- 出入口が混みにくく、スムーズに移動できる
- 教室と廊下を一体にすることで、全体が広く感じられる

【高校生・大学生】

- 他のクラスの授業も見ることができる
- 開放感があると適度な集中を保ちやすそう
- 廊下も教室として使うことで教室が広く感じられ色々な居場所ができる



【小学生・中学生】

- ベンチに収納があると良い
- 他クラスの人と交流しやすい

【高校生・大学生】

- 普段は通り過ぎるだけの場所が、居場所になる
- ベンチが廊下一面に欲しい！物置にもなる
- 長机とイスがあって、放課後に自由に勉強できる



【小学生・中学生】

- 本のジャンルで分けて欲しい
- 本を探せるコンピューターを置く
- 友達とうるさくなくても本が読める

【高校生・大学生】

- 気軽に使いやすい
- 読書だけでなく映画などが観れるフリースペース
- 友達と話しながら楽しむ
- 図書ってどの世代も使う→交流拠点になる



【小学生・中学生】

- 騒ぐ部屋と落ち着ける部屋をしっかりと分離したい
- 階数ごとにいくつか作って欲しい
- 皆でいる時間も大切だけど、一人でいる時間も必要

【高校生・大学生】

- 気持ちの整理ができてストレスが減る
- 便利だけど…きちんとしたルールが必要かも。

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



【小学生・中学生】

- ・ 仕切りのある空間を作って欲しい
- ・ ホワイトボードにみんなで書き込める
- ・ 友達と(他クラス)と協力して勉強できる
- ・ 教室だと集中出来ないの、専用の場所を作ってほしい

【高校生・大学生】

- ・ 友達どうして勉強会!!
- ・ 異学年との交流の場となる
- ・ 勉強の意欲も湧く!
- ・ 少人数で授業ができそう
- ・ 先生と話す機会も増える



【小学生・中学生】

- ・ 直接外に出れるようにする
- ・ ガラスでできた柵と白いコンクリートで見映えを良くする
- ・ 空を見ながら給食が食べれる

【高校生・大学生】

- ・ 開放感のあるつくりで気分転換できるような環境
- ・ フィールドワーク、野外学習が行いやすい



【小学生・中学生】

- ・ 教科書とかたくさん置ける
- ・ 大きい机が欲しい
- ・ なくし物が少なくなり、自分で物が管理出来る
- ・ 鍵をかけられるようにした方がいい

【高校生・大学生】

- ・ 自己管理能力を高めることができる
- ・ ランドセルの重さ問題を解決する!
- ・ 鍵付きで、服をかけることができるようにしてほしい
- ・ 専用のロッカースペースだけあれば、クラスルームはいらないのでは?



【小学生・中学生】

- ・ 芝生の広場があったらそこで遊んで転んでも痛くないからいい
- ・ 水筒の水を補給できるところ
- ・ 10分休憩の時に軽く外の空気を吸える

【高校生・大学生】

- ・ 運動以外にも芝に寝転んで過ごしたり
- ・ 外で自由に出来るのは良い!!
- ・ 日陰やベンチがあれば過ごしやすい

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



通路にも大教室にもなる階段

【小学生・中学生】

- ・ 滑り台をつける
- ・ スロープを作った方がいいと思う
- ・ 段差があるから前が見やすい→発表に向いている
- ・ 通るだけでなく、友達と喋ったり勉強したりできる

【高校生・大学生】

- ・ 教室よりもラフな授業
- ・ 写真が撮りやすそう
- ・ 友達同士で座布団を持って集合!!(交流)



大人数で集まれるホール

【小学生・中学生】

- ・ 学年関係なく大人数で集まれる
- ・ ピアノをホールに置く
- ・ 音楽活動が活発になりそう！
- ・ 休み時間に解放してほしい（違う学年の人とも交流したい）

【高校生・大学生】

- ・ 雨天時遊べると楽しい
- ・ 集会がしやすい
- ・ みんなでイベントができる
- ・ 地域をからめたイベントでも使えるところ

その他

- ・ うるさくできる防音の部屋がほしい
- ・ 校庭に休める小屋やベンチがほしい
- ・ 廊下とか体育館にクーラーがほしい
- ・ 習字の時に仕切りがある部屋に行きたい
- ・ 雨の日でも走ったりして遊べる(広い中庭)
- ・ 自然！生き物！森！虫！

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



【高校生・大学生】

- ・ 教員ものびのび過ごせる
- ・ 机&イスの置き方次第では人と人の繋がりがうまれそうつくれそう
- ・ 上下関係が感じにくくなり、意見が言いやすい
- ・ 作業が効率よく進む先生の労働時間短縮につながる



【高校生・大学生】

- ・ 先輩・後輩分け隔てなく関われる環境
- ・ 課外活動の相談ができるスペース(教室以外で)
- ・ オンライン授業の収録
- ・ 5年・10年後、湿度とCO2の数を調整できる教室集中力上げる?!



【高校生・大学生】

- ・ 教員の一人一人の部屋を作る
- ・ 大人が楽しめる場所になるといいね！
- ・ 新人の先生とかは、周りが気になって休憩しづらいかも

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ

考察

○交流を促す空間

- ・ 「他クラス・他学年の人と交流しやすい」「学年関係なく大人数で集まれる」など、学年やクラスの枠を超えた交流を重視する声が多く見られました。廊下やベンチ、ホール、階段など、通過するだけの空間を“居場所”として活用する提案もあり、偶発的なコミュニケーションの場としての空間が求められています。

→学校を「学びの場」だけでなく「人とつながる場」として捉えており、交流が自然に生まれる空間を求めていることが分かります

○自然とのつながりと開放感

- ・ 「芝生広場」「空を見ながら給食」「外で自由に過ごせる」「フィールドワークがしやすい」など、屋外とのつながりを意識した提案が多く見られました。自然環境の中で過ごすことが、気分転換やリラックスにつながるという意見もあり、開放的な空間が求められています。

→自然と調和した環境は、子どもたちにとって心地よさや安心感をもたらす重要な要素であり、学びや生活の質を高めると考えられます

○個人の時間と空間の尊重

- ・ 「一人で静かに落ち着けるスペース」「気持ちの整理ができる」「鍵付きロッカー」「自分で物を管理できる」など、個人の時間やプライバシーを尊重する空間へのニーズが強く見られました。騒がしい空間と静かな空間を分ける工夫や、個人スペースの確保が求められています。

→「みんなで過ごす時間」と「ひとりで過ごす時間」の両方を大切に、学校にもその選択肢があることを望んでいることが分かります

○柔軟で多様な学びの場

- ・ 「廊下も教室として使う」「仕切りのあるフリースペース」「少人数で授業ができる」「先生と話す機会が増える」など、従来の教室の枠にとらわれない学びのスタイルが提案されています。教室以外の場所での学びや、他学年・他クラスとの協働学習が意欲を高めるという声もありました。

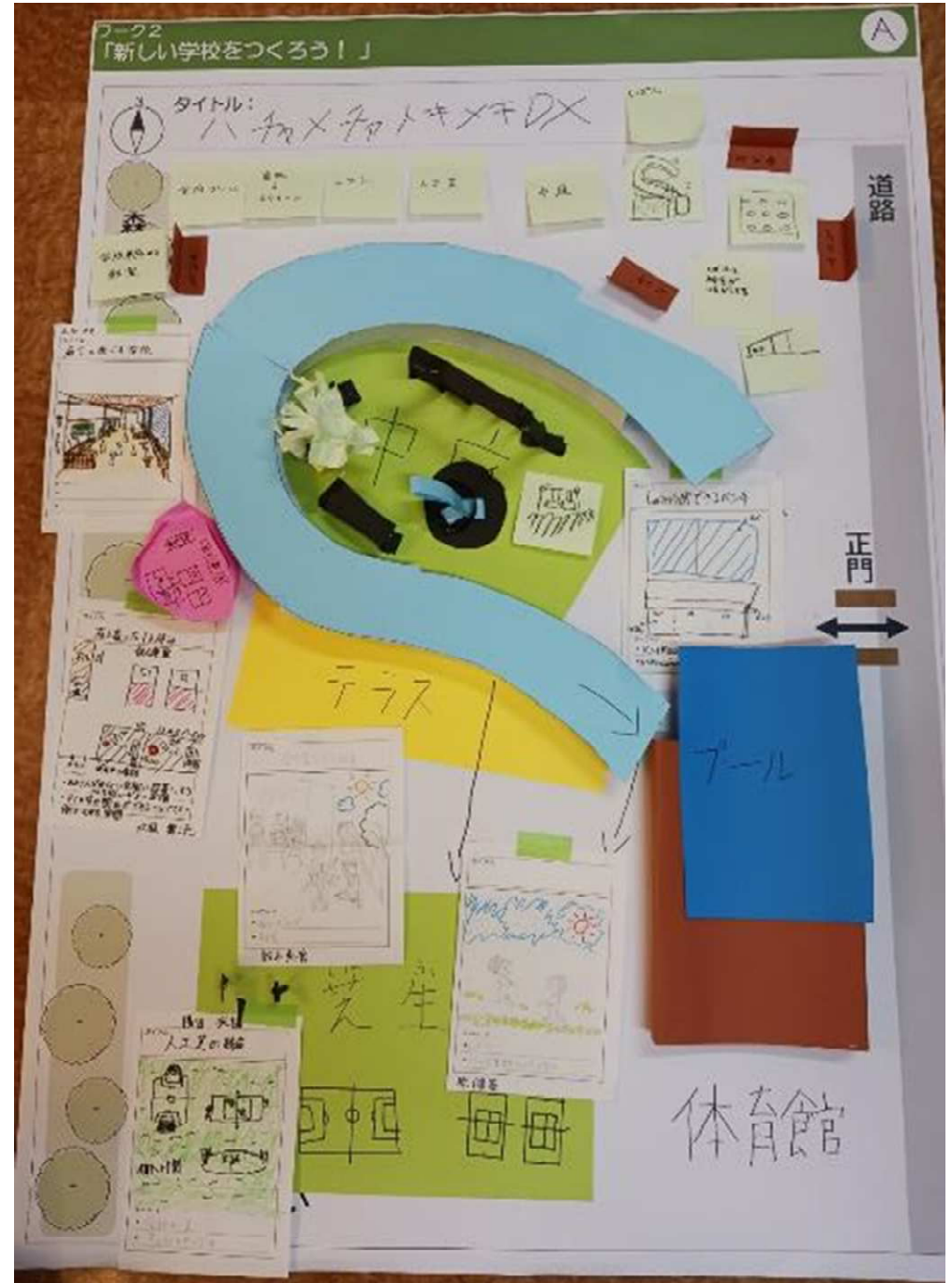
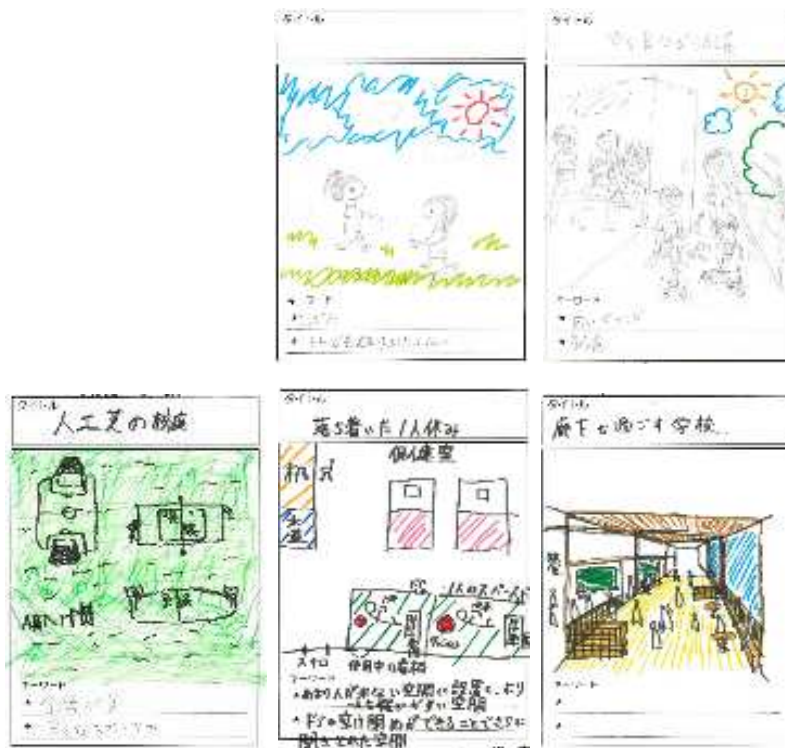
→空間の使い方によって学習意欲や集中力が高まるため、学びの場がもっと自由で柔軟であることを望んでいることが分かります

Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

A タイトル：ハチャメチャトキメキ DX

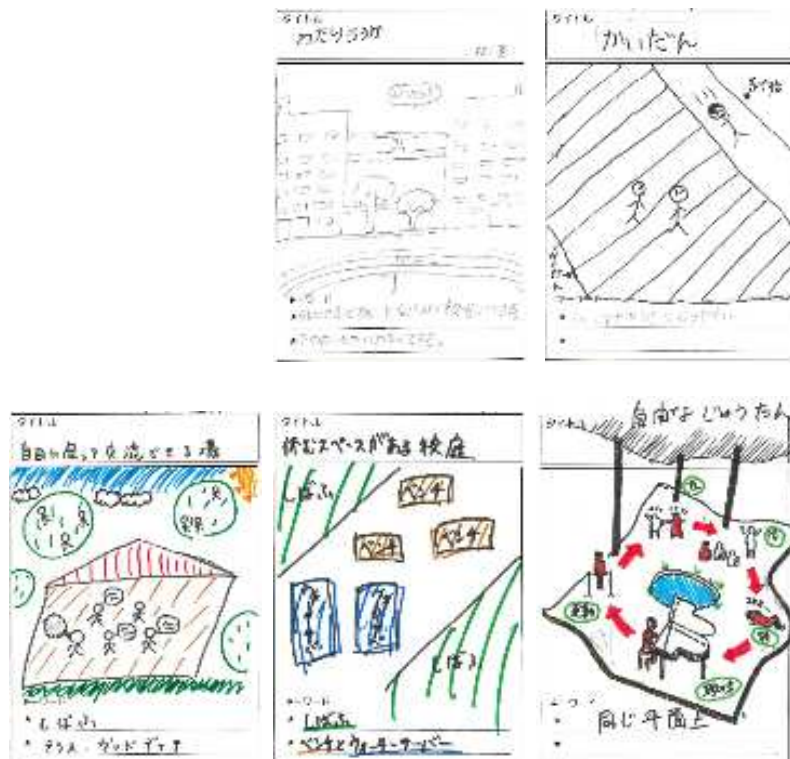
- 校舎は、中庭を囲むように曲線的な形にして異学年で交流できる。
- テラスから芝生広場に出て、空をみながら給食を食べられる。
- 中庭の中心にある噴水を見ながら休める、木の横にあるベンチがおすすめ。



Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

- B** タイトル：交流の場が中心の学校
- 中庭を介して、すべての建物にアクセスできる。全学年が往来することで交流につながる。
 - 中庭と建物の間にある半屋外のテラスが、居心地の良い居場所となる。
 - 校舎と校舎は渡り廊下でつなげ、往来しやすくする。



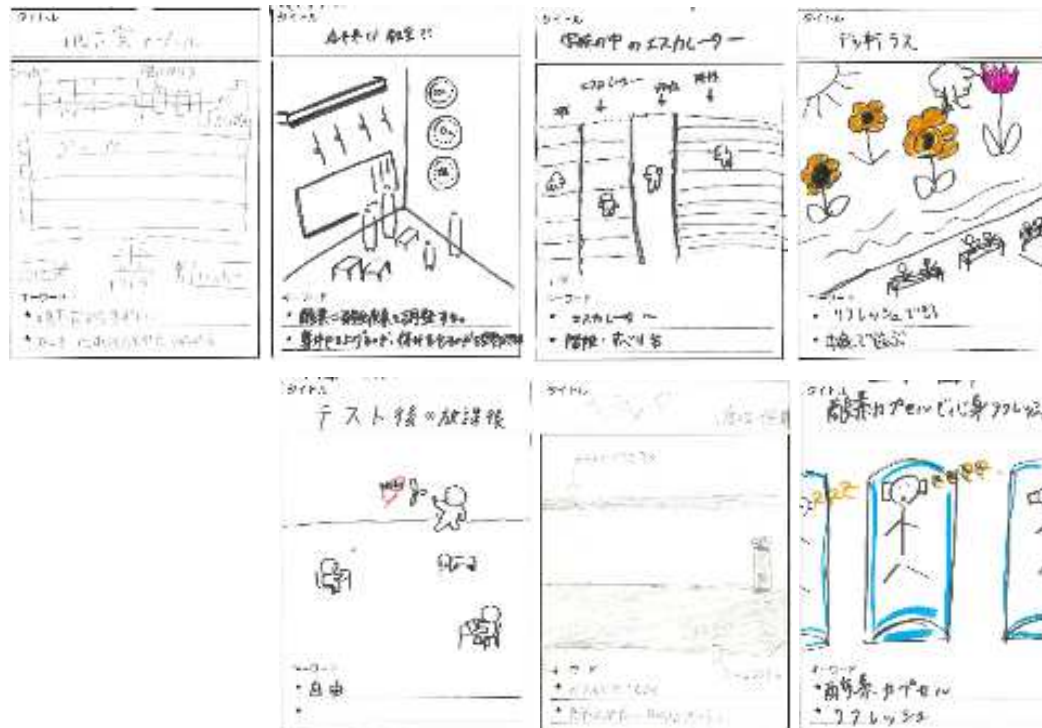
Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

③

タイトル：Dream Days.

- 1階はクラスルーム、2階は特別教室を配置する。
- クラスをジグザグに配置し、バルコニーや廊下を共有することで、他クラスと交流ができる。
- 中庭に池や花壇を置くことで、気分転換ができる。
- 校舎の角には、勉強や交流ができるオープンスペースを配置した。
- いたるところにベンチを置いて、リフレッシュの場に。



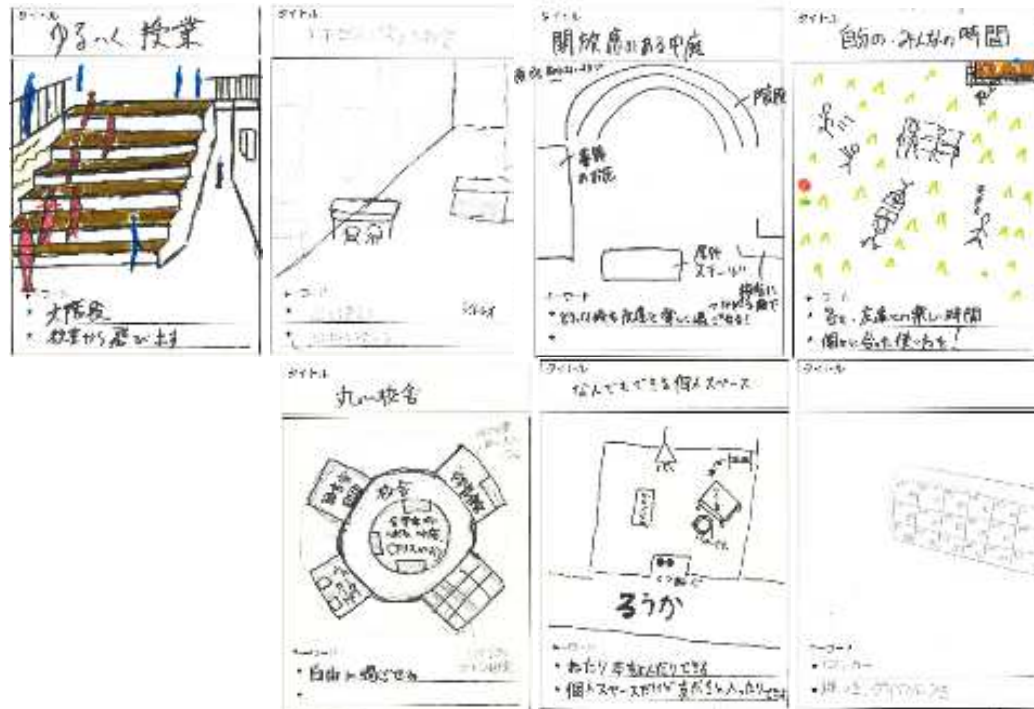
Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

D

タイトル：庭でつながる学校

- 中心に中庭を配置し、校舎が囲む。校舎内は外側から順に廊下→教室→バルコニー→中庭と構成した。バルコニーから中庭にかけて交流が生まれる。
- 1階は小学生で、1・2年生、3・4年生、5・6年生ごとにゾーンをつくり、学び合い、助け合いができるように。
- 2階は中1・2、3階は中3として、受験生は落ち着いて過ごせるようにする。
- 庭を中心として、中心から全学年が登下校を行う。
- 職員室は1、2階に縦につなげ、先生同士も小中の連携がとれる。



Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

考察

○交流の場

- 各グループに共通して見られた特徴として、**中心に中庭を配置し、学年を超えた交流の場**として活用するというアイデアが挙げられました。中庭は、異なる学年の児童生徒が自然に交わることができる空間として位置づけられており、学校全体のつながりを生む核となっています。
- さらに、中庭のようなまとまった交流空間だけでなく、**教室と教室の間や学年ごとのゾーニングの境界にオープンスペース**を設けることで、他クラス・他学年との偶発的な交流を促す工夫も提案されています。

○憩いの場・開放感

- 各案には、芝生広場や噴水・池、花壇など、**自然を感じられる要素**が取り入れられています。
- また、「空を見ながら給食を食べる」や「開放的なテラスで過ごす」といったアイデアからは、**屋外とのつながりを意識**して配置が考えられていることが分かります。
- これらの提案からは、自然と調和した開放的な環境が心地よく**、リラックスや気分転換につながる場として求められていることが分かります。

Ⅱ) こども部会

4. 感想アンケートの結果

(小中高校生)

Q.いろいろな年齢の人と一緒に過ごしてみて、今後の学校生活に役立つことはありましたか？

建築の大学生がいて、いろいろ建築のことを知れた！/大根中学校がどんな感じが少し分かった/年齢が違うので、考え方が違い、説得力があってすごかった/年上の人の意見は理想と実際のことを分けて考えられていてすごいと思った。とても参考になった。/新しいことを知れる、協力して話すときの緊張が減る/話のきっかけをつくったり、何かに率先して取り組む姿を見習いたい/高校生大学生と関われることは少ないので、貴重な経験になりとても楽しかった/普段の学校生活からはあげられない立場の意見を聞くことができた。/自分と違う考えが聞けて面白かった/異学年交流をもっと活発に行いたいと思った。/

(大学生)

Q.小中高校生と関わってみて、気づいたことや感想を教えてください。

自分にはない柔軟で予想外の発想に感心した。それぞれの視点からの自分なりの意見を出せていたと思う/自分たちでは現実的になってしまう中で自由に発想が生まれてくる/当事者だからこそその視点が面白かった/小中高校生の意見の方が、現代の問題を捉えていたと感じた/小学生も中学生もお互いに交流に対する意欲が見られた

Ⅱ) こども部会

4. 感想アンケートの結果

自由意見

(小中高校生)

グループワークがとても楽しかった/みんなで交流するのが楽しかった/年上の人が優しくしてくれてうれしかった/大学生がリードしてくれてとてもやりやすかった/いろいろな人と話して、話すときの自信がついた/チームで楽しめた/お昼ご飯をみんなと仲良く食べれた/いろいろな経験や出会いがあり、楽しい思い出ができた/大学生が分かりやすく話を進めてくれてカッコよかった/小さい子と関わる機会がなくなっていたのでとても良い交流だった

(大学生)

年齢の壁を超えて話をすることができ、貴重な体験となった/1から学校をつくるということが初めてで、楽しさもあり新たな学びもあった/本当に楽しく、たくさんのことを学ぶことができた/こどもの発想は本当に豊かで良いと感じた/他学年と交流するという貴重な体験でとても楽しかった

【資料5】保護者部会アンケート

「学校のあり方に関するアンケート（保護者向け）」の結果

1. 実施概要

- ・調査対象：大根中学校/大根小学校/広畑小学校に在籍する生徒/児童の全保護者
- ・回収数　：346人
- ・調査方法：Google フォームを用いたインターネット調査
- ・調査期間：2025年9月1日（月）～9月19日（金）

2. 調査項目

- 1) 回答者の属性（子どもが在籍する学校と学年、居住地）
- 2) 新たな学校の整備に向けた取組の認知度
- 3) 義務教育学校の整備に対する期待の有無
- 4) 新たな学校を整備するための適地
- 5) 新たな学校に期待すること
- 6) 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見
- 7) その他、新たな学校づくりについて期待すること

3. 次頁以降の表記について

- ・図中の「N」は標本数を指します。
- ・単一回答の回答比率は百分率の小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計値が100%にならない場合があります。

4. 回答状況

1) 回答者の属性

問1：お子さんが通っている学校と学年はどちらですか。複数学年や小中学校それぞれにお子さんが在籍している場合は、複数の選択肢を選択してください。（複数回答）

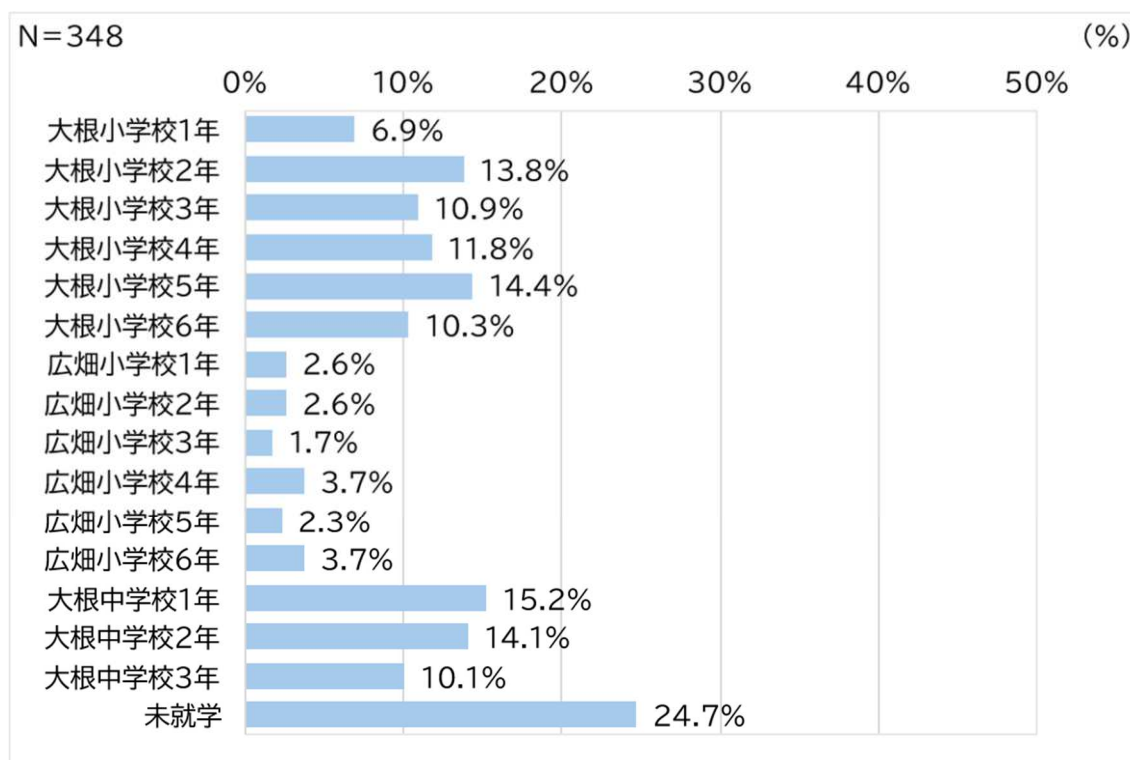


図1 生徒/児童が在籍する学校の構成比

問2：お住まいはどちらですか。以下の地図上でお住まいのエリアの番号を選んでください。（単一回答）

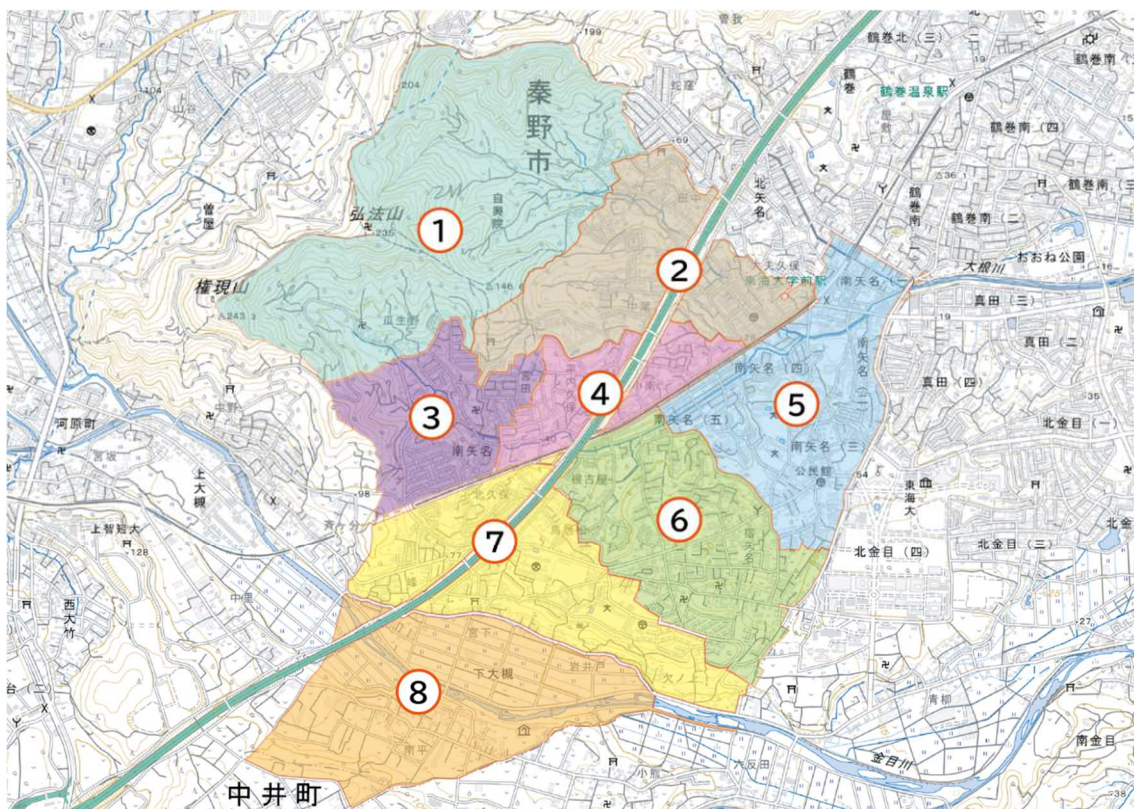


図2 居住地を問うにあたり提示した地図

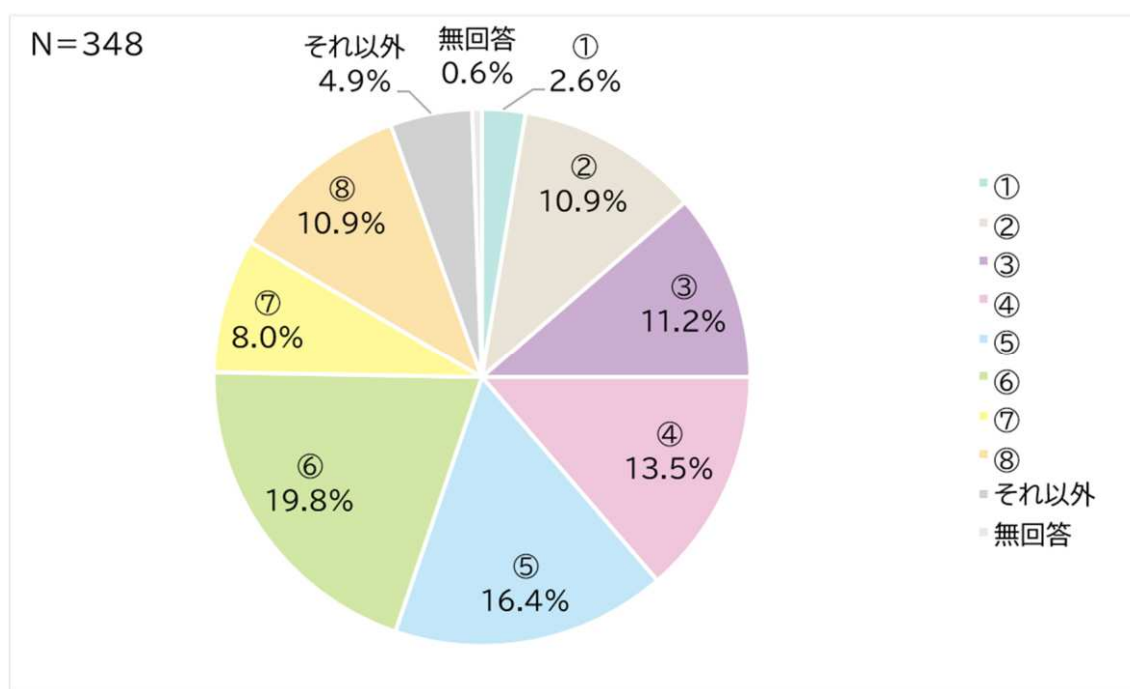


図3 回答者の居住地の分布

問3：冒頭のYoutube 動画を見ましたか。(単一回答)

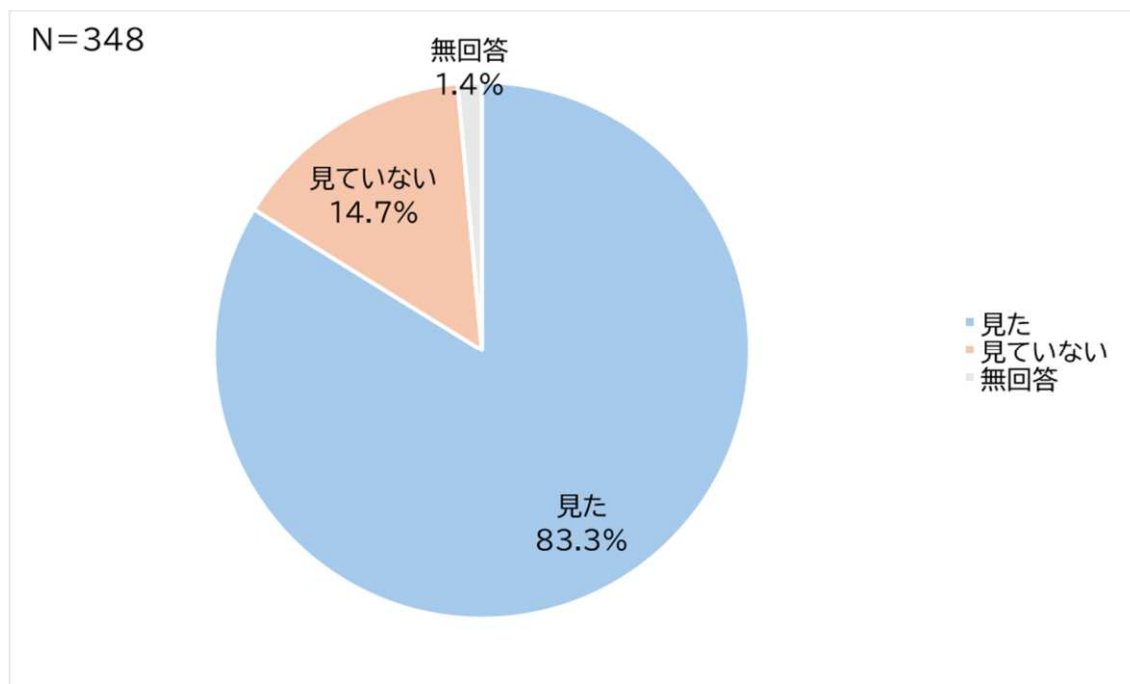


図4 動画「みらいの子どもたちと学校 ～大根中学校区の取組み～」の視聴状況

2) 新たな学校の整備に向けた取組の認知度

問4：大根中学校区の実組について、知っていましたか。(単一回答)

- 「知っている」が49.1%と最多で、「噂で聞いたことがあった」も27.0%を占め、大半の回答者が本取組のことを認知していることがわかりました。
- 「全く知らなかった」は23.0%を占めました。

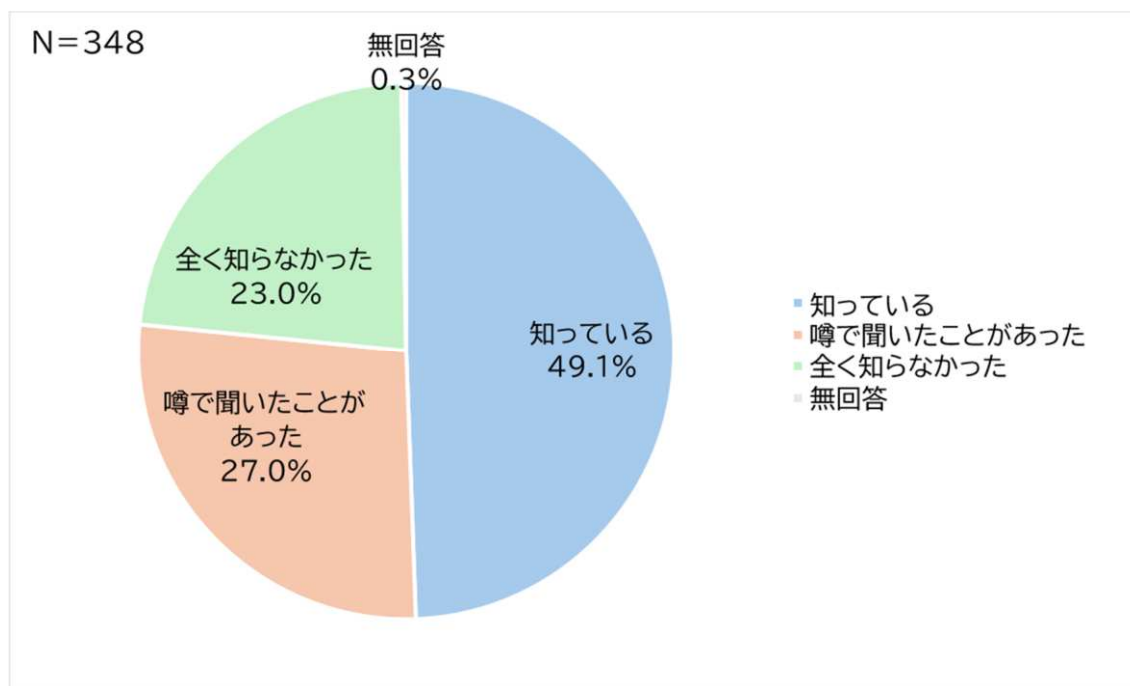


図5 大根中学校区における将来の学校の検討状況の認知度

3) 義務教育学校の整備に対する期待の有無

問5：大根中学校区学校整備懇話会では、2030年代前半（今から9年後）までを目安に、広畑小学校・大根小学校・大根中学校の3校を一体的に整備し、義務教育学校とすることに期待する方向性が示されていますが、あなたのご意見を聞かせてください。（単一回答）

- 「期待する」が41.4%と最多で、「やむを得ないと思う」も31.6%を占め、大半の回答者が義務教育学校の整備に肯定的な意見を持っていると言えます。
- 「現状のままでよい」は6.3%に留まりました。

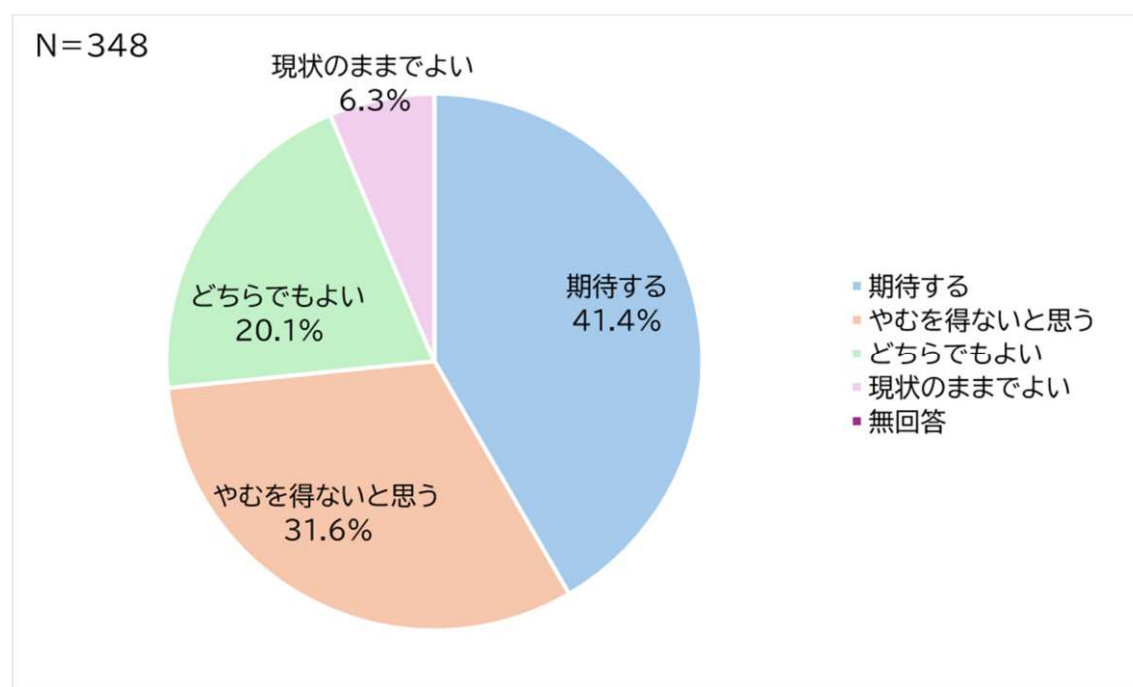


図6 義務教育学校の整備に対する期待の有無

問5-1：問5の回答の理由を記入してください。（自由回答）

- 「期待する」と回答した理由をみると、「児童/生徒の減少に関する理由」のほか「中1ギャップ等の解消に関する理由」や「教育の質の向上に関する理由」が多くを占めました。
- 「やむを得ないと思う」と回答した理由をみると、「教職員の負担軽減」や「児童/生徒の減少に関する理由」が多くを占めました。
- 「現状のままでよい」と回答した理由をみると、「通学距離が長くなることへの不安」等がありました。
- 寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

問5で「期待する」と回答した理由
■児童/生徒数の減少への対応に関する理由（37件）

- ・児童の数も減っているし、中学に上がるにあたって、少しでも不安が減れば良いなと思います。
- ・小学生の時少人数だったから。
- ・いくら学校といえど、少子化の進む現状では施設の維持管理に必要な予算や先生方の人件費等様々な要因を考えると合理化は必須であると考えている。
- ・子供の人数も減って来ているので。
- ・広畑小の1クラスの人数が少なすぎるので、YouTubeでもあったように、社会性が育まれにくいですし、様々な問題があると思います。早急にでも、大根小と合体して欲しいと思っています。
- ・生徒数減少で色々な面で不都合が出ると思うので、合併して大きく、かつ小中一貫になるのは面白い取り組みだと思う。
- ・少子高齢化の現代、先生方の働き方改革の今、とても期待ができる取り組みだと感じています。
- ・少子化だから、今までと変えて行った方がいいと思う。
- ・少子化により、今までと同じではきっと、困る事が出てくると思う。
- ・少子化傾向が続くことを考えるとまとまって新たなコミュニティが形成されることは子どもたちにとっても教員の方々にとっても良いことだと思います。
- ・説明会を聞いて子供の数が減っている中、人と関わり学べる場を作れるのかなと感じたため。
- ・少子化対策、教員負担の軽減、地域活動も包括的に効果的だと思うから。
- ・クラス数が少ないことは以前から気になっていた。
- ・児童数の減少、教師の負担などを考えると、このような変化は必要なことだと思う。また、「中1の壁」の改善にも期待できそう。
- ・児童数を考えると一体化したほうが良いと思ったため。
- ・現状の学年2～3クラスでも少ないと感じていること、先生の人数が増えると学校運営のほか子どもに対しても様々な考えの大人と接することができるメリットがあると考えます。
- ・少子高齢化の流れは食い止められないから。
- ・児童数が少ないので広畑と大根が統合するのは賛成。
小中一貫校の新しい取り組みもいろいろな面で期待できる。
- ・少子化の流れが加速する中、小学校区の見なおしはいずれ行われるものだから。ただ児童数が減った学校を無くすのではなく、中学校、公共施設を含めた組織、施設再整備を行うという方向性は間違っていないと考えるから。
- ・先生方の負担が減るといいと思うのと、一学年1クラスは少ないと思うから。
- ・生徒数減少が進んでいるので、地域の学校を一体化することは良いと思う。中1ギャップを無くすためにも中学生生活の情報共有や小中学生がお互いに交流できたらと思う。
- ・子どもの数が減り続けており、今までと同じやり方は難しいのではと感じます。広畑小学校が全学年1クラスしかないという点は大きな問題だと思いました。学校教育も時代に合

わせて変化するのが当然のことと考えれば、このような大きな改革には大賛成です。これからの子どもたちにとってよりよい教育環境になることを期待します。

- ・ 子供の数も減っていて、広畑小は1クラスしかなく、中学で大根と一緒になるとすぐに馴染める子と馴染めない子がいると思うので小学校から一緒だと安心感があると思う。
- ・ 子供の数が少ないので、一貫校にした方が子供達も戸惑うことなく進級できると思うから。
- ・ 今後少子化が進み、高齢化社会になることを考えると、近い場所にある広畑小と大根地区は一体化し、未来を見据えた過ごせる場所を作ったほうが良い。
- ・ 学校は長い期間子供達が沢山のことを学んで過ごすところなので、少子化が進んでいる今だからこそ少しでも環境の良い場所で子供達が過ごせるのが1番だと思います。
- ・ 生徒人数が各学年少ない中、広畑の子も一緒にすると人数が増え、クラス替えもできる。先生の負担も軽減できるならよいと思う。
- ・ 少子化の中、整備は必要。
- ・ 少子化や時代に合った取り組みだと思う。
- ・ ひと学年2～3クラスあると活気があるし、その分交流の機会も増えて、子どもたちには良いと思う。先生方の負担も減るならなお良し。広畑小跡地の問題については、サブの校庭として利用して部活動・クラブ活動を充実させてはどうか。9年間の義務教育学校になった場合、通わせたいかと思うかは、若干の不安がある（中学受験の選択肢もある中で、変わらない環境のままでいいのか、など考える。かなり魅力的な教育方針がないと難しいと感じる）。
- ・ 広畑小学区なので、単級よりクラス替えがあった方がよいと思うから。
- ・ 広畑小学校の人数が少なすぎて、子供を通わせるのに抵抗を感じる為。
また建物の老朽化も気になる為。
動画内で見た小学校から中学校へのステップアップへの不安解消にはとても期待を感じました。
- ・ 少子化を踏まえ先の教育を考えた時に必須と考える。
- ・ 生徒がすくなくなっている為。
- ・ 子どもも少なくなってきたので一体化する事はいい事だと思います。
- ・ 兄弟がいる人も少なくなる中で年齢差のある交流は、子供たちにとって新しい視点を生むのではないかと期待します。
- ・ 少子化や育児、学習環境、社会情勢の変化に適応した環境に整備されることを期待している。
- ・ 子供の人数も少ない為、広畑と一緒にするのは賛成。

■中1ギャップ等の解消に関する理由（17件）

- ・ 中学にあがるにつれ別々の小学校からの合体に不安があるので一体を望んでいる。
- ・ 子どもにとってステップアップするハードルが下がるから。
- ・ 9年生というスムーズな進学などメリットが多い。心の安定につながる。

- ・子どもに発達障がいがあり、特に環境の変化が苦手なので、小学校と中学校が一体となることで、心理的な負担が少なく中学校に馴染めるといったためです。中学生になると勉強が一気に難しくなるため、一貫した教育課程の方が望ましいと思います。
- ・中1ギャップの解消が期待できそうだから。
- ・距離の問題や、避難所の確保等の疑問点による不安は多少あるが、中学校に上がる際の負担が軽減されるなど、期待の大きいこと。
- ・中一の壁は無い方がよい。
- ・中学にスムーズに進めるため。
- ・老朽化にともない新しく使いやすい建物になることへの期待と、子ども達の環境が大きく変わらなくなる事への期待。
幼稚園から小学校へ上がる際も環境が大きく変わり精神的にも不安定になったため、中学校へ上がる際にもそれがあるのではとの不安もあるため。
- ・児童数の減少、教師の負担などを考えると、このような変化は必要なことだと思う。また、「中1の壁」の改善にも期待できそう。
- ・広畑小学校の人数が少なすぎて、子供を通わせるのに抵抗を感じる為
また建物の老朽化も気になる為
動画内で見た小学校から中学校へのステップアップへの不安解消にはとても期待を感じました
- ・児童の数も減っているし、中学に上がるにあたって、少しでも不安が減れば良いなと思います。
- ・いくら学校といえど、少子化の進む現状では施設の維持管理に必要な予算や先生方の人件費等様々な要因を考えると合理化は必須であると思う。
- ・中1のギャップもあるが、広畑小学校は児童数が少な過ぎて交友関係も狭いので、義務教育学校になることで友達や視野も拡大することを期待したい。
- ・生徒数減少が進んでいるので、地域の学校を一体化することは良いと思う。中1ギャップを無くすためにも中学生生活の情報共有や小中学生がお互いに交流できたらと思う。
- ・子供の数も減っていて、広畑小は1クラスしかなく、中学で大根と一緒に頑張ってすぐに馴染める子と馴染めない子がいると思うので小学校から一緒だと安心感があると思う。
- ・子供の数が少ないので、一貫校にした方が子供達も戸惑うことなく進級できると思うから。

■教育の質の向上に関する理由（12件）

- ・一貫してみただけなのは、ありがたいです。
- ・中学校までの九年間を知った先生が見てくれるのは子供にとっても良いと思う。
- ・先を見通した学習や生活ができることは良いと思う。
- ・子供の好きや楽しいをたくさん引き出せる環境が提供できるのではないかと考える。
- ・より良い教育環境、一貫教育に賛成のため。
- ・連続した学びができそう。

- ・同じ教師陣による小学校→中学校の継続的な教育を期待。
- ・子供が減りつつある中で、様々な家庭の子供の居場所があるようになってほしいと思うので。成長過程は、ある程度長い期間、同じ先生達が見守る教育をしてほしいと思うから。
- ・児童生徒が少なくなっていく中で、教員や設備を効率良く配置でき、子ども達の関係性も多様化するはずなので、より良い教育環境ができるものと考えます。
- ・職員間で、しっかりと子どもの情報や支援などの情報の共有されることを願っている。そして、できる・できないだけではなく、評価以外に、子ども一人一人の内面を見てほしい。そして、子どもが自然と次の学年に安心して上がれることを願っています。
- ・子どもに発達障がいがあり、特に環境の変化が苦手なので、小学校と中学校が一体となることで、心理的な負担が少なく中学校に馴染めるといったためです。中学生になると勉強が一気に難しくなるため、一貫した教育課程の方が望ましいと思います。
- ・新しい学びの形ができていったらいい。

■教育環境の向上に関する理由（8件）

- ・施設が新しくなること。
- ・老朽化にともない新しく使いやすい建物になることへの期待と、子ども達の環境が大きく変わらなくなる事への期待。
 稚園から小学校へ上がる際も環境が大きく変わり精神的にも不安定になったため、中学校へ上がる際にもそれがあるのではとの不安もあるため。
- ・建物等、新しく使いやすく整備されると嬉しい。
- ・きれいな校舎で子どもたちが学校生活を送る可能性があるから。
- ・校舎が古いので新しくなるなら良いと思う！
- ・広畑小学校の人数が少なすぎて、子供を通わせるのに抵抗を感じる為。
 また建物の老朽化も気になる為。
 動画内で見た小学校から中学校へのステップアップへの不安解消にはとても期待を感じました。
- ・子どもが学ぶ環境として良いと思う。
- ・少子化や育児、学習環境、社会情勢の変化に適応した環境に整備されることを期待している。

■教職員の負担軽減に関する理由（6件）

- ・少子高齢化の現代、先生方の働き方改革の今、とても期待ができる取り組みだと感じています。
- ・少子化対策、教員負担の軽減、地域活動も包括的に効果的だと思うから。
- ・児童数の減少、教師の負担などを考えると、このような変化は必要なことだと思う。また、「中1の壁」の改善にも期待できそう。

- ・先生方の負担が減るといいと思うのと、一学年１クラスは少ないと思うから。
- ・生徒人数が各学年少ない中、広畑の子も一緒にすると人数が増え、クラス替えもできる。先生の負担も軽減できるならよいと思う。
- ・ひと学年２～３クラスあると活気があるし、その分交流の機会も増えて、子どもたちには良いと思う。先生方の負担も減るならなお良し。広畑小跡地の問題については、サブの校庭として利用して部活動・クラブ活動を充実させてはどうか。９年間の義務教育学校になった場合、通わせたいかと思うかは、若干の不安がある（中学受験の選択肢もある中で、変わらない環境のままでいいのか、など考える。かなり魅力的な教育方針がないと難しいと感じる）。

■その他の理由

- ・義務教育学校に将来性を感じるから。
- ・子供達にとっていい方向に動くことが１番だから結局大根中に入るなら、広畑の子も最初から大根の方が良いと思う大根の子広畑の子の壁は小さいうちからないほうがいい。
- ・様々なことに子どもに対するメリットがあるなら。
- ・良い環境と通いやすい学校ができる事が素晴らしいと思うから。
- ・生徒数が減るなかで、効率的な学校運営が必要だから。
- ・他世代との交流はいいことだと思うから。
- ・一箇所に集まるのが良いと思う。
- ・児童生徒数が伸びないのであれば、やむを得ないが、それを逆手に取り、より良い学校生活を送れるのであれば良いと考える。
- ・遅いくらい。もっと早くに一体化に取り組んで欲しかった。
- ・小学生の子が中学生から教わることもあるだろうし、逆もあるだろうし、良いコミュニケーションが生まれると思う。もし問題が起きた時はその都度、話し合っていけば良いと思う。
- ・前例があるか調べてみたら、メリットがたくさん見えてきたから。
- ・通学困難の要因を少しでも減らすため。
- ・未来の子どもたちのためによりよい学校作りを期待したい。
- ・説明会を聞いて。
- ・更に長い友人関係が期待できる。沢山の先生方に見守られる安心感がある。
- ・動画を見た限り、不登校対策などになるのであれば期待ができると思う。
- ・学校維持費の削減が見込めると思う。
- ・義務教育学校というものに良いイメージがある。９年後は息子が１４歳、娘が１２歳なので、小学生～中学生なので良い経験に繋がるのではと思う。
- ・交流できる人、年齢が増えることは、子供にとって救いになると思います。狭いコミュニティだと、馴染めなかった時に逃げ場がありません。
- ・子ども達が安心して学校生活を取り組める環境ができると思われるので。

- ・今の子供たちに学校制度が合っているのか疑問を感じています(我が子が不登校状態)。試行錯誤しながらの挑戦になると思いますが、新しい取り組みには期待したい。
- ・新しい時代の取り組みとおもう。
- ・小中一貫の教育に関心がある。
- ・取り組みに期待したいから。
- ・YouTube をみて、メリットが多いなと感じたため。
- ・一貫で行った方が効率がいい。
- ・新たな学校になることで、地域と一体化した施設になると思うから。
- ・子供達にはいろんな習う・学ぶ機会を与えること。
- ・色々な問題や学校間の差などを確認、改善するいい機会だと思う。
- ・地域が活性化して、子ども達にとっても良い事だから。
- ・他の学校との学力格差、子どもが少なくなったことから集団生活、学力にもしっかりと見てほしいが、今の先生にはそのキャパがないためそのカバーについても考えてほしい。
- ・一体化したことによるデメリットがあまりないから。
- ・市の意向に賛同しているし、将来の子どもたちにできるだけ良い学科施設を残してあげたいと思うから。
- ・子供を取り巻く環境が大きく変わっている中で、ハード面も含めて検討ができるから。
- ・こども園でお話を担当者さんから伺いましたが、前向きな感じで良かったです。
- ・義務教育学校の制度を活用して、子供の教育環境や、学校集約によるメリットの方が、デメリットよりも多いと思う。
- ・新しいことが楽しそう。
- ・子どもも少なくなってきた中でも考え方にも多様性があるので、一人ひとりに合った環境づくりが作りやすくなりそうに感じたため。
- ・子どもたちのためによりよくなってほしいから。
- ・小学校から中学校へのステップが本当に大きいと感じています。公立で一貫教育となることにより、勉強面も生活面でもギャップを感じることなく中学生になれたら良いのではと思います。

問5で「やむを得ないと思う」と回答した理由

■教職員の負担軽減に関する理由（13件）

- ・先生の負担が大きいなら致し方ないので。
- ・子供の人数が少ない中、そして先生方の負担を考えると一つに纏った方が良いと思う。
- ・義務教育学校になる事で、9年間同じような集団で過ごすことになるため、大人も子どもも心理的・物理的な逃げ場なくなる可能性が生じると感じました。特に人間関係のトラブル(学年を超えてだったり、教师生徒間であったり保護者同士など)において小学校・中学校の敷地が別だったからこそ、人間関係のやり直し・再構築の機会にもなるのかなと思います。

ただ、現実には少子化が進んでいる上に、先生の成り手も減少傾向にあるため(また教師という立場だけでなく野外活動や学校経営の維持で業務量が多いのも課題)このような形になるのは当たり前とも思っています。

このため、学年が上がる際には担任の先生をはじめ、子どもたちの様子を留意しつつ、各家庭に相談の機会やアンケートなどを通じて、人間関係に対するケアを充分に行えると良いと思います。

- ・児童と教師の減少の為。
- ・子どもの数が減っている状況や先生方の働き方も考えると、致し方ない方向性なのかもしれません。
- ・子どもの人数も減っていますし、一体化することで先生方の負担が減るのはとてもいいことだと思います。クラスが増えたり子どもの人数が増えることで子どもたちにとっても色々プラスになることも色々あるのだと思います。

でも心配な点もあります。

大根はモデル校になると思います。やってみないと問題点はわからないところもあると思いますが、できる限り色々な可能性を考えて動いてほしいと思います。

それから現在もお友達と喧嘩をしたり、学校が嫌だなどと思ってしまう子もなかにはいるのではないかと思います。いやな思いをして不登校になってしまったこもいるかもしれません。

一貫校になると担任の先生が教える形から中学校と同じように勉強も教科担当の先生にのび変わったりするのでしょうか？中学生になるためには慣れておくことも必要なことかもしれません。でも担任の先生が見てくださっても、クラスでは色々なことがあると思うのに大丈夫だろうかと思ってしまいます。子供たちの様子を見れるよう、何かあった時に少しでも早く気づけるような工夫をして欲しいと思います。

それと中学校は部活などで鶴巻中学校を選ぶことや、私立の中学校を受験する事もできますが一貫校になった場合はどうなるのか…などこれから色々な意見が出てくると思いますが丁寧に回答頂けるといいなと思います。

- ・少子化の問題、教師の仕事量の問題を考えるとやむを得ない。
- ・生徒数、教員数を考えると仕方ないと思う。
- ・教員、生徒数の減少がより進むから。
- ・少子化、教員の業務改革。
- ・子供の人数減少、先生方の負担増を背景に妥当。
- ・人手不足と少子化の世の流れ故止むを得ないことかもしれませんが、改革の機会となることを願います。
- ・先生、生徒の人数の問題ならばやむを得ない。

■児童/生徒数の減少への対応（78件）

- ・児童が減っているため。
- ・子供が少ないので、仕方ない！
- ・子供の人数が減ってきているから。

- ・子供の人数が少ない中、そして先生方の負担を考えると一つに纏った方が良いと思う。
- ・子供が少なくなってきたから。
- ・生徒の数が年々減少しているので仕方ない。
- ・子供の数が少なくなっているから。
- ・少子化のため仕方がない
- ・少子化のため学校の合併はやむをえないと思います。
義務教育学校化のメリットも当然ある一方で、環境が変わらない事で失われる刺激や機会もあると考えます。また、その環境に適合できない子供が出てきてしまった場合も再チャレンジが難しいように思います。
- ・子供が少ない。
- ・少子化の為。
- ・将来的に建て替えなければいけない校舎が、小中学校合わせて3校。けど子供の人数は減少しているから、将来的に100人在籍するか分からない広畑小を建てるのは難しいんだろう…と思います。
- ・広畑小学校は前から人数が少ないのに今まで大根小学校と統合していない方が不思議でした。2つの小学校が中学になってから一緒になるなら最初っから一緒であればいいと思います。
- ・少子化建物が古いから
- ・児童数が減っている為。
- ・子供が減っているから。
- ・義務教育学校になる事で、9年間同じような集団で過ごすことになるため、大人も子どもも心理的・物理的な逃げ場がなくなる可能性が生じると感じました。特に人間関係のトラブル(学年を超えてだったり、教師生徒間であったり保護者同士など)において小学校・中学校の敷地が別だったからこそ、人間関係のやり直し・再構築の機会にもなるのかなと思います。
ただ、現実には少子化が進んでいる上に、先生の成り手も減少傾向にあるため(また教師という立場だけでなく野外活動や学校経営の維持で業務量が多いのも課題)このような形になるのは当たり前とも思っています。
このため、学年が上がる際には担任の先生をはじめ、子どもたちの様子を留意しつつ、各家庭に相談の機会やアンケートなどを通じて、人間関係に対するケアを充分に行えると良いと思います。
- ・このまま広畑小を卒業させたいし、下の子も上の子同様に入学してずっと通えたらと思いますが、人数が少ないのも分かってくるので仕方ないかなと。
- ・子どもが少なくなっているから。
- ・児童の減少に伴う対策として必然的だと思う。
- ・生徒数が減少しているため。
- ・実際広畑小学校の児童数が少なく、子どもの社会性の育みにおいてはとても心配しているので。

- ・児童と教師の減少の為。
- ・子どもの数が減っている状況や先生方の働き方も考えると、致し方ない方向性なのかもしれません。
- ・子供の人数を考えるとやむ得ないと思う。
- ・人数の減少の為。
- ・子供の社会性が重要だから。
- ・広畑小の児童の減少を見ると学校統合はやむを得ないと思います。
- ・少子化の影響。
- ・子どもの人数も減っていますし、一体化することで先生方の負担が減るのはとてもいいことだと思います。クラスが増えたり子どもの人数が増えることで子どもたちにとっても色々プラスになることも色々あるのだと思います。
でも心配な点もあります。
大根はモデル校になると思います。やってみないと問題点はわからないところもあると思いますが、できる限り色々な可能性を考えて動いてほしいと思います。
それから現在もお友達と喧嘩をしたり、学校が嫌だなど思ってしまう子もなかにはいるのではないかと思います。いやな思いをして不登校になってしまったこもいるかもしれません。一貫校になると担任の先生が教える形から中学校と同じように勉強も教科担当の先生にのび変わったりするのでしょうか？中学生になるためには慣れておくことも必要なことかもしれません。でも担任の先生が見てくださっても、クラスでは色々なことがあると思うのに大丈夫だろうかと思ってしまいます。子供たちの様子を見れるよう、何かあった時に少しでも早く気づけるような工夫をして欲しいと思います。
それと中学校は部活などで鶴巻中学校を選ぶことや、私立の中学校を受験する事もできますが一貫校になった場合はどうなるのか…などこれから色々な意見が出てくると思いますが丁寧に回答頂けるといいなと思います。
- ・子どもが少ないので仕方ないと思う。
- ・子どもの人数も減っているのではかたないと思います。
良いこともたくさんあると思いますが、中学生はテスト期間もあり、3年生は受験もあるので、その時に集中できる環境にあるのかなど色々心配なことはあるので、小中一貫校にするにあたり、そういう保護者の疑問や不安な点に丁寧に説明があるといいなと思います。
- ・少子化や学校の老朽化を考えると、やむを得ないと思う。
- ・新しく建て替えることへの寂しさ、広畑エリアからの通学距離の問題はあるが、少子化である以上やむを得ない。
- ・少子化の問題、教師の仕事量の問題を考えるとやむを得ない。
- ・児童数が少なくから。
- ・少子化は食い止められない。
- ・子どもの人数が減少しているため。
- ・広畑小の児童数減少の現状から。
- ・広畑小学校の児童数が少ないから。

- ・児童数が減る中合併は避けられないであろうとは考えています。
ただし、小中一貫校に関しては別問題であり、一貫校とするメリットが見えて来ないというのが正直なところです。一貫校にするとずっと変わらない体制というと良く聞こえますが、将来的に高校、大学、社会人、と環境は変わっていくので、変わることに慣れるという意味では区切りがあるという点は良いとも考えられます。一貫校とするのであれば、クラス編成のみならず、授業の形や部活動など放課後の時間の在り方、課外授業なども含め検討する必要があると考えます。
- ・子供の人数が減っているから。
- ・少人数制のメリットも沢山あるが、今後より生徒数が減る事により生じる影響（限られた人間関係の固定化、先生方の負担）を考えると、やむを得ないと思う。
- ・児童、生徒の数が減少していることは事実です。昔の大根地区のように合体せざるをえないと思います。ならば、地域の人達がよりよく生活出来ることを期待したいです。
- ・子供が減っているので仕方ないかな。
- ・生徒数、教員数を考えると仕方ないと思う。
- ・少子化だから。
- ・教員、生徒数の減少がより進むから。
- ・子供の数が少ないから。
- ・子供の人数の減少が要因になる。
- ・少子化、教員の業務改革。
- ・子供が減ってきてるから、地域で協力するのはやむを得ないかな。
- ・子供が少ない以上やむを得ないと思う。
- ・子供の人数が減少しているので。
- ・子どもの数が減少傾向にあるため。
- ・少子化のため、まとめたほうが良いと思う。
- ・子供の人数が少ないから。
- ・子ども数が少ないから。
- ・人数の減少。
- ・今は、少子化が進みこのまま子供が増える事がないからやむを得ないと思う。
- ・広畑小の児童の減少、1クラスであることから子供達のためにも整備は仕方ないと思う。
- ・生徒数の減少。
- ・子供の人数減少、先生方の負担増を背景に妥当。
- ・人手不足と少子化の世の流れ故止むを得ないことかもしれませんが、改革の機会となることを願います。
- ・子どもの人数が減っているため。
- ・少子化だから。
- ・生徒数が減っている為やむを得ないと思う。

- ・子供が少ないから。
- ・子供の数が少ないから。
- ・広畑小の人数減少はやはり課題で、大根小学区に近い自宅の子もいるため、合併することで得られるものは多いと思う反面、やはり下大槻南平の方の子は中学生ならまだいいが、小学生には大変なので、そこは課題だと思う。送迎サービスなども充実させる必要がある。また中学生でも自転車通学を許可してあげるべきだと思う。小中一貫校も良い案だと思います。
- ・少子化による子供数の減少を実感しているから。
- ・少子化による学校の統廃合はやむを得ない。しかし、通学する児童とその保護者に不利益が生じないならば反対するものではありません。
- ・各学校の生徒数が少ないので仕方ないと思う。
- ・各学校の生徒数が少ないので仕方ないと思う。
- ・先生、生徒の人数の問題ならばやむを得ない。
- ・児童数の減少を感じるから。
- ・子供が少ない為。
- ・子供の人数が減っているから。
- ・人口減少で仕方がない。
- ・少子化による学校の統廃合はやむを得ない。しかし、通学する児童とその保護者に不利益が生じないならば反対するものではありません。
- ・各学校の生徒数が少ないので仕方ないと思う。
- ・各学校の生徒数が少ないので仕方ないと思う。
- ・先生、生徒の人数の問題ならばやむを得ない。
- ・児童数の減少を感じるから。
- ・子供が少ない為。
- ・子供の人数が減っているから。

■その他の意見

- ・多世代の交流を目的としているとの事だが子ども側のメリットが感じられない。様々な人が出入りできる施設だと不審者がいても気付かれにくいし防犯面や高齢者の交流する施設も併設されるのであれば駐車場での事故等に巻き込まれないかも心配。
- ・メリットも多いが、通学が遠くなることが心配。
- ・他の案がなかなかないから。
- ・子どものいる家庭が減っており、下大槻団地の居住者も高齢者が多く、地域としての在り方を見直す必要がある。
- ・高齢者世帯や大学生のアパート、マンションが増え、この地域に若い子育て世帯が増えないならやむを得ないと思います。

- ・問題もたくさんあると思う。
- ・大学生用のアパートなどばかりが増えて、今後も子どもが増えていく未来が見えないため。

問5で「どちらでもよい」と回答した理由

- ・もう子供は卒業してしまうので。
- ・子供が卒業するので。
- ・卒業しているから。
- ・うちの子はもう卒業してしまうから。
- ・9年後に学校に通う子供がいらないから。
- ・9年後は自分の子どもは中学を卒業しているから。
- ・卒業しているので関係ない。
- ・うちの子が卒業したあとことなのであまり関係ないので。
- ・9年後では我が子には関係なくなってしまう。我が子には広畑小学校を卒業して欲しい。在校中の合併はやめてほしい。
- ・その頃には自分の子供は卒業しているから。
- ・この制度が決まるころには、自分子供たちは卒業してと思う。
- ・もうその頃には子どもが卒業しているので。
- ・先すぎる。
- ・卒業してしまうから。
- ・卒業してしまうから
- ・みなさんの判断に従いたいから。
- ・市の判断に委ねます。
- ・その地域に住んでいなく子供が通う事がないので。
- ・学区外であるため。
- ・学区外なので。
- ・学区外なので。
- ・行政等が関わることだから一概にこうしてとは言えない。
- ・情報が少なくいまいちピンと来てない。
- ・賛成でも反対でも無いため。
- ・今まで子どもを通わせていて特に不満や不安、不都合はなかった。
- ・小学生から中学生にあがり環境が変わることへの不安がある子どももいれば、逆に、新しい環境に期待している子どももいると思ったため。
- ・9年後の未来（子供数）分からず、判断できぬいが。小中学を一緒にしなくても良いかと思う。
- ・広畑小の生徒数が少ない件に対しては対策が必要だと思います。

ただ、9年生にする必要はないと思います。子供の頃からある程度の生活ギャップを経験するのは必要。大人になって耐えられないような人にならないように今のままで小学校→中学校が良いと思います。

- ・子供の数が減少するなら良いと思うが、中1ギャップはなくなってきても、義務教育が終わった後の高校のギャップが今度はあると思う。子供にとって、環境の変化は大変だと思いますが、忍耐力や適応能力が身に付けるチャンスだとも思います。その時によって時代の子育ての方針もあると思うので、お任せします。
- ・高校生になる為の心の準備が出来るかが疑問だが、見守りたいです。
- ・人数が少なくて、小中学が合併は仕方ないと思うが、中1ギャップのためではないと思う。
- ・子供の数が少なくなっているから仕方ないと思う。しかし、中一ギャップというのは、環境の変化にならなきゃいけないので、社会人になって対応できない大人になってしまうのではないかと不安。
そんなにあまったるく考えないでほしい。小学校から中学校へ上がるのは第一段階として経験が必要だとも思う。
- ・地区によっては通学で子ども達の負担になりそう。
- ・地域の現状に合わせて中長期的に考えて欲しいから。
- ・生徒数、学級数の事を考えると一体化したほうが良いとは思いますが、登下校に時間がかかる子も出てくるため。
- ・広畑では人数が少ないからなのかは、わかりませんが、勉強面に対して、子供に教えて頂ける機会があります。それは、勉強が苦手な子にとってとても、助かっていると思います。合併して、大人数になっても、そういった機会を設けて頂けるのかな??と、保護者目線でございます。
- ・正直、義務教育学校にはあまり期待を感じられないが、生徒数の減少への対策と言われると、受け入れるしかないのかなと思う。
- ・このような決定は、学校協会と自治体によって適宜行われます。
- ・メリット、デメリットどちらの側面もあるから。
- ・メリット、デメリットどちらの側面もあるから。

問5で「現状のままでよい」と回答した理由

- ・児童数が減ってきていることに関しましては、確かにその通りで、広畑小と大根小を合併させることは賛成です。
ただ長時間の登下校は、特に夏は地獄ですので、対策を考えなければなりませんね。
大根中を含めた義務教育学校につきましては反対です。中学入学にあたり環境の変化で精神的ストレスになる子供がいる、とのことでしたが、逆に心機一転気持ちを切り替えポジティブに中学入学を迎える子の方が多い気がしますし、いじめや友達関係に悩んでいた子は更に3年間同じ環境で悩み続けることとなりますので(私自身、中学入学で新しい友達、新しい環境でとても助けられました)、私個人としましては、今のままで、ストレスになってしまう子供への対応は個別にしていって、という方が良いかなと思いました。

どちらを選択しても課題は沢山あると思いますので、慎重に検討して頂きたいです。

- ・通学距離の問題。
- ・通学が遠くなる子どもが出てくる。少人数の良さ(先生の目が行き届く、アットホーム)が失われてしまう。
- ・地域的に通学が不安である。
- ・登校の距離を考えると現状のママが良い。
- ・学校が遠くなる。
- ・小1の通学距離が長すぎる。
- ・小学校入学の6-7歳と中学校卒業の15歳では興味や精神的な成長度合いが違いすぎるので、様々な問題が起きると思う。例えば、高校受験を前にしたナーバスな中学生が小学校低学年の元気な奇声や泣き声にストレスを感じないか。性の意味も分かっていない小学校低学年の子供と中学生が同じ環境で過ごしていて性虐待が起きることを防ぐことができるか。語彙力も力も差が広がることで言葉の暴力や暴力が起きやすくなるのではないか。何かあった時に、小学校低学年と中学生とでは説明能力に差があるので低学年の子への理解が乏しくなるのではないか。
また、中学生生活と高校生活ではさらに環境が変わるのに、幼稚園から小学校の環境の変化の次が9年後の中学校から高校では中1ギャップよりも更に大きなギャップがあると思う。小学校低学年と高学年を分けて環境の変化を小刻みにするのはいいかも知れないが、間隔を広げるのは心配が残る。
私は高専という高校と専門学校の一貫校出身なので15歳と20歳、専攻科を含めると22歳までの学生が同じ学校に通う環境を知っているが、同じ学校の学生で喫煙の可否、飲酒の可否があるなかで先生の目がすべてに届いているわけではなかった。恋愛においても、同じ環境にいるためあまり違和感を感じないが成人が未成年と交際するような場面が多々あった。同じようなことがまだまだ未熟な10歳以下に起こるかと思うと不安が大きい。
- ・小学校は小学校で6年で一度区切りをつけるべきだと思う。
- ・中1ギャップは必要だと思う。小学生が、大人と感じる中学生をいつも見れる範囲に置くことによって、小学生にどのような影響が出るか分からない。中学生をマネする小学生が増えてそれが良く働けば良いが、悪い方向(非行とか?)に働く可能性もあるのではないか。中学生は学年によって荒れたりするし、近年は外国人も増えているので素行の悪い子供も増えているし、マイナスな事を考えてしまう。
私立では小中学一貫も多いので、良く働けばとても良い環境になると思うが、秦野という小さな地域の行政でそこまで管理できるかは正直不安。
- ・他の学校の子とプールの授業をした時に、子どもが不安を口にしていたため。
- ・こちらにメリットをあまり感じない為。
- ・必要だと思わない。
- ・不安しかありません。
- ・整備する予算が勿体ない。他に当てるべきだ。やるならば広畑小を大根小に統合のみでよい。

- ・学校の一体化よりも、アパートばかり建つ現状を変えたり、他地域みたく教育の補助に力を入れて新しい世代の入居を目指すことも大事だから。

4) 新たな学校を整備するための適地

問6：新たな学校を整備する敷地はどちらがよいと思いますか。(単一回答)

○「大根小・中学校を1つにした敷地」が70.1%と大半を占めました。

○「広畑小学校の敷地」は6.0%に留まりました。

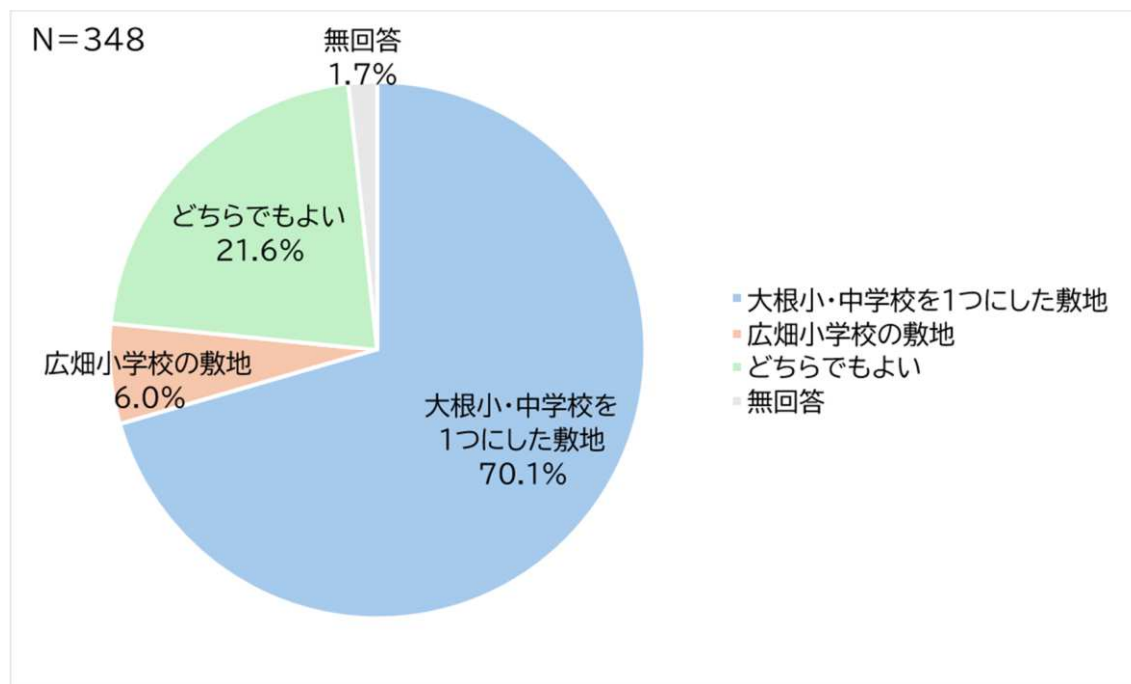


図7 新たな学校を整備するための適地

5) 新たな学校に期待すること

問7：新たな学校に期待することは何ですか。(複数回答)

- 「卒業まで安心して通える環境」が 82.5%と最も多くを占めました。
- 「一貫した教育課程による学力等の向上」が 55.7%と過半数を占めたほか、「施設や設備の最新化」も 48.0%と約半数を占めました。

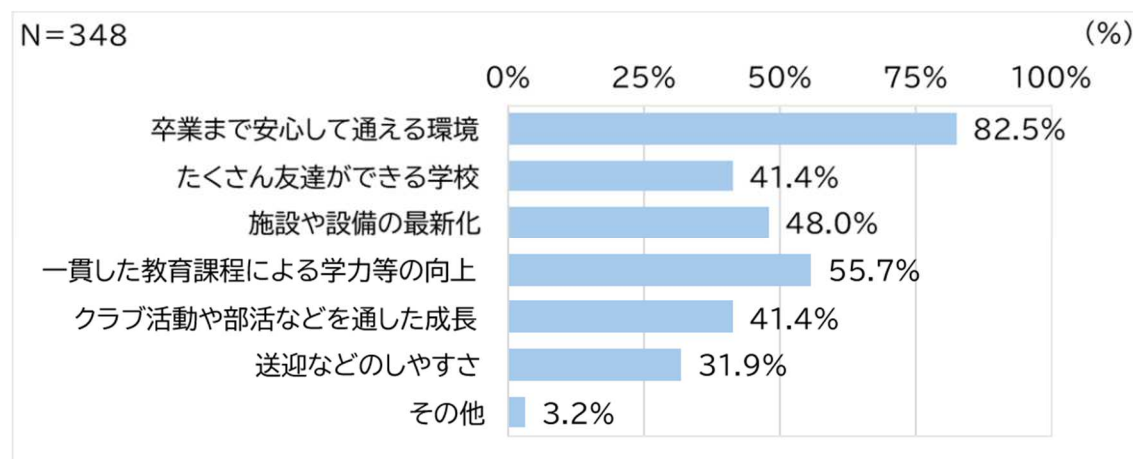


図8 新たな学校に期待すること

○「その他」の内容の一覧は以下のとおりです。

- ・他の学区からも通いたくなるような、質、学力の良い学校。
- ・先生や子供に余裕のある教育内容。
- ・こぼれ落ちる生徒がないこと。
- ・不登校や発達に隔たりがある子なども安心して通える、能力によって細分化された教育。先生がより楽しく働きやすい環境。
- ・学校に行きにくい子でも通いやすい個室があったり・配慮された個室の配置・カウンセラーさんが常駐していてほしいです。
- ・教職員の継続的な見守り。
- ・施設や設備投資よりも、教師の方々を十分に配置し、負担を軽減して欲しい、子どもひとりひとりに目が行き届くよう、そして学校が楽しい、家でゲームスマホするよりも違う楽しさがあると思える学校を作り上げて欲しい。
- ・学童の連絡もテトルでできる等、連絡のしやすさ。
- ・子供たちが行きたくなるような学校と、先生方の負担を軽減できること。
- ・子育て世代の増加。
- ・セキュリティ、通学のしやすさ、AIを活用した個別フォロー。
- ・安全性。
- ・スクールバスの運行。
- ・鶴巻の方が近いのに大根に通っていますが、今でさえ昨今の異常気象で登下校時熱中症にかかってしまったのに駐車場を使うのにためらう風潮をなんとかしてください。

- ・将来、さらに広範囲の統合となる可能性がある。現在では考えられないほど遠くから通う児童も出てくると予想します。保護者による自動車による送迎可能であることと、駐車場の整備をぜひ希望します。
- ・学校という枠にとらわれない施設、生きる力を身に付けられる環境。
- ・白黒ではなくグレーが居ても許される場所。
- ・大根中学、私服のままだがよい。

6) 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見

問8：学校以外の公共施設（公民館など）との複合化についても、「地域のコミュニティ拠点になる」、「放課後の子どもの居場所となる」、「多世代の交流が活性化される」などの観点から期待する旨の意向が示されていますが、あなたのご意見を聞かせてください。（単一回答）

- 「期待する」が 56.0%と最も多くを占め、過半数の回答者が複合化に対し肯定的な意見を持っていると言えます。
- 「学校と複合化する必要はない」は 15.5%を占めました。

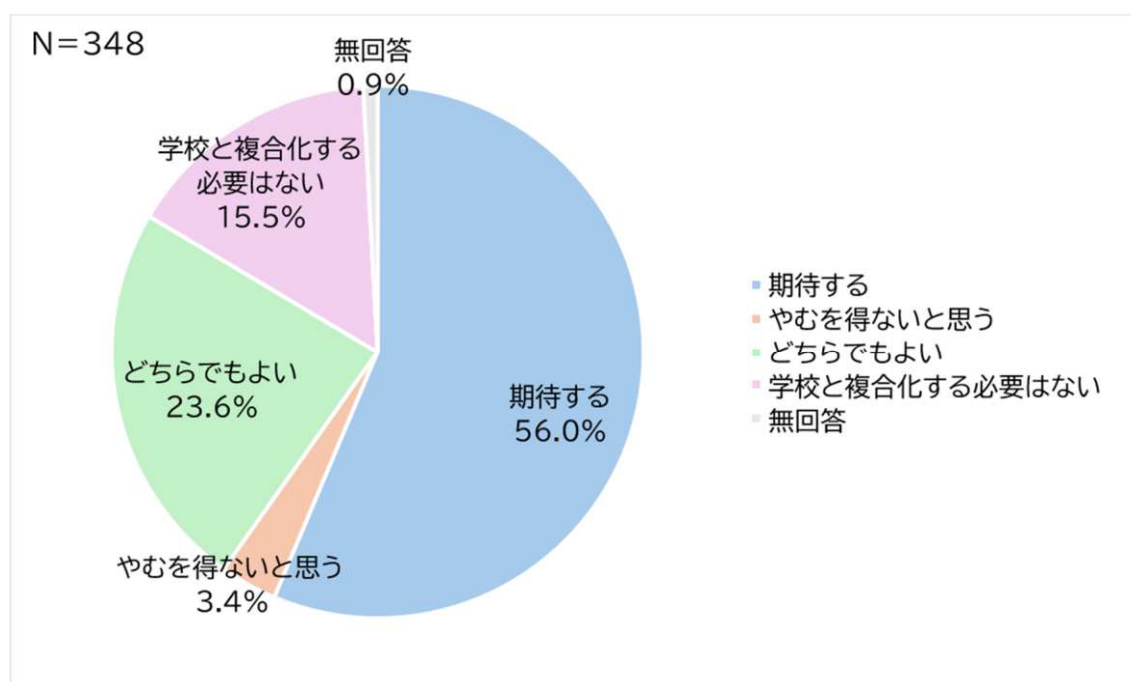


図9 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見

問8－1：問8の回答の理由を記入してください。（自由回答）

- 「期待する」と回答した理由をみると、「交流の場の創出に関する理由」や「子どもの居場所の創出に関する理由」が多くを占めました。
- 「学校と複合化する必要はない」と回答した理由をみると、「防犯面の不安」が多くを占めました。
- 寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

問8で「期待する」と回答した理由
■交流の場の創出に関する理由（52件） ・ いろいろな交流は良いと思う ・ 多世代の交流の場が綺麗になって交流の場が増えれば良い。 ・ 今は世代間交流がなく、子供と高齢者など生活環境が分断されているように感じるから。

- ・色々な人が来て、盛り上がるのはいい事だと思う。
- ・みんなで交流できる場が増えることは、とてもいいことだと思う。
- ・たくさんの人ふれあいができるといから
- ・地域の方と自然と交流できる場があることは良いと思います。ただ、トラブルがあった時に、内容によっては責任の所在がわからなくなることありうるので、規則や担う役割などは明確にすべきだと思います。
- ・異世代間の交流を促進できる。
- ・少子高齢化社会になるので、様々な世代が集える場があると交流できて良さそう
- ・いろんな方と触れ合う事で、社会性を学んで欲しい。
- ・南公民館に似た学校と地域の繋がりのある施設は、交流の場が広がりとても良いと感じます。
- ・地域の人との関わりが増えることは良い事だと思う。
- ・地域交流の場になり、世代を越えてコミュニケーションを取れる環境はとても魅力的です。
- ・高齢者や地域の人々にとっても子ども達との交流で得るものがあり、双方にとって良い刺激になるのではないと思う。
- ・大根公民館は老朽化しており、地域の交流の場になるように開放的な空間にリニューアルしてほしいです。現在の大根公民館は図書館しか子どもの行き場所がないため、放課後に子どもが遊べる児童館も併設されるとさらに良いと思います。
- ・様々な年代の人との触れ合いは子供たちにとっても財産になると思う。
- ・少子化傾向が続くことを考えるとまとまって新たなコミュニティが形成されることは子どもたちにとっても教員の方々にとっても良いことだと思います。
- ・世代の分岐点のような気がする現在。他人や地域に育てられてきた世代から、あまり他人や地域と関わり薄く育ち、その方々が子を持つ親になってくる世代となってくれば、他人や地域に関わる機会が自然と作られる環境になれば良いこともあるかと。
- ・地域コミュニティの活性化は世代を超えた教育にも繋がり良いことだと思いますが、犯罪の危険性がないようにしたい
- ・多世代と関わることで世界が広がると思う
- ・地域交流の場を作る事で、多世代の居場所ができる。子供を見守る目にもなる。
- ・共働きの家庭が増える中、放課後も安心して子供から大人まで集える場があるとよい。
- ・今は多世代の交流がほとんどないように思う。交流がないことでお互いの世代を知る機会がないから「子供の声がうるさい」などのクレームにもつながっているのでは？そして、子供を持つ世代は生きにくくなる。多世代が交流して理解し合うことで、互いの不満、不安が解消していくことを期待したい。地域で子供を育てる状態になって、安心して子育てできるようになってほしい。
- ・多世代の交流の活性化に期待しているため。
- ・子ども達が地域の人と関わるとともにそれぞれの世代の人の居場所となるので。
- ・防犯面などからも他人との関わりがなくなっている。安心していろいろな世代の方と関わ

- りを持てることは、子供たちや高齢者の方々にもいい影響がありそう。
- ・孤立化する高齢者や、障害を持った人達との交流は地域の活性化にも繋がるとおもう。
 - ・子どもだけでなく、様々な人達とのコミュニケーションの場になれば幸いです。
 - ・学校を通じて多様な世代の交流がふかまれば良いと思う
 - ・地域住民と多世代に渡っての交流が活性化すれば、教育だけでなく防犯などの安全面の向上も期待できる。地域の文化や歴史も学ぶ機会が増えれば。
 - ・多世代の交流はとても良いと思う。大学生も多いし、色々な交流になれば良いと思う。ただ、外部の人が集まりやすい環境になった時のセキュリティ面の不安もある。そして、やるなら中途半端ではなく、かなり広範囲で改築する事を望む。あの辺りは道も狭く、車の行き来が結構危ないと感じることが多いので。
 - ・様々な年齢層が交流可能な環境を整備できることが子ども達にもプラスとなると思うから。
 - ・多世代の交流はそれぞれの世代に刺激になり、良い面があると考えられる。
 - ・放課後に子供達はもちろん地域の様々な人達と交流できたり、色々な活動ができるようになる地域も活性化すると思うので。
 - ・多年代の交流が生まれ地域が活性化すると思うから。
 - ・地域交流の大切さ。
 - ・上記にもありますが、多世代の交流の機会が増えるのは大人にも子供にも良い事だと感じます。
 - ・多世代もの関わりの中で、勉強だけではない学びや気づき、そして主体的な姿を養い、たくさん経験や体験をしてほしい。
 - ・色々な人と関わりが増え活気がでる。
 - ・複合化することで、さらに身近なコミュニティの場となる。
 - ・子どもだけが関わるのではなく、多世代が一体となって集う場所がふさわしい。
 - ・放課後の子供たちの居場所、交流場所が増えるのは良いことだと思うから。
 - ・子供の安全と遊び場、交流の場を確保出来たら良いと思う。
 - ・子供が安心、安全な集まれる場所や、交流の場所があることは、とてもよいと思う。
 - ・今後も共働きが増えていく中で、学童の必要性がより高くなると思います。
また、多世代の方々との交流もとても大切であり、必要性を感じます。
より安全な環境で、子供達が色々な事を学ぶ場になることを期待しています。
 - ・夏期の気温の上昇や、防犯の観点から、放課後の子どもたちの居場所について、普段から保護者として苦慮しており、学校という信頼できる機関の傍らに、子どもたちの居場所と交流の場ができることに期待したいから。
 - ・共働きも増え、放課後子ども同士のコミュニケーションも制限せざるを得ないため。
子ども達にも学年を超えて新しい出会いがあり、安心出来る居場所を作りたい。
 - ・核家族が増える中、おじいちゃんやおばあちゃんとうろ話を話していいかわからないと言っている子供をテレビで見ました。生活の中で自然と関わりが生まれることで、思いやり

の心が生まれたり、友達とのトラブルがあっても同世代以外にも友達がいるということが救いになったりするのではないかと考えます。

- ・自分たちの頃は、色々な世代の人達と交流する機会も多かったように感じるが、自分の子供たちは、昔に比べるとそのような機会が少ないように感じる。
- ・なかなか多世代との触れ合いがないので。
- ・地域の人と繋がりが持てるようになることに期待したい。

■子どもの居場所の創出に関する理由（47件）

- ・子どもが安心して過ごせる場所が増えるのはいいことだと思うから。
- ・放課後の子供の居場所があれば親も働きやすい気がする。
- ・子供が居やすい場所が増えれば良いと思います。
- ・放課後、習い事までの時間を公民館で過ごせるとありがたいから。
- ・子供が遊べる場所が少ないから。
- ・放課後の子供たちの居場所、交流場所が増えるのは良いことだと思うから。
- ・子どもが小学校の頃は、4年までしか学童に預けられず仕事に影響があったので、安心して預けられる場所や子どもの居場所があると良い。
中学生でも、夏休み中、朝から晩まで一人で留守番ではなく、気軽に立ち寄れる憩いの場があると良い。
- ・もっと児童館以外で気軽に放課後、お友達同士で遊べる施設があるといいと思う。猛暑の中外では遊べないし、毎回家で遊ぶのも大変なので。
- ・子どもが安全に保護者も安心して放課後や長期休暇中に過ごせる場所があるとありがたい。
- ・放課後の子ども達の居場所という点で、現在は夏の暑い日には外に出られず友達と会えない遊べない日がほとんどです。クーラーの効いた室内の施設にはとても期待しています。高齢者の為のコミュニティーや施設は充実しているように思いますが、子ども達の為のコミュニティーや利用できる施設は不足していると感じています。
- ・放課後の子どもの居場所は重大で、悩んでいるから。
- ・自分が働いているので放課後の子供の居場所がよくなることはとても良いことだと思う。
- ・子供達の居場所となれば良い。
- ・この辺りは、遊ぶ所が無いので集まれるような場所になればいいと思います。
- ・子供の安全と遊び場、交流の場を確保出来たら良いと思う。
- ・温暖化で、子供達が公園とかであそべないから、子供達の居場所が必要。
- ・放課後の子供の居場所があるのは共働きの家は助かりますよね。
- ・温暖化により、放課後の子供達の集まる場所がない。夏暑すぎて公園で遊べない。
- ・今現在でも放課後に子どもが遊べる場所が減っていて、可哀想だと思っています。放課後に自由に元気に遊べる場所が必要です。この問題は今解決して欲しいと思っています。

- ・誰もが安心できる場所になりうるのではと思うため。
- ・子供が安心、安全な集まれる場所や、交流の場所があることは、とてもよいと思う。
- ・仕事をしているので、学童などの選択肢が増えると嬉しい。
放課後だけでなく、平日休日問わず、外で遊べない（夏は暑すぎる、雨だと行く場所がない）時に、安心して遊べる場所が欲しい。
- ・子ども達が集まりやすい場所がもっと増えてほしい。大きな図書館など学習につながる場所も増えてほしい。
- ・仕事をしている家庭が多いため、放課後も人が沢山いる場があれば安心して仕事ができるのではと感じたため。
- ・学童、児童ホームではもの足りない小学校中学年以上が、放課後に自宅以外で大人が見守る場所で、友達と過ごせる場所が必要だと思うから。共働き家庭だと、夕方まで帰宅できない為、子供達だけで自宅で遊ばせるのは不安。
- ・親がテレワークができる場所があれば、送迎してさらにテレワークができる場所に移動する負担がなくなるため家族の時間が取りやすくなる。
身近に話ができる大人がいることは安心につながるため、保育士やカウンセラーを配置すれば子供の心の問題の早期発見や人に話すことによるストレス発散にも繋がると思う。
- ・学童など子供を安心して預けられる場所の確保に期待。
- ・近年子どもたちが巻き込まれる犯罪も増えていたり、夏場は暑さも厳しいので安心して送り出せる環境があることは良いと思う。
児童館などの施設はあるものの老朽化してるように思えるため、清潔感のある施設は良いと思う。
- ・放課後に学童を利用させていただいておりますが、放課後の活動範囲が増えるとありがたいです。
- ・子供が安心できる場所が増えると思うから
- ・今後も共働きが増えていく中で、学童の必要性がより高くなると思います。
また、多世代の方々との交流もとても大切であり、必要性を感じます。
より安全な環境で、子供達が色々な事を学ぶ場になることを期待しています。
- ・温暖化による、外の暑さで子供たちを安心して遊ばせる場所がない。誰かのうちに集合と、少なからず誰かに蹴寄せがあるため、公園など、公民館など、暑さ気にせず遊べる場所が欲しい。
- ・夏期の気温の上昇や、防犯の観点から、放課後の子どもたちの居場所について、普段から保護者として苦慮しており、学校という信頼できる機関の傍らに、子どもたちの居場所と交流の場ができることに期待したいから。
- ・共働き夫婦が安心して放課後子供がいる場ができたなら良いと思う。
- ・共働きや片親世帯が増えている中、保育園や学童の対象外の年齢の子ども達も利用できるなら、日中子ども達を1人きりにさせない様にできると思ったから。
- ・安心して遊べる場所を作ってもらいたいから。
- ・学校にいけない子の居場所づくり。
- ・共働きも増え、放課後子ども同士のコミュニケーションも制限せざるを得ないため

- 子ども達にも学年を超えて新しい出会いがあり、安心出来る居場所を作って欲しい。
- ・ 現時代、物騒になっているし遊ぶ場所も減ってきているので、放課後の居場所ができるのは良いと思う。
 - ・ 放課後、子供が安全に楽しく過ごせる施設がほしい。
 - ・ 居場所が増えることは歓迎致します。
 - ・ 子供の居場所が確保されるのはよいことだから。また、複数の居場所があるほうが、一箇所であまり面白くなくてもその子の選択肢を増やして上げられるから。
 - ・ 公共施設になってくれれば子どもたちが放課後や休みの日にも行くことができる場所になると思う。現在天候に左右されて遊べる場所が限られてしまい、子どもたちが困っている。
 - ・ 共働き家庭が多数を占めている現状、放課後の子どもの居場所の選択肢が増えるのは良いことだと思う。また行きたいと思える地域の交流の場が近くにあると、子育て世帯や高齢者の方をはじめ、多くの方が住みよいと感じると思う(設備が古い公民館はどうしても暗い印象になるので)。
 - ・ 大根公民館は老朽化しており、地域の交流の場になるように開放的な空間にリニューアルしてほしいです。現在の大根公民館は図書館しか子どもの行き場所がないため、放課後に子どもが遊べる児童館も併設されるとさらに良いと思います。
 - ・ 学校帰りに子どもがそのまま利用できるのならば、児童ホーム以外の安心して過ごしてもらえる場所になると思うから。
 - ・ 核家族で、共働きの家庭では放課後の子どもたちの居場所があること、多世代と交流できることはとても有難いことだと思います。

■その他の意見

- ・ 収入差による子供の経験値を無くすべき。
- ・ 動画を聴いていて、良いなと思いましたので。
- ・ コミュニティの場所が身近にあればとても環境が良いと思う。
- ・ 地域で子供を見れる安心感がある。
- ・ 社会性の向上。
- ・ 地域全体を活性化させる為には必要だと思う。
- ・ 学校は閉鎖されてる空間な気がするので、様々な方が出入りすることにより、風通しのよい環境になるような気がするため。
- ・ 図書館や小中学校にない施設が同じ敷地にあり、かつ利用できるようなれば、子どもの情操教育に良いと思う。
- ・ 公民館の老朽化。綺麗になるなら一体化されても良い。
- ・ 逆にこれらの観点が達成されなければ統合化の意味が無いです。絶対に達成して頂きたいです。
- ・ 第三者の目が入ることにより透明性が高まるため。
- ・ 家族以外の大人から知識を得られそうなため。

- ・学校は地域のサポートがあってこそ施設だと思うので、一体化になることで、より一層地域とのコミュニティの幅が広がると思う。
- ・出来れば産前産後に通える産後ケアや赤ちゃんを連れて遊びに行ける環境を作っていたき、小さな頃からお馴染みの施設として利用したい。安心感もあるし、人の繋がりも出来ると思うし、災害時等も慣れた場所で良いと思う。
- ・多様な側面を持つ場は魅力的な気がします。
- ・異年齢同士の交流は、相手を理解しようとする力が身につくと思うから。
- ・週末の少年野球等で校庭を使う時でも、他の児童が自由に遊べるようにして欲しいです。
- ・今後人口も減っていく中で、人が集まる場所を集中させていくのが合理的だと思う。
- ・習い事や体験をさせてあげたいと耳にするので。
- ・知っている人が増えるのは子ども達の安全や安心につながると思うので。
- ・共働きの増加。
- ・こどもセンターがないのでこどもセンター、児童館、誰でも使えるホールとかが欲しい。
- ・高齢者の方にボランティアで子供の見守りなど、活躍してもらえる機会なんかもあるといいんではないかと思う。
- ・地域の人たちとのコミュニケーションを増やす機会が増える、世代間を超えて見守りの目が増えるのではと期待する。
- ・大根公民館が古いため、学校を含め設備が新しくなる事はいいことだと思うから。
- ・子どもの数も減少していく中で、地域一丸となって子育て、教育に目を向けることは大事なこと。子どもたちの安心にも繋がる。
- ・良い取り組みと思う。
- ・近くに公共施設がある方が、非行や防犯の面でも良いと思う。
- ・地域のコミュニティ拠点にも活用されとなると、私が高齢になるであろう将来に活用できるかもしれないと思うと是非その様な存在があって欲しいと思うから。
- ・地域での活動しやすくなるから。
- ・地域社会貢献。
- ・学童の整備を期待します。
- ・なんとなくまとめた方が良いと思った。
- ・地域全体で子供を見守っていけるため。
- ・いろいろな世代の方を身近に感じられるのは良い事だと思う。
- ・いろいろな世代の方を身近に感じられるのは良い事だと思う。
- ・色々な世代と交流がいい。
- ・図書館やユースクリニック、みんなの保健室、子ども食堂や川崎の夢パークのような施設、学校に行かない選択をした子も安心して生涯学習ができる施設で年齢、性別など背

景を問わずに利用したくなる施設にして欲しい。 ・子どもたちのためによりよくなってほしいから。 ・多くの世代、人で子供を見守り育てていく方がいいと思うから。
問8で「やむを得ないと思う」と回答した理由 ・複合化すればおのずと人が増えていき、交流も深まり良いと思う。ですが、もし大根小・中の跡地になった場合は、自宅からの距離もあるため実際に利用するかどうかは分からない点もある。 ・まだ悩む。防犯上の理由で多数の大人が自由に入れるようになるのは怖い気もする。 ・秦野高校や東海大学などの学生が地域や小中学校の活動に関われるような大根地区ならではの取組みに期待したい。 ・学校とその他の施設を複合化すると、子ども達の安全面に不安を感じる。授業中の学校内に関係ない人が入れないような仕組み作りが必要だと思う。放課後の子供の居場所となる場ができるのはありがたい。
問8で「どちらでもよい」と回答した理由 ・まだ具体的な内容が分からないため何とも言えない。 ・生徒以外の人が入り出すのは安全面において不安もある。 ・過ごしやすければ子供たちも自ずと集まりやすいから。 ・卒業後なのであまり関心がない。 ・そこは一緒にしなくてもよいかと…。 ・小学生の中学年くらいまでは、コミュニティでどんな考えを持った大人と我が子が接するのかわからないという不安は感じる。 ・楽しく安全に生活が送れるのであればどちらでも良い。 ・一貫して思うのが老若男女、人が増えると駐車場が多くしなくてはいけない事と道路の整備です。(登下校の通ってはいけない時間帯と子供の送り迎えの兼ね合い) ・特段関心がないため。 ・卒業しているから。 ・とくに必要をかんじない。 ・地域の拠点としても子どもの居場所としても交流にしても複合化したからといったものではないと思うため。 ・公民館をあまり利用しないため。 ・セキュリティさえ保たれば、在り方の一つではあると思うので、統合しても構わないと思う。 ・特に意見なし。お任せします。 ・現在とどう違うのか？

- ・今現在公民館がどのくらい利用されているか知らないため。
- ・どちらでもよいから。
- ・働く親が増えてるから放課後の居場所あるといいと思う。
- ・複合化したとしても高齢になったら遠いのでわざわざ行かないと思う。
子どもの居場所は今でもあるし（今ある公園の整備をしてほしい）、交流するなら児童生徒がそれぞれの施設に行けばいいと思う。
- ・小学校の高学年になると、利用しなくなりそう。
- ・放課後のこどもの居場所は必要だと思うが、多世代との交流の活性化はなくてもよいと思う。
- ・学校との区別をしっかりとったほうがよいが、情報は共有してほしい。
- ・「多世代との交流」や「地域コミュニティの拠点」という意味ではいいと思うのですが、子どもたちのことをよく思っていない高齢の方も多いうように感じるので、公民館などに普段から子どもが多く集まるのはそのような方からの苦情が寄せられそうで心配です。「放課後の子どもの居場所」は学校内にあったらいいなと思います。例えば校庭だけではなく、校内の図書室なども放課後自由に使用できたら親も安心です。
- ・以前、大根幼稚園閉園の際に、放課後子どもたちが遊べる児童館のような施設として使うことができないかと意見を投書したことがあったが、反映はされず。
大根公民館の児童室は小さいので、放課後子どもたちの居場所となるような施設を充実させることは賛成。ただ、学校施設と公共施設の完全な複合化は、慎重に考えたほうが良いと思う。
- ・想像できないため。
- ・複合化は難しいと思う。公民館や図書館は、交流だけを求める場所ではないから。
- ・地域や様々な子どもに関わる機関との連携は不可欠だと思うが、現場の先生たちが疲弊しないことが一番大切だと思うから。

問8で「学校と複合化する必要はない」と回答した理由

■防犯面の不安に関する理由（27件）

- ・メリットもあるが、不特定多数が今以上に学校に入れることで、殺傷や隠しカメラなどの危険性が増える。
- ・学校敷地内に不特定多数の人間が安易に立ち入りできるようにするべきではない。
- ・不特定多数の人が学校に入ってくるのは、不安。
- ・地域外の大人も安易に行き来できる環境になりらと安全面が心配。子供達の放課後の場所となる…現状見てもそうはならないと思う。
- ・不特定多数の人が出入り出来てしまうのは防犯上、安心出来ない。
- ・最近では近所との付き合いもないので不特定多数との交流が全て安全とは思えないから。
- ・セキュリティに不安があるため。
- ・学校に侵入する不審者対応が心配なので、道路を挟むくらいがよい。

- ・ 学校関係者以外の立ち入りが防犯的に良くない。
- ・ いろんな方との交流ができて良い反面、どんな方がいるかも分からず、子どもが高齢者からの性的犯罪、突然怒鳴られるなどの事件に巻き込まれたくない。
- ・ 学校に関係者以外が入ってしまうと、悪い人が入ってきた時に、もし子どもたちに何かあったらと思うと心配です。今も学校に自由に入れるように門が空いていたりしますが、昇降口も空いてるので何かあったらと不安になります。
大阪の池田小学校の事件は今も忘れられません。子供たち、先生たちの命を守る安全性がない限りは複合化されることには不安しかありません。
- ・ 誰でも学校に入ってこれてしまう環境には不安しかありません。
大阪の池田小学校の事件何年経っても忘れられません。そのような事がおこらないとは言えないので、子どもたちや先生たちの命を守るためにもしっかりとした防犯対策が必要だと思います。
- ・ 誰でも入れることによる防犯上の懸念。
- ・ 不審者の侵入が怖い。
- ・ 不特定多数の出入りが可能になると、防犯面に課題があると思います。
- ・ 学校が地域のコミュニティ拠点になる必要がなく、防犯面で不安があるから考えるから。
- ・ 学校は学校、地域のコミュニティ施設はそれとして各々の役割があるはずで、何でも一緒にしたり複合化すればそこが子どもの居場所になるというのは安直な方針ではないかと考える。複合化しても居場所がない子はいるし、今の現状のままでも自ら居場所を作りコミュニティを広げる子どもも多い。大切なのは施設のリニューアルや制度の簡素化を図るのではなく、子どもたちが何も不安なことを考えずに活動できる良い治安環境を目指すことに尽きると感じるから。
- ・ 学校は子供たちへの教育の場として機能していて欲しいです。
地域とのコミュニティは自然に育まれていくものだと思うので複合化には反対です。
関わる大人達がどんな人かも分からないので不安です。
- ・ 防犯面が心配。公共施設を利用して誰でも学校に入れるということで、不審者が学校にはいりやすくなるのではないかと思います。
- ・ 公民館を利用する市民だけが出入りするわけではない。昨今の児童を巻き込んだ犯罪をみれば不安に思う部分が大いにあるため、学校とは差別化を図って良いと考える。
- ・ メリットを感じない。学校への住民の出入りは防犯上よくない。
- ・ 秦野市に引っ越してきて一番びっくりしたのは小学校の校庭に誰でも自由に入れてしまうことでした。子供たちが放課後に使うのは理解できますが、不審な人も入り放題で不安で仕方ないです。
複合化することで不審者や事件のリスクが高くなると思うので、学校は学校、公共の施設とは別にすべきかと思います。子供のみに関係のある施設や放課後の居場所になる所などは一緒にでもいいかと思います。
老若男女誰でも利用する施設は別がいいと思います。
- ・ 防犯面で不特定多数の人の出入りはこれから先考えなければいけないと思う。公共複合施設に関しては空いた学校の再利用や敷地利用を行いやっていくのが良いのではないかと。

- ・防犯意識を考えてほしいです。
- ・理想は多世代の交流や、地域のコミュニティかもしれないけど、車で来る年配の方も居るだろうし、事故などの心配。変質者みたいな子供達に危害を加える人間も側に来る事になるだろうしって考えると、コミュニティが学校の側に有る事が良い環境とも思わない。今の時代、隣の家の人ともコミュニケーションもとらない時代なのに、必要なのか？と疑問に思う。
子供の放課後に行く場所を…と言うならば、何か違う形の居場所を考え作れば良い。
- ・こどもの居場所を作ってもらえるのはありがたいですが、広畑ふれあいプラザ等でおじいちゃん、おばあちゃんの運転が怖いときがあり、事故が怖いです。
また誰が入れるというのは不審者も入りそうで怖いです。
距離が近い方もいらっしゃるし、バタバタと子どもに触れてくる方もいます。
感染症も怖いです。
放課後広畑小の校庭でよ全然関係ない方も出入りしてます。買い物帰りに敷地内に入ってるおじいちゃんおばあちゃんも多数見かけます。今でも嫌だなあ思うのに同じ敷地内というのはあまり賛成できません。
- ・出入りする人の管理など、安全面に不安を感じるから。

■その他の意見

- ・地域のコミュニティや多世代交流はとても良いことだと思いますが、同じ場所ではなくてはいけないとは思わない。
- ・どちらでも良いが、お年寄りと子供との集まる場所が一緒になることにより、こどもが遊べる範囲がが少なくなりそうなことが懸念される（ボールお年寄りがいるから危険だからやめてほしい…など）ので、特に一体化しなくてもよいと思う。
- ・同じ敷地内ではなく、今と同じように隣にあれば良いと思う。
- ・今と同じように隣にあれば良いと思う。
- ・全員がその場所に近いとは限らないから。
- ・複合化することで多世代の交流など例に挙げられたものを期待するのはわかりませんが、実際にやっても普段は住み分けたように別々となり、逆に学校と地域のコミュニティを一体化することで高齢者と子供がぶつかったり等の事故が増えてしまうのではないかと思います。教育のカリキュラムに地域の人との交流する機会を増やしたりするのは良いと思いますが、複合化で本来狙った通りの効果が生まれるかは慎重に考えて計画を進めて頂きたいです。
- ・学業を行うところになぜ公民館が必要なのかが不明。
- ・授業に集中してほしいから。
- ・それぞれの家庭環境が違うから、別が良いと思います。
- ・公民館を利用している人は年配の方が多いので、中には子供嫌いな方もいる。
- ・小さい子は行動が予測がつきにくい為、お年寄りに危険があるか不安です。
図書館では静かに本を読みたいかたもいると思うので、複合する必要性はないと思います。

- ・そこまで複合化はしなくていいと思ったため。
- ・昨今何が起こるか分からない世の中で地域の方々のコミュニティを拠点にする事が少し不安。
- ・子供の声が嫌いな大人もいるため、無理に統合してトラブルの種を生む必要はない。
- ・不審者が入りやすくなる。
- ・①大根小中学校の隣に公民館があるため。②広畑プラザを見た時に、プラザ利用の高齢者を優先されている様子が見て取れるため。③もし学校と公共施設が一緒になり、駐車場が同じ場合、高齢者の運転に不安を感じるため。
- ・「放課後の子供の居場所になる」と言われているが、きちんと大人の目がある、親も子供も安心できる居場所を提供できるのか疑問がある。共働き世帯が増えている中で、本当にその様な居場所が作れるなら、賛成する。

7) その他、新たな学校づくりについて期待すること

問9：その他、新たな学校づくりについて、今後の整備に期待することがありましたら、記載してください。（自由回答）

○「通学支援に関すること」が19件、「校庭や体育館等の環境改善に関すること」が18件、「子どもの安全確保に関すること」が8件、「遊び場の整備に関すること」が7件等と多くを占めました。

○寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

■通学支援に関すること（22件）

- ・低学年の子が広畑地区からでも安心して通えるための整備が必要だと思う。例えば、スクールバスなど。
- ・学校まで遠い子達が安全に登下校出来る事。
- ・広畑と合体するならば、遠方登校を考え送迎バスや送迎用の駐車場の拡大を。それより、広畑小のように平日や休日の校庭開放など 今の児童の放課後の安全に遊べる居場所も検討するべき。
- ・車送迎しやすい広い駐車場を作ってほしいです。行事など色々な時に車で来ないように言われているが、その家庭によって色々な事情があるから普通に車の利用をしていいようにしてほしいです。
朝、登校する時は登校班で行くので安心なのですが帰りは、各々がバラバラで帰るので防犯上いつも不安で、このご時世、色々な事件が起きたりするので登下校の時の安全も学校に居る時の安全も時代にあった取り組みをしてほしいです。
幼稚園のように送迎バスがあるといいです。
まだまだ善悪が分からない小学生と色々な中学生が同じ敷地に居る事でトラブルが起これると思います。未然に防げるようにした学校作りをしてほしいです。
防犯上もですが生徒同士のトラブルの事も考えたら学校内の色々な所に防犯カメラがあった方が良くと思います。
- ・送迎しやすいように駐車場を広くしてほしいです。
また放課後や夏休み等に子どもを見てもらえる施設や教室など作ってほしいです。
外は暑すぎるので室内で遊べる場所があれば嬉しいです。
- ・スクールバスを利用できれば送迎などの心配もなく安心できると思います。
- ・大根小、中の敷地利用となると、通学の方法を考えていかなければいけないと思います。
- ・送迎用の駐車場を完備してほしい。
- ・もし通学が遠くなるのであれば送迎バスを出して欲しい。夏が暑いので、長距離を歩かせるのには不安がある。
小学校跡地を利用して、災害時にも活用できるキッチンを作り、シェアキッチン（日替わりカフェのような）や個人で店舗を開くなどできるようにしたら人が集まれるし、災害時にも慣れた場所で良いのではと思う。
- ・スクールバスの運行。
- ・スクールバスの導入。

- ・学校まで遠い子達が安全に登下校出来る事。
- ・通学に困難な子供が増えるであろうと考えられるのであれば、通学バスの導入など家族の負担をフォローしてもらえるようなシステムを考えて欲しい。
- ・周辺の道路の整備、駐車場の確保。
- ・夏は脅威的な暑さが続くので、体育館やプールの設備に配慮していただけると嬉しいです。また、新たな学校に通う際に自宅から長距離となるため、スクールバス利用も検討していただきたいです。
- ・広畑学区は学校が遠くなるので、スクールバスなどで対応してほしい。
- ・これからは夏場の暑さ対策が必須かなと思います。体育館のエアコンはもう設備されてきてると聞いたので、その他、炎天下の中、熱中症の危険もあるのに遠いと30分位かけて歩く子供たちを考えると何か季節限定で送迎するなどの対応が必要かなと思います。
- ・もし大根小中に新たに義務教育校を作る場合は、広畑小のエリアの子達には送迎バスを検討してほしいです。自宅から大人の足で50分近くかかるので徒歩では通えないです。
- ・車送迎がしやすい広い駐車場がほしいです。
- ・今後も学校の統廃合は続くと思います。統廃合の結果、現時点からは考えられない距離を通学する児童も出てくると予想します。保護者の自動車による送迎可能である事と、そのための駐車場があれば、個人的には、統廃合を受け入れやすく思います。
また学童保育について、放課後、今以上に遅い時間まで児童が学校周辺に直行可能で利用できる制度であれば、保護者の自動車送迎と併せて利用しやすく考えました。
どちらも、現在は実現していない事から、具体化は難しいとは思いますが、一意見としてご参考いただければ嬉しく思います。
効率性の観点から言っても学校の統廃合は受け入れざるを得ない事は理解しています。最終的な姿はまだわかりませんが、保護者として、対応可能な事もあると思いますので、今回のような機会があれば、ご連絡をいただければ幸いです。
なお、動画と同様のご説明を過日、ご担当の山岸様、内山課長様よりお聞きした事がございます。大変わかりやすく、好感の持てるものでした。改めて御礼申し上げます。
以上です。
- ・スクールバスの整備。

■校庭や体育館等の環境改善に関すること（18件）

- ・天候の悪い中でも体を動かせる施設 エアコン完備（体育館も含む）
- ・体育館の冷暖房完備。
中学の給食も小学校と同じように給食室で作る。
- ・体育館の冷暖房完備。
中学の給食も小学校と同じように給食室で作る。
- ・体育館の冷暖房に期待します。
- ・体育館をクーラー完備にして下さい。前時代的な設備を一新して欲しいです。
- ・気温上昇によりプールの廃止。それに伴い敷地が増える。今の時代、気候も考慮して整備を進めてほしい。

秦野市全ての体育館冷暖房完備も併せて期待します。災害時を考慮して。

- ・体育館にエアコン。
教室一部屋につき、冷凍庫。朝持ってきた保冷剤とかを帰りまでに、また凍られるように。
- ・体育館にエアコン。
教室一部屋につき冷凍庫一つ。朝持ってきた保冷剤等を帰りまでに凍らせ、帰りの暑い時間に使用出来るように。
- ・気候変動により、外で体を動かせる時期や時間が昔と違い少なくなっているため、体育館の拡張など、気候に左右されず目一杯に体を動かすことが出来る場所があれば良いと思う。
- ・熱中症対策として、体育館のエアコン設置。
- ・暑い日が多く、体育をしたり休み時間に外で遊んだりできない日も多くなっているため、室内で遊んだりして過ごせる場、体育を涼しい空間でできる場が新しく作られれば嬉しい。
- ・昨今の夏の暑さでせっかくあるプールが使えず月1回(年3回)の別施設に通うだけでは不足だと思うし、泳力や体力の向上につながらないと思うので、室内プール建設を切に希望します。
また、暑くても校庭で遊べるようにミスト噴射や大型の日よけなどの設備もあれば良いと思います。
- ・地震、火災など災害に強い建物にして欲しいことと、万が一子どもたちが帰宅困難になった時に安心して過ごせるようにしておいてほしいです。
防犯カメラなどの設置、子どもたちが毎日安心して過ごせる場所にしてほしい。
体育館にもエアコンをつけてほしいです。
- ・体育館のエアコン。
- ・伸び伸びとスポーツ、運動会、体育祭などができる様、暑さ対策、防音対策でドーム型など、グラウンドを工夫してほしいです。
- ・夏は脅威的な暑さが続くので、体育館やプールの設備に配慮していただけると嬉しいです。また、新たな学校に通う際に自宅から長距離となるため、スクールバス利用も検討していただきたいです。
- ・体育館が暑くて学校説明会の時、苦勞した。ので、改善してほしい。
- ・プールは屋内に設置してほしい。

■子どもの安全確保に関すること (11 件)

- ・安全であること。
- ・子ども達が安全に学習できる環境を整えてもらえる事が1番だと思います。
- ・防犯対策がしっかりされていること。防犯カメラの設置。震災があっても壊れない建物、火災対策。エアコンの完備。コロナや感染症対策のための空気清浄機や窓の開けしめ以外の換気できる環境。
- ・多世代の交流ができるのは良いことですが、不審者等への対策もやっていただけたら良

いなあと思います。

- ・新しく学校を建設する際には外部の人間が簡単に校内に入れないようなセキュリティの強化をお願いしたいです。
学習の面では、今の社会ではできて当然のパソコン操作(Excel、Word など)を高難易度で教えてほしいです。(すでにやられているようでしたら存じ上げず申し訳ありません)
- ・中学生から小学生へのいじめ防止。
- ・とにかく安心して子供たちが通える環境になればと思います。
- ・新たな環境で、子供達がのびのびと教育を受けられる場になることを願います。
また、色々な取り組みを行う上で、何よりも子供達の安全性を第一に考え、配慮して頂きたいと思います。
小・中学校一体化+他の施設複合化には、様々な問題やトラブルも出てくると思いますが、その可能性も視野に、子供達を守る警護態勢を考えて頂きたいと思います。この新たな取り組みが、子供達の豊かな教育へと繋がる事を期待し、実現される日を楽しみにしております。
- ・車送迎しやすい広い駐車場を作ってほしいです。行事など色々な時に車で来ないように言われているが、その家庭によって色々な事情があるから普通に車の利用をしていいようにしてほしいです。
朝、登校する時は登校班で行くので安心なのですが帰りは、各々がバラバラで帰るので防犯上いつも不安で、このご時世、色々な事件が起きたりするので登下校の時の安全も学校に居る時の安全も時代にあった取り組みをしてほしいです。
幼稚園のように送迎バスがあるといいです。
まだまだ善悪が分からない小学生と色々と分かる中学生が同じ敷地に居る事でトラブルが起これると思います。未然に防げるようにした学校作りをしてほしいです。
防犯上もですが生徒同士のトラブルの事も考えたら学校内の色々な所に防犯カメラがあった方が良くと思います。
- ・大根小、中周辺の歩道の整備に期待したい。登下校時に歩道が狭く車道に出て歩く児童が多い。朝の時間帯は車通りも人通りも多く危険と感じる。
- ・地震、火災など災害に強い建物にして欲しいことと、万が一子どもたちが帰宅困難になった時に安心して過ごせるようにしておいてほしいです。
防犯カメラなどの設置、子どもたちが毎日安心して過ごせる場所にしてほしい。
体育館にもエアコンをつけてほしいです。
- ・新しく作るのであれば、セキュリティー（防犯）の面や防災面など安心して通える学校を作って欲しいです。
- ・新しく作るのであれば、セキュリティー（防犯）の面や防災面など安心して通える学校を作って欲しいです。

■遊び場の整備に関すること（7件）

- ・公園などでもこどもが遊べなくなっているので、こどもたちが思いっきり身体を動かして自由に遊べる場所を作ってほしい。
- ・未就学児が室内で遊べる場所が意外と無いので、これからの親御さんのために作ってあ

げてほしい。

- ・子供にはのびのび育てほしい。

受験前の中学生に気を遣うのは担任と親だけで十分。高学年も低学年も中学生もお互いに気兼ねなく大きな声を出して、はしゃぎまわって、ちょっと危険な遊びもしたりして、思い切り遊べる環境が、学力を伸ばすうえでも1番いいと思う。

中1ギャップが心配なのであれば、広畑こども園と広畑小学校のように小学校と中学校も敷地をふんわり仕切った隣同士に作るのはどうだろうか。

- ・放課後、子供が安心してのびのび遊べる空間（屋外、室内）ができるとよい。
- ・広畑と合体するならば、遠方登校を考え送迎バスや送迎用の駐車場の拡大を。それより、広畑小のように平日や休日の校庭開放など 今の児童の放課後の安全に遊べる居場所も検討するべき。
- ・動画は見ることができなかった。
学校のカリキュラムの明確化。
子供が自由に学べる明るい空間。
- ・送迎しやすいように駐車場を広くしてほしいです。
また放課後や夏休み等に子どもを見てもらえる施設や教室など作ってほしいです。
外は暑すぎるので室内で遊べるところがあれば嬉しいです。
- ・車等の出入りのしやすさ。

■その他

- ・夏の暑さ対策。自分たちで農作物を育て、給食に使うこと。
- ・熱中症対策。
- ・暑さへの対策を望みます。
- ・プライバシーや安全が守られる事は当然大事ですが、休日は広く開放され通っていない子供や親、卒業生も校庭には入って遊べるような学校だと良いと思います。
- ・安心して登校できる学校を整備してほしい。
- ・経験格差を無くす施設。
- ・期待はないが、次の次に建て替えをする事も考え、校舎の配置や土地の利用を考えてほしいです。
- ・近々引越し予定で、この地域にはあと半年ほどしかいませんが、私自身が生まれ育ちお世話になった大根小、大根中ですので、子供達にとって良い環境になってほしいです。
いつも子供達のために考え、話し合い、沢山の意見アイデアを出してくださる皆様への、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・子供達のために、ありがとうございます。
- ・いろいろな人が使いやすいようにしてほしいです。
- ・様々な意見をまとめ、計画を考え進めていただきありがとうございます。大役を担っていただいている分、休養やリフレッシュの時間を存分に過ごせる日も確保してください

い！これからどうぞよろしくお願い致します。

（長文意見を送り申し訳ありません！そしてここで記入している内容もその他に期待することとかではないです…）

- ・高齢化と少子化の両面から、効率化を図れるように整備を検討して欲しいです。
- ・大根地区は生徒の質も学力も低いので改善希望。
- ・秦野ならではの自然環境を活かした教育。
- ・中学の私服は継続希望。うちの子は、感覚過敏で制服が着れず、わざわざ秦野市外から私服の中学に通うために転勤してきたから。同じような子どものために、私服の中学は貴重な存在だから、残してほしい。私服の中学が無ければ、不登校という選択肢しか無くなってしまうため。
- ・制服はなくてよい。学用品に指定品は必要なく、各自が好きなものを選んで持って来れるようになればいい。
- ・活動する範囲を小学部中学部の境がないような必要に応じて互いに行き来できると中学に上がる不安がなくなるかなとか、中学生活に期待を持てるかな、と思います。
- ・地域の住みよい環境、安全に楽しく学べる学校生活が送れる場所であることを期待する。
- ・教室と廊下の壁をなくすか窓にするなどしてオープンな空間での授業や、上級生が下級生に勉強を教えるなど関わりが常にあると責任感も増すのではないかなと思う。
- ・なるべく早急実現することを願っております。
- ・児童の減少で1-9年生の制度を取り入れるのは致し方ないとは思いますが、地域の、特に近隣の方の負担が大きくなります。そこをどう説明説得していくかがカギだと思います。
- ・距離が近くの学校に通わしたいので、距離や通学経路を考慮した学区を決めてほしい。学生全学年の放課後の居場所を早急に整備してほしい。
- ・義務教育学校となるにあたり、駐車場や駐輪場の整備も必要だと思う。公共施設をはじめ、授業参観や運動会などで登校する場合、ある一定距離以上に自宅がある場合は車や自転車の使用も検討して欲しいと思う。今の大根中や広畑小の駐車場は狭いと感じる。
- ・居場所としてコミュニティ拠点は整備して欲しい。
- ・今回の様に、意見などを参考に整備していただくと安心できます。
- ・広畑学区と大根学区の間くらいで検討して欲しい。下大槻地区から真夏に歩いて通わせるのはいささか無理があると思う。
- ・耐震対策。
- ・子供たちが元気に遊び学べる環境を第一に考えて欲しいです。
- ・子供が通いやすい学校にして欲しい。
- ・子供たちが勉強しやすい環境になればいいなと思います。
- ・子どもが分かるまでしっかりとした学びができるようにしてほしい。職員間の情報共有。子どもの主体的な姿や経験体験ができる活動。他学年と自然と関われる校舎や校庭、集まれる場など。

- ・大根小学校と中学校を一体化して、中学校でも給食の提供をして欲しいです。
- ・義務教育ではありますが、学年や年齢を取っ払った縦割りの日常もあると良いです。
- ・モデル校として恥ずかしくない前例を作り、この学校に通いたいとの理由で他地区や他市からファミリー層が転居してくるレベルの成功例を目指してほしい。
- ・地域の方々との交流が広がること。例えば学童みたいな場所で、お仕事をリタイアした方が宿題を見てくれたり遊んでくださったり。高齢者と子ども、両方が楽しめるような場所づくり。
使わなくなった校舎の有効活用。大根の方に統合されるのであれば、広畑小を室内遊び場として整備して欲しい（大和市のシリウスのような場所にして欲しい）。お金払ってでも、小さい子供（未就学から小学生まで）が遊びにいける場所が欲しい。
- ・よく流れが理解できていないのですが、いま担当されている市のお二人が提言をまとめて？市のどこ、だれが最終決定をしていくのか。市、議会でもんで、予算立てて、何年度にじゃやりましたようにしていくのか、そんなことも気になりつつ。
あと、当事者の話を聞く場面はあるのか。行くのは子らなので、ぜひ参加するなんらかの場面を設けていけると良いと感じます。
- ・プールはおおね公園を利用して設備の費用を浮かしてほしい。その分、クラブ活動を活発にしてほしい。
- ・子供が無事に広畑小学校を卒業して欲しい。今の小中学校の保護者は9年後は関係ないので、今赤ちゃんを育てている親に意見を聞いた方がいい。
- ・多くの方が意識できるよう、このようにアンケート調査等、積極的に実施できると良いかと。
- ・お金の使い方を知る教育をして欲しい。
- ・高校のように、勉強会のようなことしてほしい。シングルマザーとして、あるとうれしい。
- ・教員の休憩や児童生徒のクールダウンするスペースなど、居続けられる環境も必要。この地域で育った子が、大人になっても居たいと思えるようになってほしい。
- ・子どものための学校を作してほしい。
- ・坂しかないと言っても過言ではない地域です。買い物もついでにできる立地ではありません。免許返納したお年寄りにもかよいやすい場にするために、送迎システムも一緒に検討しないと、箱だけあっても活用しにくいのではと思いました。
- ・形を作って終わりではないので、変化に対応しやすい設備づくりをしていただけると、社会の在り方に対応した学校を維持していける期待しています。抽象的で難しくなりましたが、特にシステムは変化が早いので、アップデート(ソフトでもハードでも)できる、という視点で選ぶと対応しやすいと思います。
- ・不登校の親目線から失礼します。
学校に行きづらさを感じている子が増えている。小学校から中学校と環境が変わることでもまた登校してみようと思う子がいたかもしれない。9年間同じ学校となるとそうもいなくなる懸念が少し。
一度学校から足が遠退いてしまった子たちの居場所、サポートなど、クラスに戻す以外の選択肢も与えられるよう、柔軟な考えで新しい学校が作られるといいなと思います。

(今も別室、保健室、放課後登校、E-Lab 等取り組みはあると思いますが) 取り残されるお子さん、親御さんがいないように…。

期待しています。

- ・不登校児やその保護者が孤独になったり取り残されないような仕組み。9年義務教育で通いやすくなる子がいる一方、不登校が長期化する子が出る恐れがある気もするので、サポート体制や具体的に安心出来る方針を掲げてほしい。
- ・生徒へのカウンセリングルーム。
- ・子供の多様性に配慮する学校施設。
- ・障がい、不登校、国籍、その他心配事やフォローが必要な人にも安心して通える学校になるといいと思う。
- ・子供たちが、子供らしく過ごせる環境を整備してほしい。
- ・学校には行くけど、授業受けたくないな…今日はちょっと頑張れないなあと感じた時に誰かが居てくれる場所があるといいなあとと思います。保護者は仕事があるから家にはいられない。家と学校以外にも子どもが自分らしくいられる居場所があると嬉しい。
- ・いじめや不登校のない、子ども、教員、保護者、地域が一体となった楽しく学べる学校になってほしいです。
- ・放課後、保護者付き添いの元 障害者(身体や年齢は大人であっても心は幼児なので)ブランコや遊具等で遊ばせられる環境を作って欲しいです。
- ・東京都では有償の学童の他に無償の放課後見守りがすでに行われているので、神奈川もやってほしい。実施することで、問8の内容(放課後の居場所、多世代の交流)にも結びつくと思う。
- ・地域の中で子育てしやすい設備と児童館、夏休み等の子どもの居場所もあるとありがたい。
- ・今まで見たことがないような、革新的な学校になることを期待する。
- ・あらゆる道が狭すぎる。整備されていない道が多い。
この計画が、真に子供の学力や精神面での環境を心配してなのか、あるいは先生方の負担を減らす為だけのものなのか、定かではないところが気になる。色々な学校の成功例、失敗例をよく研究した上で、ケチらず投資してほしい。でも我が子は通えるか微妙なラインなので、どちらでも良い気もする。
- ・インフラ整備。各施設を結ぶラインをつくり、老人、子供が利用できるインフラを作る。子供だけ、老人だけになると絶対数が足りなくなってしまうので、エリア全体を考え作成する。
- ・こどもセンターが遠いのでこどもセンター、児童館、誰でも使えるホールがほしい。
- ・友達との関係がうまくいかず、敢えて環境を変えたいというお子さんが秦野駅の方の中学校に入学しました。この義務教育学校の方針だと、この様な子どもには、酷な制度では、と思う。それとも、少数派には目を向けない？
小1と中3が休み時間に校庭を一緒に使うという状況があるとしたら、危ないかなと思う。
問の答えにはなりませんが、学校跡地は、老人ホームではなく、ぜひ、ボールを思いっ

きり使える公園にして欲しい！！

- ・出来ないやれないやらない見守る必要性のある子供ばかりに配慮するだけの学校になってほしくないです。本当はもっとやりたい、やってみようとしてる子供も中には、いることを忘れてほしくないなと思います。
- ・余計なことはしなくていい。
- ・予算を抑えた最小限の取り組みを期待する。
- ・大変かと思いますがよろしくお願いいたします。
- ・建物の更新や、新たな取り組みによって、様々な問題が解消され、子供たちや色々な世代の方々がより良い環境でこの地域で暮らしていける事はメリットが大きいと思う。

子どもが子どもらしく生きれる場所

- ・秦野市全体を学校として学びの街にしてほしいです。今、校舎内で行われている机に向かって、一斉に行う授業ではなくて、オルタナティブ教育やイェナプランなどを参考に、体験学習を基本とした、勉強が楽しい、もっと学びたいと思える授業にしてほしい。他の地域から秦野市の学校に通わせたいと思ってもらえる学校になってほしい。例えば、子ども達が農家で農作物を生産し、広報、販売をする。県産材を使って自分の椅子や机にを作るなど、小中学生が秦野市内の産業に参加し、体験レベルではなく、実際に収益化を目指しながら、総合的な学習ができる環境にしてほしい。学校は、体験型の学習を基本として、先生だけでの授業は無理なので、地域の人達からも協力してもらいやすい施設になってほしい。高学年頃からは自分で教科書から学び、分からないところを先生に聞く、下の学年向けに授業をするなど、それぞれの学力に合わせた学習ができるようにしてほしい。学年を気にせず得意な科目は上の学年で、苦手な科目は下の学年で勉強できるような授業の仕組みを作ってほしい。宿題や成績表をなくすことも検討してほしい。学校に行かない、行けない子が外部と繋がれるように、フリースクールや川崎市の夢パークのような子ども主導で思いっきり遊べる場所、遊びながら自主的に動ける場所を作ってほしい。今は放課後や土日は学校の遊具などを利用するのに、ハードルが高い。安全管理の問題もあると思うが、土日でもある程度自由に利用できるような施設になると、子ども達が利用しやすく、施設自体への愛着も湧くように思う。東海大学の留学生などにも協力してもらって、英語だけでなく、様々な言語に触れ、異文化交流や国際問題への関心を高めたり、秦野市内で生活している外国にルーツを持つ人達とお互いの文化や背景を理解し合えるようになってほしい。水泳教室を大根公園のプールで行ったように、他の体育や音楽も学校以外の民間の支援を受けた授業にできないか。金融教育の一つとして、市内の金融機関から講師を呼んで、大人も子どももお金や経済について学ぶと同時に、市内の商店で子ども通貨導入し、何かの活動をするとその通貨を報酬として受け取り、市内のお店や大根公園のプールなどで使えるなど実践を通じてお金の仕組みを早くから学べるようにしてほしい。さらに、起業や社会貢献についても学べる機会を作ってほしい。校医に産婦人科医を加えたり、学校に助産師を常駐させたりして、保護者も含めて幼保

からの命の教育を月一回など定期的に継続して行い、包括的な性教育を国際的なガイドラインレベルまで引き上げて実施してほしい。高校生や大人になっても、心や身体について相談できる環境をより身近に整え、健康を守るための施設にしてほしい。

産後ケア施設や子育てサロンのような乳幼児とその保護者も利用できる施設も併設して、その様子を小中学生、高校生や大学生が見たり、一緒に遊んだりできる環境になれば、子育てへのイメージが具体的になり、また地域からもらえるサポートなども理解できて、自分も秦野で子育てしたいと思ってもらいやすくなるのではないかな。

子ども食堂を備えて、子ども自身も運営に携わり、すべての子どもの食を守ると同時に、地域の中での役割を担える体験をさせてほしい。日頃から、災害時の炊き出しなどの訓練としても期待できると思う。

災害時には避難所として活用されるのであれば、炊き出し体験や避難所体験、防災グッズの点検会などのように防災についても定期的に学習、情報共有できるような施設にしてはどうか。

プロジェクターや音響を備えて、みんなで映画を見られる設備があると子ども達の元気な声を周囲に遠慮せずに楽しめると思う。椅子だけでなく、ごろ寝できる場所も作ってもらえると赤ちゃん連れでも楽しみやすい。

子どもたちの演劇などもやってもらえるといい。

たくさん希望があり、実現できるか分かりませんが、是非一度ご検討いただきたいです。子どもの一人が発達に凸凹があり、不登校気味です。まずは、どんな子どもでも、ここにいていい、行くのが楽しみと、思える施設であってほしいです。市全体を学校として学びの街にしてほしいです。

【資料6】地域部会アンケート

「学校のあり方に関するアンケート（地域向け）」の結果速報

1. 実施概要

- ・調査対象：大根地区住民
- ・回収数：98人
- ・調査方法：Google フォームを用いたインターネット調査
- ・調査期間：2025年9月15日（月）～10月3日（金）

2. 調査項目

- 1) 回答者の属性（年齢、性別、居住地、居住年数）
- 2) 新たな学校の整備に向けた取組の認知度
- 3) 義務教育学校の整備に対する期待の有無
- 4) 新たな学校を整備するための適地
- 5) 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見
- 6) その他、新たな学校づくりについて期待すること

3. 次頁以降の表記について

- ・図中の「N」は標本数を指します。
- ・単一回答の回答比率は百分率の小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計値が100%にならない場合があります。

4. 回答状況

1) 回答者の属性

問1：あなたの年齢を教えてください。(単数回答)

○回答者の年齢の構成比は以下のとおりです。

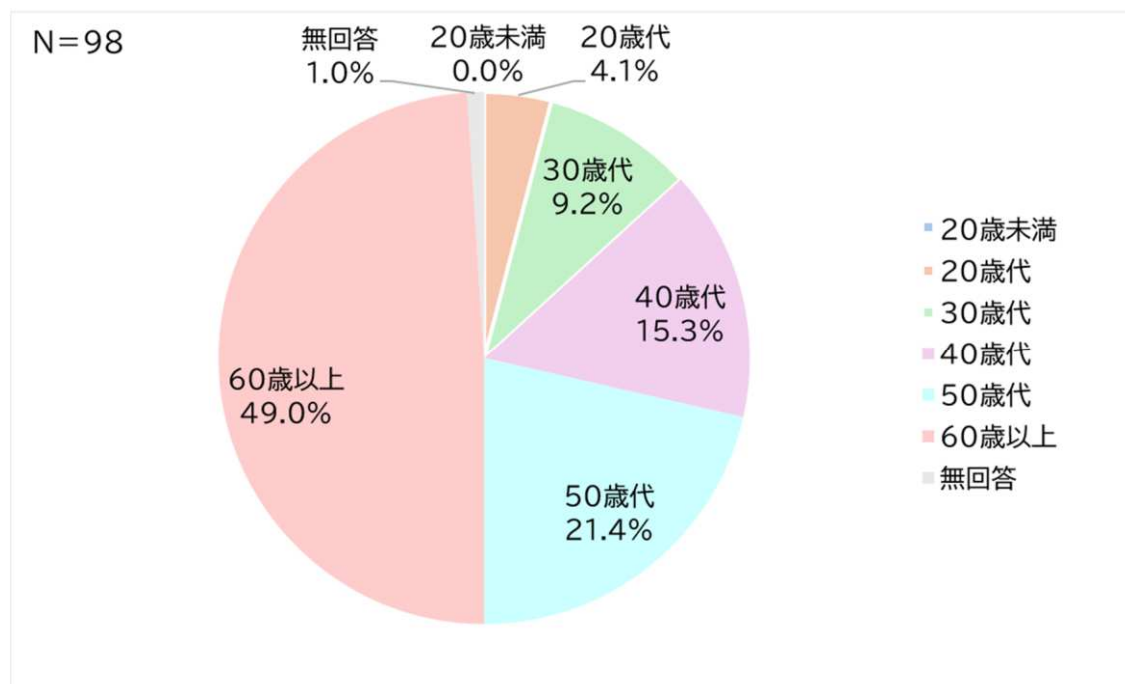


図 10 回答者の年齢の構成比

問2：あなたの性別を教えてください。（単数回答）

○回答者の性別の構成比は以下のとおりです。

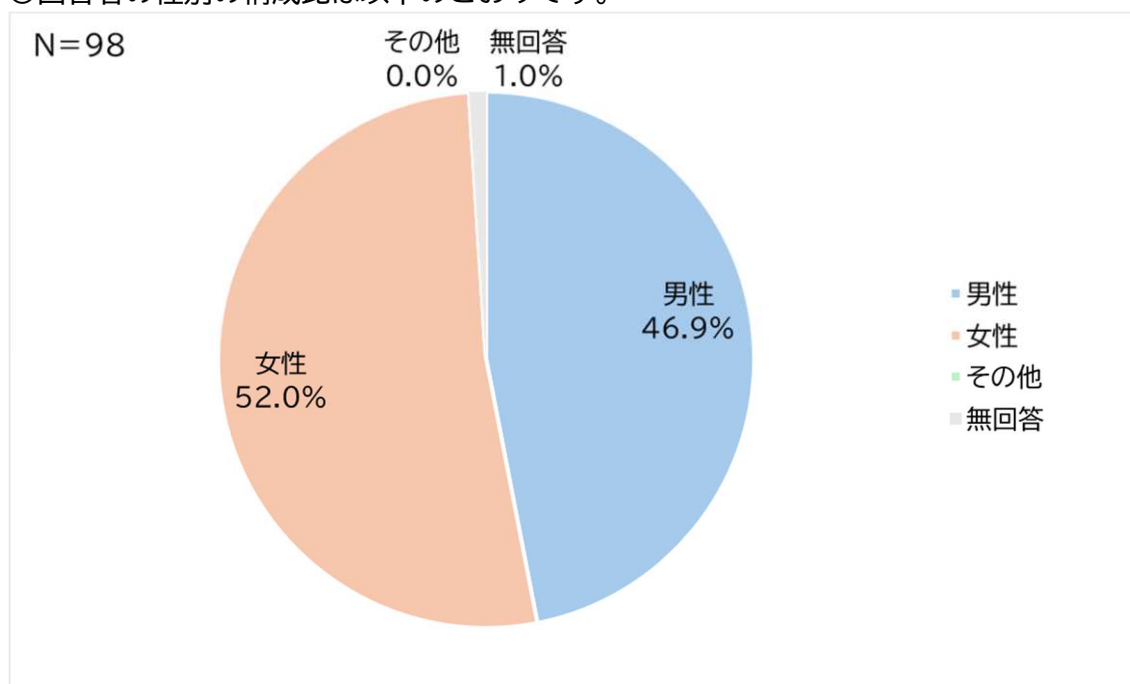


図 11 回答者の性別の構成比

問3：あなたのお住まいはどちらですか。（単数回答）

○回答者の居住地の構成比は以下のとおりです。

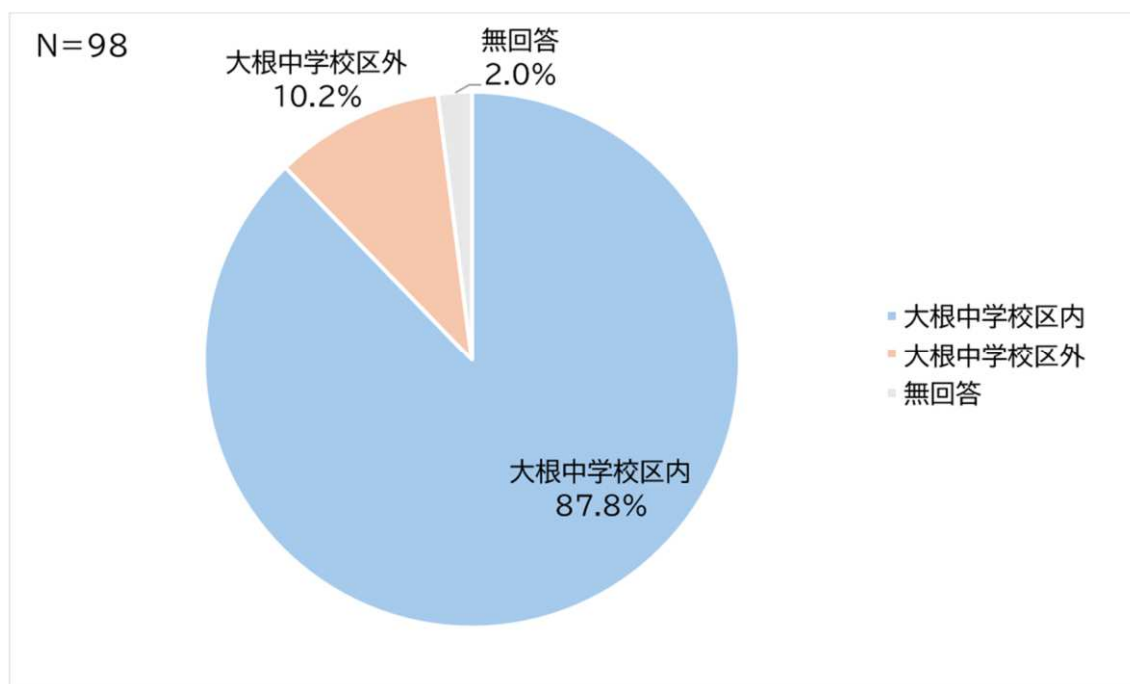


図 12 回答者の居住地の構成比

問3－1：大根中学校区内にお住まいの方は自治会名を記入してください。(単数回答)

○回答者の所属自治会の構成比は以下のとおりです。

自治会名	回答数	自治会名	回答数
北矢名東部自治会	0	秦野マンション自治会	0
北矢名南部自治会	0	クリオ東海大学前壱番館自治会	0
北矢名北部自治会	0	南矢名オレンジヒル自治会	9
北矢名日の出自治会	2	興人南矢名自治会	0
北矢名第1自治会	0	南矢名学園台自治会	3
おおね台団地自治会	0	東海大学前パークホームズ自治会	0
南矢名上自治会	1	宿矢名自治会	17
南矢名中部自治会	2	下大槻第1自治会	2
南矢名下第一自治会	1	下大槻第2自治会	2
南矢名下第二自治会	0	下大槻南平自治会	1
南矢名下第三自治会	2	下大槻団地自治会	3
東映団地自治会	20	その他	7

問4：大根中学校区に何年居住されていますか。(単数回答)

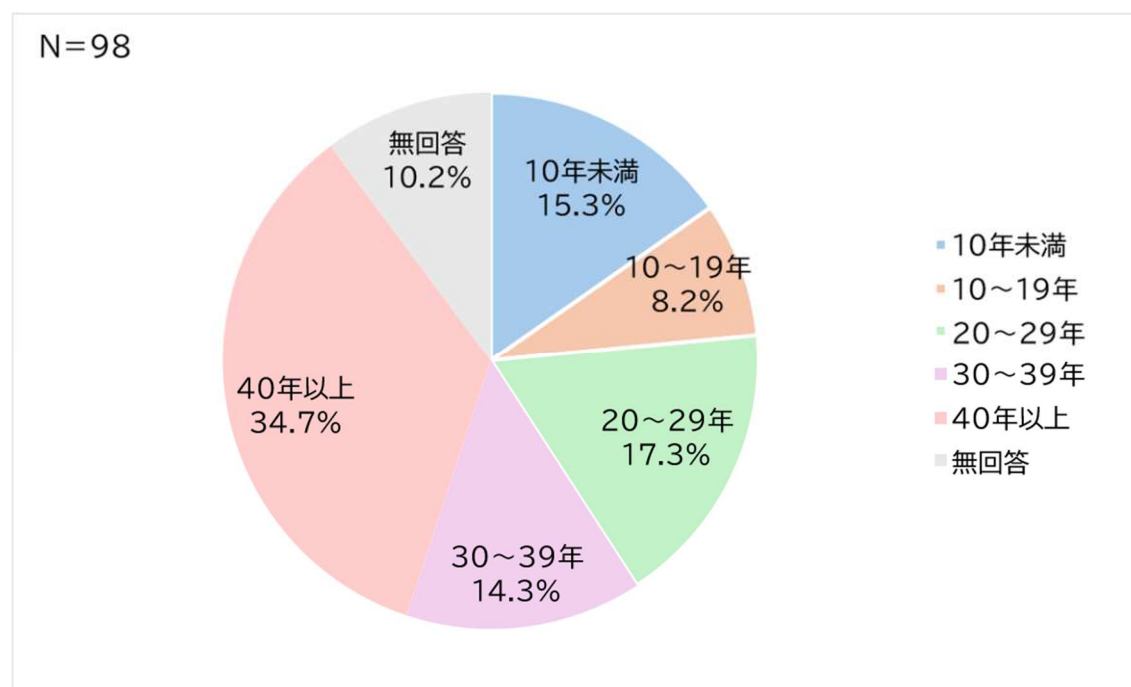


図13 回答者の居住年数の構成比

問5：冒頭のYoutube 動画を見ましたか。（単一回答）

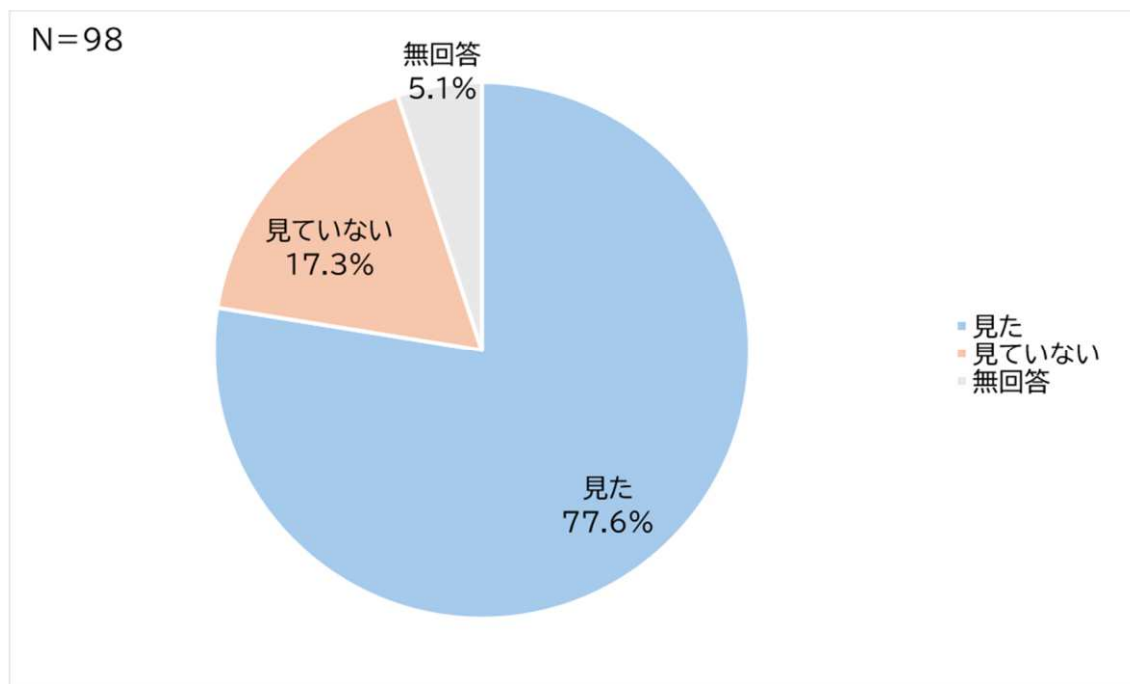


図 14 動画「みらいの子どもたちと学校 ～大根中学校区の取組み～」の視聴状況

2) 新たな学校の整備に向けた取組の認知度

問6：大根中学校区の取組について、知っていましたか。(単一回答)

○「全く知らなかった」が66.3%と最も多くを占めました。

○「知っている」は17.3%、「噂で聞いたことがあった」は14.3%に留まりました。

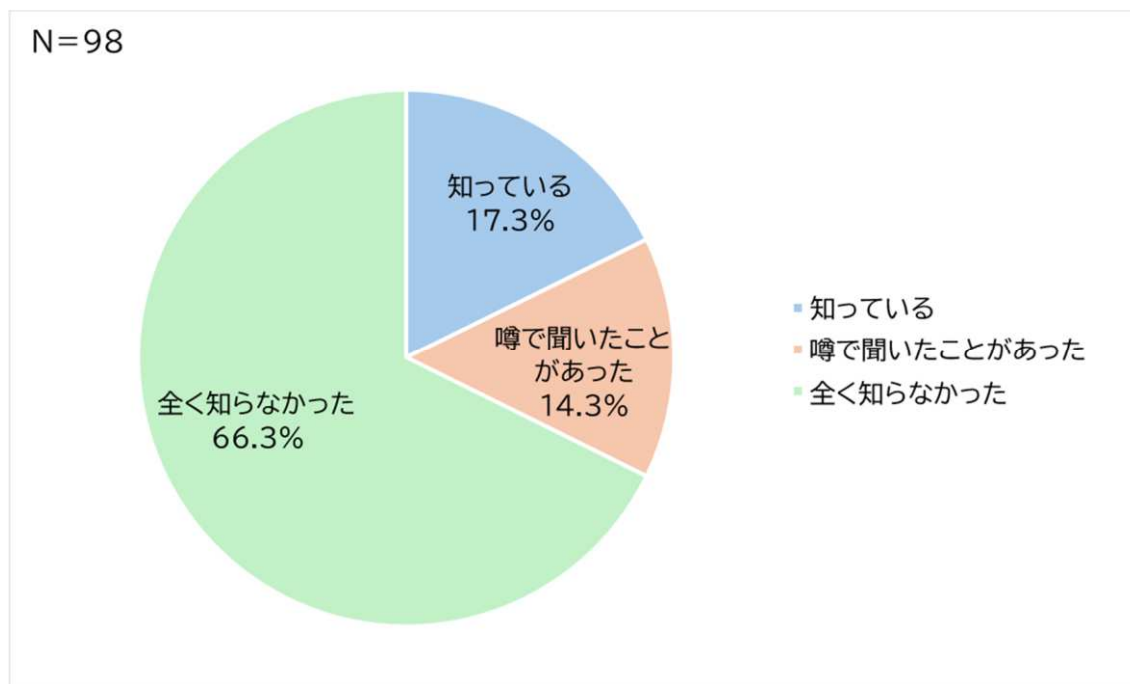


図 15 大根中学校区における将来の学校の検討状況の認知度

3) 義務教育学校の整備に対する期待の有無

問7：大根中学校区学校整備懇話会では、2030年代前半（今から9年後）までを目安に、広畑小学校・大根小学校・大根中学校の3校を一体的に整備し、義務教育学校とすることに期待する方向性が示されていますが、あなたのご意見を聞かせてください。（単一回答）

- 「期待する」が40.8%と最多で、「やむを得ないと思う」も34.7%を占め、大半の回答者が義務教育学校の整備に肯定的な意見を持っていると言えます。
- 「現状のままでよい」は10.2%に留まりました。

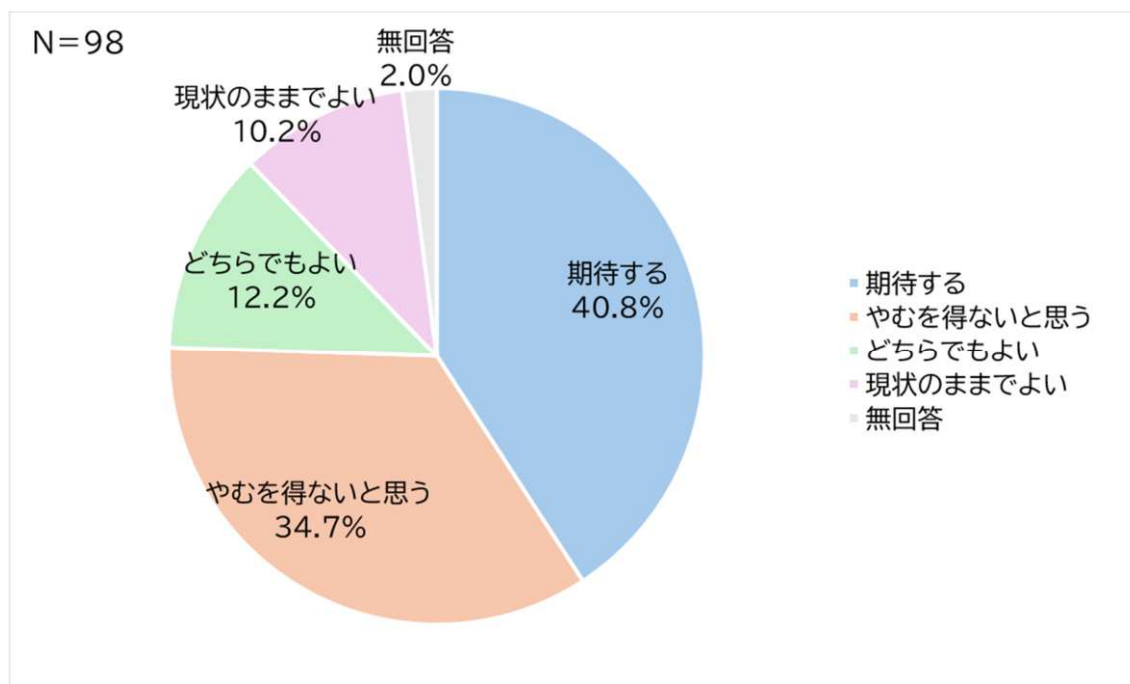


図16 義務教育学校の整備に対する期待の有無

問7-1：問7の回答の理由を記入してください。（自由回答）

- 問7で「期待する」と回答した理由をみると、「児童/生徒の減少に関する理由」が6件と最も多く、「やむを得ないと思う」と回答した理由も「児童/生徒の減少に関する理由」が11件と最も多くを占めました。
- 寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

問7で「期待する」と回答した理由
■児童/生徒数の減少に関する理由（9件） ・生徒数が減っていく中で学校の形も変わっていくと思うから。 ・学校としてある程度の人数がいた方がいい。 ・一体化することで人数も確保でき、敷地も広く使えていいのではないかな。小学生のうちから中学生との関わり、異学年との交流も大切だと思う。

- ・ 少子化対策として妥当。
- ・ 現在高校生の息子も広畑小学校2年生から5年間クラス替えがなかったです。相性の悪いお子さんとずっと同じクラスでした。逆に、高学年になるとその子とも普通に友人になったようですが。
中学校は大根中学校に進みましたので、大根中学校区のより良い整備に大いに期待します！何か協力できることがあれば参加します。
ぜひ、引き続き地域市民にも回覧板等で募ってください。
- ・ 子供が少なくなっているから。
- ・ 少子化の為。
- ・ 少子化のため、効率的に再編することは必要。
- ・ 生徒数の減少、校舎の建替え等ある。

■その他の意見

- ・ 既存の制度から脱却して良くなるなら期待したい。
- ・ 校舎が古く、今の温暖化の適用が出来ていない。
新しい校舎になれば、子供のモチベーションも上がる。
- ・ 子どもが育ち社会の構成員となるために、現状より望ましい教育環境だと思われるので。
- ・ 先生の頭数も増えるし、子供の環境変化も低減すると思います。
- ・ 来たるべき未来に即した学校だから。
- ・ 義務教育学校を先行導入に伴い、転入者の増加や、地域が活性化すると良いと思うから。
- ・ 9年間を一環として学ぶ環境はいいと思う。公民館
- ・ 一貫した教育に期待しています。
- ・ 子供が安心して教育を受けられる環境が望ましいため。
- ・ 期待するが、教員が働きやすいことが、ひいては教育現場がより良いものとなり、子どものためとなると思う。そのため、現状の他の学校の教員と比べ、義務教育学校では業務量が減り、ストレスなく、働きやすい環境にする義務が行政にはあると思う。
- ・ 学校を取り巻く状況を改善し、これからを背負う子供たちの成長に期待します。
- ・ 子育て世帯は卒業したが今後の子供たちがよりよく育つために期待する。
- ・ 個別に維持していくのは難しいのではないかならば集約するしかない。
- ・ スムーズに実施できることを希望する
- ・ 私は幼稚園より大根地区に居住し、自身の子どもを卒業しており、大変愛着がござい
ます。
義務教育学校については動画での内容の通りだと思います。
中学で統合する状況は広畑がよそ者感もありました。小学自体から生活を共にしていれば隔たりもなくなるかと思います。通学についてはぜひコミュニティバスを運行してい

ただき、高齢者が集う施設も検討しているのであれば、小田急線沿線に居住している高齢者は大根中が丘の上にあるためなかなか徒歩では行きづらいため、バスが運行していれば利用しやすくなります。

- ・時代に沿った取り組み。
- ・生徒にとっても働く先生方にとっても良い方向に向かうと思ったから。
- ・それぞれの個性を、区切りをつけないことで潰さずのびのび活かすことが出来るようになると思う。
- ・現状から打破する為に 新たな改革が必要と思われるから。
- ・安心して勉強が出来るのでは。
- ・新しくなる方が良い。

問7で「やむを得ないと思う」と回答した理由

■児童/生徒数の減少に関する理由（19 件）

- ・中1 ギャップ対策と生徒数が減る。
- ・人口減少にともない対策が必用です。
- ・子供の数が少なくなっているので統合した方がいいのでは。
- ・生徒数、教員数減少傾向の為。
- ・子どもの数が激減しているから。
- ・子供が、少なくなり、小学校と中学校が一つになればと。
- ・学年ひとクラスでは仕方ない。でも中学から再スタートと切り替えも残したい。
- ・広畑小の児童数が少ないこと（クラス替えがない）、中学校から大根小と広畑小の生徒が一緒になるので、様々な問題が起こりやすかったことを考えると統合が望ましいと思う。
- ・子供がいない。
- ・児童・生徒数の減少のため。
- ・広畑小は人数が少なすぎだから。
- ・生徒数が減っているから。
- ・少子化。
- ・動画のように子供がすくなくなっているので一体化するのは良いことと思う。が、学校までの距離が長くなる子も出てしまう。から「やむを得ない」。
- ・生徒数が少な過ぎるから。
- ・出生率が上がらないので仕方ない。
- ・児童数が減少しているため。
- ・今後も生徒数は減少し、教員への成りても少ないため 建物の老朽化や維持費もかさむため。
- ・生徒が少なければ統合するがよし。

■その他の意見

- ・出身の広畑小学校がなくなってしまうのは残念。大根幼稚園もなくなってしまったし。しかし、これから子どもたちのために良い方向に進んでほしい。
- ・小学校の統合は当然だが、義務教育学校については疑問もある。
- ・児童数の減少により統合は必然のことと思います。だからといって、移民制度には反対です。
- ・広畑小学校の現状を考えると やはり統合してやっていく 他はないと思います。
- ・取り組みとしては良いが9年後では遅すぎる。
- ・動画にあったような理由です。
- ・全体的な課題を考えればそうしなければならないのは納得できる。仮に大根小・中に統合するのであれば広畑学区の小学生たちの通学負担が増えるのが気がかり（とはいえ現時点で大根小学校区の一部はすでに通学距離長いので…）。
- ・人口減で効率よくなるのでいいのでは。
- ・施設メンテナンスのしやすさ、管理人員ぶん人削減には有効。公民館や図書館を共有できれば、大人と子供の交流も生まれると思う。

問7で「どちらでもよい」と回答した理由

- ・改革は必要だと思うから。
- ・懇話会や市にお任せします。
- ・動画の限りではあまりメリットを感じない。このようなアンケートは良い。引き続き地域住人の意見を繰り返ししっかり聞いて丁寧な説明があった上で決めて頂きたい。
- ・よく分からないので。
- ・現役の方々が知恵を出し合って和合しながら決定していただく事を陰ながら応援します。
- ・必要ならやるべきだと思う。
- ・少子化は止められない

問7で「現状のままでよい」と回答した理由

- ・広畑小のきめ細かい指導を残して欲しいし進学校を目指すみたいでよくない 川崎地区で行ってる所は 例えば中高一貫校の相模大野高校が変わったとか それぞれの学校の良さがあるので小中学校再編はしないで欲しい
- ・一体化が本当に子供たちのためになるのか？一体化は単なる行政上の経費削減策ではないのか？たんに広畑小学校の廃校を規定にした提案としか思えない。広畑小学校のメリットを明確にすべきではないのか。具体的な対策を示すべきと思う。
- ・今の文科省(政府全体)が信用ならないから。空き校舎が外資に売られ移民用の施設になると言う懸念(差別でなく区別)。私は日本人精神は日本人同士でしか育まれないと思っている。

そもそも、～ギャップなどと昔はなかった。教育そのものを見直しして戦前の教育を参考に精神面や自己肯定感を高める事に力を注ぐべきだと思う。欧米の教育方式を取りすぎて軟弱にさせている教育が問題。

- ・ 小中一貫校は、成長の差が激しい児童生徒が一堂に介することから様々な問題が生じると考えられます。小学校は小学校なりの指導の仕方、中学校は中学校の指導のあり方を個別にしっかりと取り組むべきだと思います。
- ・ 遠くなる
- ・ 現在の公教育にはそもそも大きな問題があるため、その問題の本質を改善せず、見える部分を変えて解決を図っても効果は期待できないため。
インフラや制度整備など、余計な税金負担が増える本計画よりも、子供たちが公教育以外の選択肢を選べるようフリースクールへの補助金制度を作るなどを優先してほしい。
- ・ 通学距離が遠くなる。徒歩通学だと遠いのは不便である。

4) 新たな学校を整備するための適地

問8：新たな学校を整備する敷地はどちらがよいと思いますか。(単一回答)

○「大根小・中学校を1つにした敷地」が75.5%と大半を占めました。

○「広畑小学校の敷地」は10.2%に留まりました。

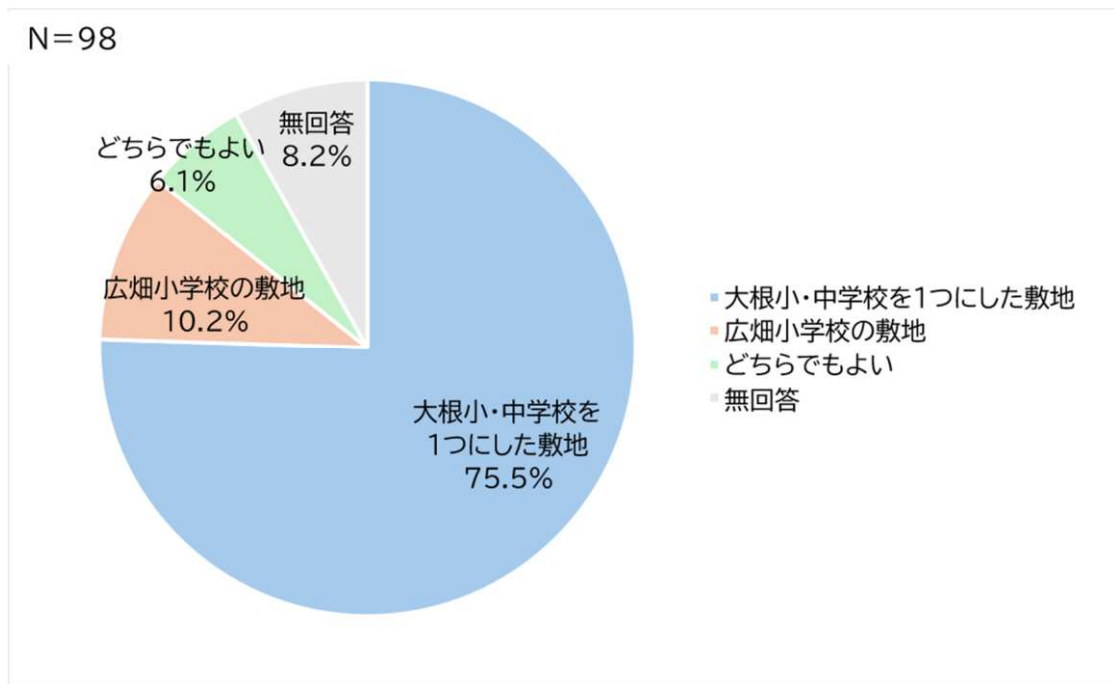


図17 新たな学校を整備するための適地

5) 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見

問9：学校以外の公共施設（公民館など）との複合化についても、「地域のコミュニティ拠点になる」、「放課後の子どもの居場所となる」、「多世代の交流が活性化される」などの観点から期待する旨の意向が示されていますが、あなたのご意見を聞かせてください。（単一回答）

- 「期待する」が 69.4%と最も多くを占め、大半の回答者が複合化に対し肯定的な意見を持っていると言えます。
- 「学校と複合化する必要はない」は 16.3%を占めました。

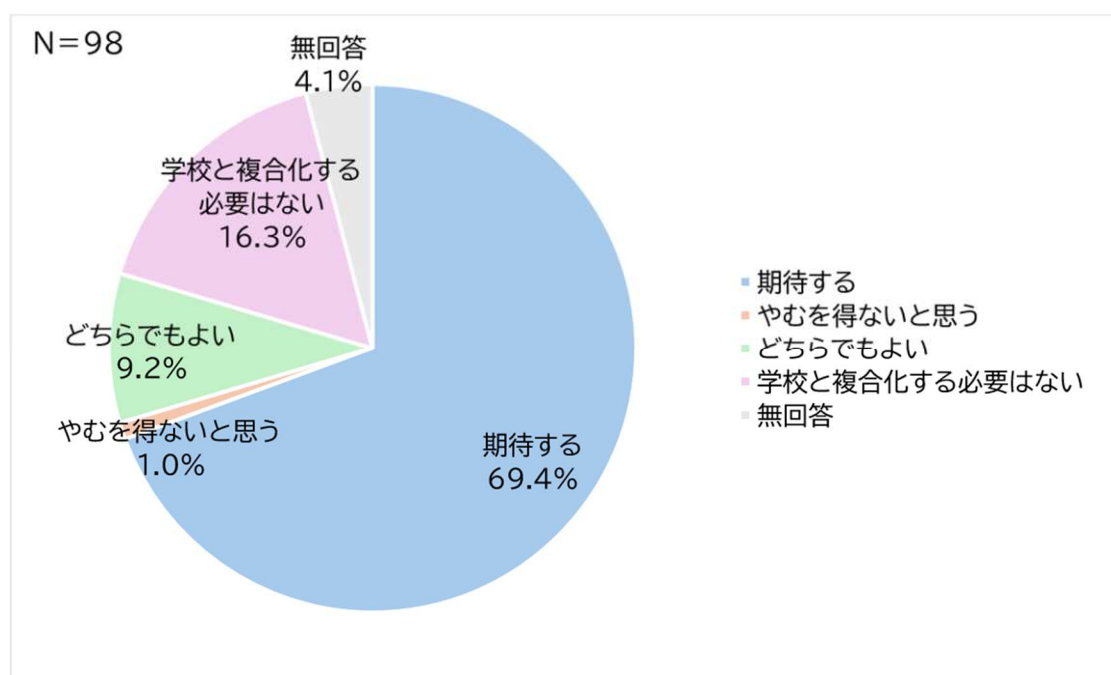


図 18 学校施設と公民館等の公共施設との複合化に対する意見

問9－1：問9の回答の理由を記入してください。（自由回答）

- 問9で「期待する」と回答した理由をみると、「交流の場の創出に関する理由」が6件、「子どもの居場所の創出に関する理由」が3件等がありました。
- 問9で「学校と複合化する必要はない」と回答した理由をみると、「防犯面の不安」が3件等がありました。
- 寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

問9で「期待する」と回答した理由
■交流の場の創出に関する理由（10件） ・放課後の子供居場所、多世代の交流。 ・多世代間の交流に期待する。 ・異世代交流は意義があると感じる。

- ・多世代の交流は素晴らしい。
- ・多世代の交流が活性化される。
- ・子供の居場所や他世代の交流の場となるため。
- ・地域と子供たちのつながりができる。
- ・色々な世代の方と関わる機会が少ないし、地域との関わりが子育てにおいても高齢者の方にとっても大切だと思うから。
- ・多世代交流の活性化。
- ・様々な年代がともに歩めることは理想だと思うから。

■子どもの居場所の創出に関する理由（９件）

- ・放課後の子どもの居場所が少ないから。
- ・放課後の子供居場所、多世代の交流。
- ・子供の居場所や他世代の交流の場となるため。
- ・子供の居場所確保。
- ・放課後の子供の居場所がすごく良いと思う。
- ・子供の居場所は必要。様々なニーズ、事情を考慮し、多機能な施設が必要。中でも１対１の学習補助（ボランティアの協力）は必須。
また困窮家庭の為の食事の支援。
- ・子供の居場所はあった方がよい
- ・地域コミュニティの拠点になれば、放課後の子供の居場所が有り、多様な経験が出来ると思う。
- ・コミュニティの場は必要だが、放課後子どもがさわいだりゲームをしたりするような居場所になるのは違うと思うので？が難しい問題。だが居場所が必要かも。

■その他の意見

- ・子どもの安心につながるならいいと思う。
- ・拠点が１つになることで新しい関係性が築けると思うから。
- ・学校の空き教室や校庭をこれ迄通り子供や高齢者のための地域の交流会の場として利用するものは勿論のこと、公共施設の場としても公民館的にボランティアや趣味の団体に開放したらどうですか？セキュリティの面で生徒は帰宅後に限定するとかの制限が肝要かと思いますが。
- ・建物老朽化で災害が起きた場合避難場所だと不安。
- ・放課後子どもを迎えに行くのに同じ敷地内の方が安全。
子どもたちの様子が見られることは地域の大人にとっても良いことで、地域で子どもたちを育てていく気持ちにつながる。
- ・防災拠点としても必要だと思う

- ・障害者福祉施設、保育園、高齢者施設の複合も期待します！雇用にも繋がりますね。
- ・校舎や校庭の広さを、必要な大きさにすれば、公共施設も十分に余裕をもって設定できそうだし、期待される３点も実現出来そうです。
- ・大根小学校、中学校、大根公民館が、隣接している。
- ・地域のコミュニティは必要。
- ・色んなイベントとか一緒に出来るといいーびおお
- ・時間がかかると思うが、挙げられている観点が良いと思うから。
- ・共働き世帯が増加しているので、地域で子供達を見守れるような交流ができると良いと思うから。
- ・広畑ふれあいプラザの様な施設が良い。
- ・地域の活動の場としては期待しています。
- ・複合することで新しい可能性が期待できるが、新たな問題点も考えて置かなければならない。
- ・防犯とかの観点からみても全世代が協力できたら良いと思う。
- ・多様な教育の場を作る必要がある。
- ・昔は、幼稚園も学校の敷地内にあったと聞いております。ぜひ広畑に移動した幼稚園も一体化となれば、１年生の壁も克服できるのではないのでしょうか。幼稚園児、学童児が同じ施設で放課後を過ごすということは保護者のお迎えの負担も軽くなるかと思います。
- ・最適化を図れる。
- ・大根公民館は エレベーター もなく２階に上がるのには 高齢者は不便を感じています。他の地域の公民館から比べても使い勝手が悪いと思われます。複合化によってより良い公民館が生まれることを期待しています。
- ・プラザのように複合した場所が現在もあるので、より整備されれば住みやすい地域になる。
- ・核家族化などで高齢者と若い世代の考え方に違いが多く、お互いの立場をもっと知ったほうが良いと思う。
- ・幼児から高校生や成人、高齢者も利用でき、利用したくなるような複合施設が必要だと思う。
- ・地域住民が地元の自治体にもっと興味を持ってもらいたいから。
- ・今後、公民館や公共施設が老朽化して修復に税金が使われるようになるはずなので、複合化することでの余分な負担がかからず有効活用ができる。
- ・人々の動や生活状況などが肌で感じ取れる。
- ・１０年後、２０年後…その先の未来に向けて多世代の地域コミュニティの事を皆で考えること自体が素晴らしいことだと思います。
- ・効率よくなる。
- ・面白い取り組みだと思います、共働き世帯がもっと増えると思うので地域で子供たちの教育が出来るようになったり、高齢者の孤独死なども防ぐことが出来ると思います。

- ・多世代が集まる施設にした方が効率的かつ、活気のあり、回転数の多い施設となる。
- ・孤立する子育てを支援できると良いと思います。
- ・大根公民館も建替え時期、複合化もありだね。
- ・いいことだと思うが、駐車場が少ない。
- ・地域住民が孤立化しないための良い取り組みだと思う。
- ・必要性。

問9で「どちらでもよい」と回答した理由

- ・メリット、デメリットがあると思う。
- ・どちらでもよいので大根地区だと大根公民館になると思うが、活用ビジョンが現時点で明確に見えてないのでなんとも言えず。
- ・統一された方が良い。

問9で「学校と複合化する必要はない」と回答した理由

■防犯面の不安に関する理由（5件）

- ・不特定多数の人間が学校の近くにいるのは安心の反面、知らない人間に対する危機感がある。
- ・セキュリティの懸念。
- ・同じ敷地内にできることに関しては誰でも入れる為不審者対策が心配。
- ・池田小学校の事件を思うと不特定多数の人間が敷地内に入ることに不安感がある。但し、警備員等が配置される、もしくは侵入可能エリアが学校と公民館で明確に分かれているのであれば、期待してもいい。
- ・不特定多数の人が利用できることでセキュリティ面が心配。学校が苦手で行けない生徒が公民館等が学校と一緒にってしまうと公共施設を居場所にできなくなる。

■その他の意見

- ・複合化とは上から目線で良くない 学校と公民館は違う役割があると思うので交流で十分。
- ・各学校によって条件は違う。学校の教育活動と独自性が損なわれる心配がある。
- ・色々な世代が交流するのはいいことだが、学校と複合化する必要は感じない。
今ある市役所の分署としての役割は継続しつつ、施設そのものの機能面を精査し（大根公民館は老朽化も目立つので建て替えも検討してもいいと思う）、いつでも誰でも立ち寄れる・利用できる場所を目指したほうが現実的かと。
市役所の分署＋児童館＋ミニ体育館＋調理室＋会議室＋多目的室といった感じなら、色々な世代に対応できるのでは？
- ・まずは義務教育学校、その結果をみて検討すればいいと思う。
大根地区は2学期制の導入、中学校の私服登校など、いつもテスト校になっている気が

する。新しい制度を検討する際の学区は、偏りのないようローテーションしているのでしょうか？

- ・大根中学校に三校統合し、大根小学校の校舎を大根公民館や地域ふれあい館などにすればいいかと。設備も整っているので、費用もおさえられるのでは？図書館もあるし。この地域も車が必須になってきてるので、校庭の一部を駐車場にするなど、臨機応変に対応できると思います。
- ・隣接するのはよいが、学校と公民館は明確に区別するべき。
- ・子供達のコミュニティに敢えて入って行く必要はない。自分で考える力が失われていると感じる。
- ・一体化すれば、公共施設が不便となる恐れが大。

6) その他、新たな学校づくりについて期待すること

問 10: その他、新たな学校づくりについて、今後の整備に期待することがありましたら、

記載してください。(自由回答)

○寄せられた回答の一覧は以下のとおりです。

- ・子どもファーストで改革してほしい。
- ・子供が楽しく通えるようにして欲しい。
- ・子ども達の健やかな成長に繋がる取り組みに大いに期待します。楽しみに見守ってます。
- ・将来の子供達の為に、良い方法を、検討して欲しいです。
- ・普通級、支援級でなく、クラスに馴染めない中間的なクラスの設立。
- ・共働き世帯が多くなりつつ今、学童保育等の課外時間も見てもらえる制度、設備が充実していて欲しいと思います。
- ・学校方式でなく昔の寺子屋方式で子供達の得意なものを伸ばす様な教育が良いと思う。全部、横並びにすると才能が潰れる。これには学校と家庭のこれまで以上の協力不可欠。大人も子供と一緒に学ぶ(教科と言う狭い括りではなく自治体から世界情勢まで)。学びを面白いと思わせる事が出来たら、進学も期待にしかならないはずだと思う。この件はもっと深掘りしてもらいたい。形だけ整えても中身がなければ税金が勿体ない。
- ・日本や地域の文化を大切にする、教育をして欲しい。
- ・広畑小学校の敷地の利用、地域の拠点としてアイディアを出し合って活気ある場所にして欲しい。
- ・整備して使わなくなった敷地を行事等の際の駐車場として開放してもらえたら有り難いと思います。
- ・公共施設の複合化とともに、一体化による空き校庭を、子どもが自由に放課後遊べる広場として、提供して欲しいです。共働きが多い今、そこに行けば誰かしら仲間に会えるような場が必要だと思います。ドラえもんに出てくる土管のある広場のよう。ボール遊びはダメ等禁止事項が多く行き場がない子もいます。未だグラウンドのように、高いネットをはりめぐらせて球技も出来るようにして欲しいです。
- ・大根小と広畑小の学区の再編成を考えることが先と思える。現在の区割りには問題がある。委員の皆さんは、現状をしっかりと確認していただきたい。
- ・団塊を超えた交流の場を備えて欲しい。
- ・動画の説明についてですが、長すぎると思います。もっと簡潔に願います。
- ・今後学校を作るにあたり、児童、教職員、公民館等の利用が増えるのであれば、校内だけでなく周辺の道路状況にも目を向けて、地域住民が安全、かつ使用しやすいように整備するべきだ。
- ・今回のように検討状況を随時発信して貰いたい。
- ・新しく学校施設を建設する場合、災害があった場合の避難施設になることを前提に計画をしていただきたい。体育館の空調管理はもちろん、校舎のエレベーターの設置は必須

かと思います。今の施設はバリアフリーではないため、車椅子での移動などが実質無理な状況です。

それと、一体化しても子ども間でのいじめ問題はなくならないので、旧大根幼稚園で行っているフリースクール制度の充実も期待しております。

ぜひ検討会のメンバーを一般から公募し、様々な分野の住民の声を集めていただければと思います。

- ・ 広畑小学区までの距離は小学校低学年にとっては遠い可能性があるのですが、バス通学に。スクールバスではなく、既存の神奈中バスで。他の学区で経験があるので(だいぶ昔なのですが)問題ないかと思います。三～四年生あたりから徒歩通学を開始すれば体力もあり、友人との行き帰りも経験できるので良いかと。
- ・ 前向きな姿勢を忘れずに知恵を出すこと。
- ・ 共働きの家庭が増えていること 不登校の児童が多くなってきていること 学習障害の子供が多く 目立つようになってきたこと これらを考えて今までの教育とは異なる学校制度が確立されることを願っています。
- ・ スクールバスが必要。
- ・ 老人ホームと学校の複合施設。子供達と高齢者との交流は学びや癒しになる。
- ・ 視野を広げて他の県、外国の良いところを取り入れて「義務教育」にとらわれず誰でも通える学校を作りたいです。
- ・ 広々とした誰でも勉強できるスペース。
- ・ 中学校は、制服にしてほしい。
- ・ 整備の進捗を継続的に公開してほしい。
- ・ 自閉症児も含めて、それぞれの持つ才能、個性を伸ばせるような教育方針、専門知識のある教師の配置を望む。
- ・ 個性ある学校にしてほしい。(文化、スポーツ、等)
- ・ 学校周辺の道路を整備すること。
大根中、大根小を中心に考える際、グラウンドや体育館などの広さは確保してほしい。大根小は狭いので。
- ・ 若者が少しでも健全に育つ、魅力的な学校整備をよろしくお願い致します。
- ・ お隣の平塚市の金目・真田地区(みずほ小、大根中の学区)の一部を取り込んで生徒数増やせたら、と思うこともあります。(市を跨いででの取り組みとなるとさらに課題が増えそうなのは承知の上で)
- ・ 中学生と小学生の校庭での使い方は分けた方が良いと思う
- ・ 全校 freeWiFi 設備。特に夏休み等長期に学校が休みの時の食事の提供ができる設備と体制(地域ボランティアの活用)。
家庭の事情が学業成績に顕著に表れる事の無いよう地域ボランティアとの連携。
- ・ 9月入学、英会話の強化。
- ・ 低学年、高学年に分けて遊べる場所がほしい。

- ・大根学区の通学路は、現在スクールゾーンが指定され交通が規制されています。私はそのスクールゾーン内に住んでおり、友人や親族の車が時間内に通行できず不便な状況です。またルールを守らず、不法に通行する車も見受けられます。学校の再編は賛成ですが、併せて子どもたちが安全に通学できる道路も整備していただき（道路の拡張、歩道の整備）、スクールゾーンによる交通規制をなくすような、学校直近に暮らす住民にも共存できる環境を自治体として整備して頂くことを期待します。
- ・いろいろな所を参考にして後悔しない最新の校舎にしてください。
- ・大根地区全体をみると大根小学校、中学校の近くに鶴巻小と中学が近くにあるので、広畑小の敷地に作る方が、分けがわかりやすいのではないかと思います。
- ・海老名市のようなインクルーシブ教育を期待します。
- ・近くに東海大学が有り、子供、学生、地域の大人がうまく交流出来る工夫をしてほしい。
- ・統一すると足、スクールバス等も考えていただきたい、子供が少ない事は？？事？国で考えて頂きたい。
- ・図書館が涼しいのでここエリアに出来たら嬉しい。